

横手市青少年実態調査

調査結果報告書

令和8年3月
秋田県 横手市

目 次

はじめに

I 調査の概要

1 調査の目的.....	1
2 調査の対象.....	1
3 調査の方法.....	1
4 調査の実施時期.....	1
5 配布・回収の結果.....	1
6 報告書の表記及び注意点について.....	1

II 「青少年実態調査」 調査結果

1 あなたの状況について.....	3
(1) 回答者.....	3
(2) 年齢.....	3
(3) 家族の状況.....	4
(4) 生計を支えている方について.....	5
(5) 生活状況について.....	5
2 あなたの就学・就労状況について.....	9
(1) 現在の就学・就労状況について.....	9
(2) 学校の授業について.....	12
(3) 将来の進学希望について.....	13
(4) 就業経験について.....	14
(5) 働いていない理由.....	16
(6) 就労する際に重要視すること.....	20
(7) 就労、就労の継続のために必要な支援・取組.....	23
3 あなた自身について.....	27
(1) 自己認識について.....	27
(2) 居場所について.....	32
(3) 家族・親族とのかかわり.....	35
(4) 家族・親族以外の人とのかかわり.....	38
(5) インターネット上における人やグループとのかかわり.....	41
(6) 他者との関わりについて.....	44
(7) 「社会のために役立つことをしたい」と思うか.....	47
(8) 将来について明るい希望を持っているか.....	51
(9) 20年後の自身について.....	54
(10) 家族以外の人との会話.....	57

4 外出の状況について	59
(1) 普段の外出頻度	59
(2) 現在の外出状況になってからの期間	63
(3) 外出状況が現在の状態になったのは何歳の頃か	64
(4) 外出状況が現在の状態になった主な理由	65
5 社会生活や日常生活での困難の状況	66
(1) 相談先に求めること	66
(2) 相談したくない理由	70
(3) 育成支援機関の認知度	73
(4) 育成支援機関の利用について	78
(5) 育成支援機関の利用希望	79
6 調査結果のまとめ	81

Ⅲ 資料編

調査票	87
------------------	-----------

はじめに

当市においては、15～64歳の方がいる全ての世帯（21,894世帯）を対象として令和6年2月に実施した「ひきこもり実態調査（市民の生活状況に関する調査）」で、全体の5%に当たる500世帯から、「ひきこもり状態の人がいる」との回答が寄せられました。そして、このうちの4割が、こども～若者世代でのつまずき（不登校、学校でのトラブル、受験・就職の失敗など）を理由として挙げています。

この調査結果や支援関係者との意見交換から、以下の問題点が明らかになりました。

- ・不登校などの問題を抱えていても、中学校卒業により支援が途切れるため、その後に孤独・孤立の状態に陥る場合がある。
- ・当初は福祉的課題のない世帯でも、長期間、孤独・孤立の状態にあることで、精神疾患や生活困窮等の深刻な状態に陥る場合がある。
- ・市では中学卒業後の若者世代との接点が少ないため、小さな困りごとの段階で支援につなげることが難しい。

これらの問題点を踏まえ、就学、就労をしていない若年者への早期支援により、孤独・孤立の状態に陥るのを未然に防ぐことが重要と考え、まずは、若者世代の生活実態と意識を明らかにするためのアンケート調査を実施しました。

本調査で得られた情報を今後の施策に反映し、誰一人取り残さない横手市を目指して取り組んでまいります。

この調査の実施に際し、ご自身の状況をお伝えいただいたご本人、ご家族の皆様に、心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

I 調査の概要

1 調査の目的

横手市にお住まいの15歳～25歳の方を対象として、日ごろの生活状況、ニーズや課題を把握し、青少年世代が必要としている支援策の実施への基礎資料とするために実施しました。

2 調査の対象

調査対象については、令和7年8月末時点、本市に住民登録している15歳から25歳までの方としました。

3 調査の方法

郵送調査とWeb調査のどちらか一方を選択

4 調査の実施時期

令和7年12月～令和8年1月

5 配布・回収の結果

対象者	配布数	回収数	回収率	有効回答数	有効回答率
本市に住民登録している15歳～25歳	5,363人	1,446件 郵送:531 Web:915	27.0%	1,445件 郵送:530 Web:915	26.9%

6 報告書の表記及び注意点について

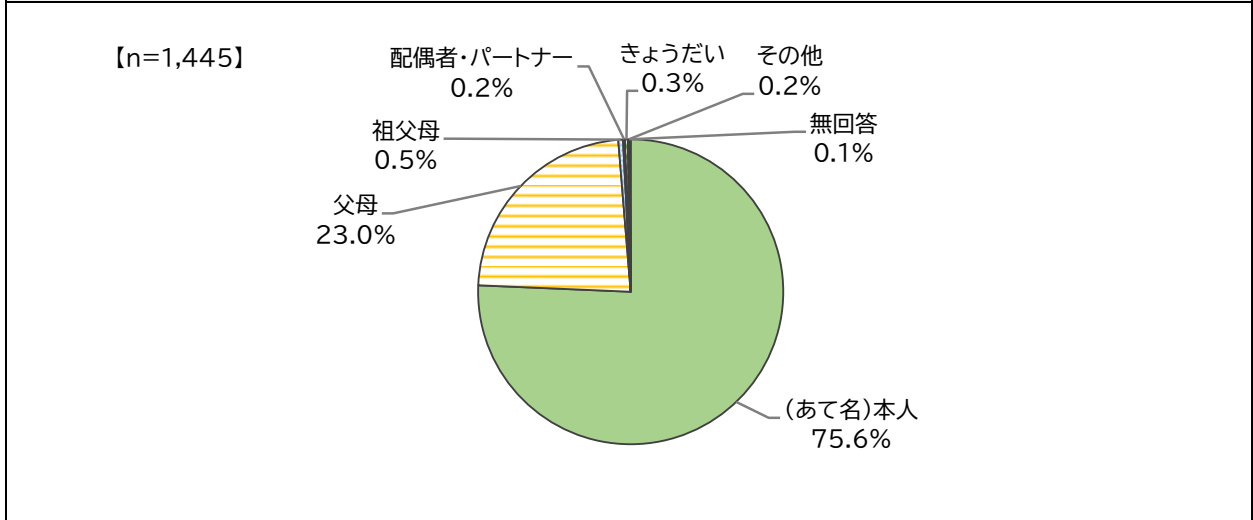
1. 回答は、各質問の回答者数を基数とした百分率（％）で示しています。小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%にならない場合があります。
2. 複数回答を許している回答項目については、その項目に対して有効な回答をした者の数を基数として比率算出を行っているため、回答比率の合計は100.0%を超えます。
3. 説明文及びグラフで、選択肢の語句を一部簡略化して表しています。
4. グラフでは、その設問に対して回答することのできる対象者、該当者数を「n」と表記し、その数を表しています。

II 「青少年実態調査」 調査結果

1 あなたの状況について

(1) 回答者

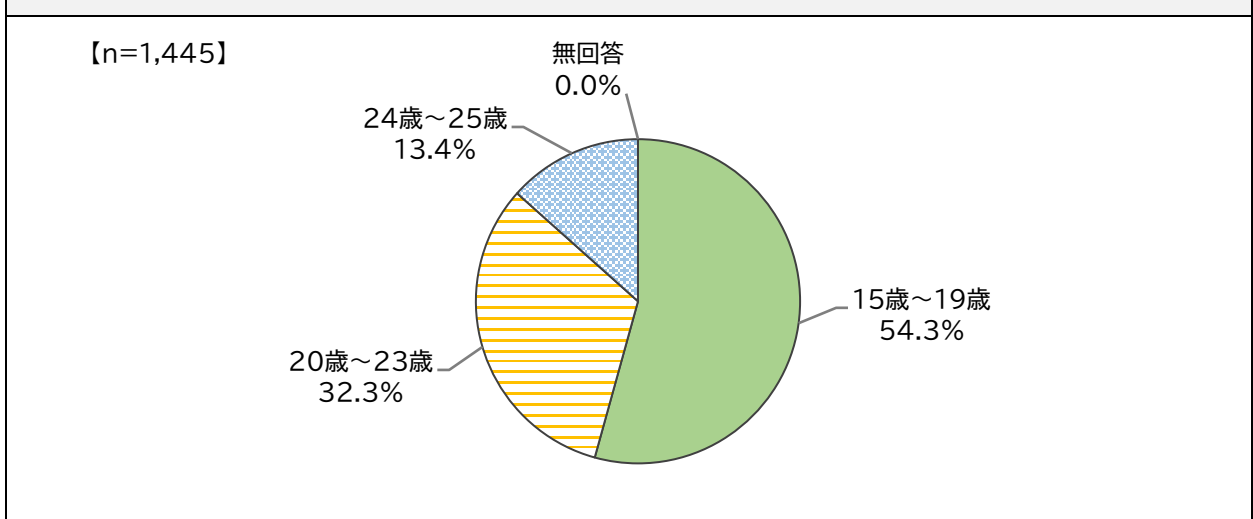
問1 調査票、ご回答を頂いているのは、どなたですか。あて名の方との続柄でお答えください。(1つに○)



本調査の回答者は、「(あて名)本人」が75.6%と最も多く、次いで「父母」(23.0%)、「祖父母」(0.5%)、「きょうだい」(0.3%)、「配偶者・パートナー」(0.2%)と続いています。

(2) 年齢

問2 あなたの年齢を教えてください。(数字を記入)

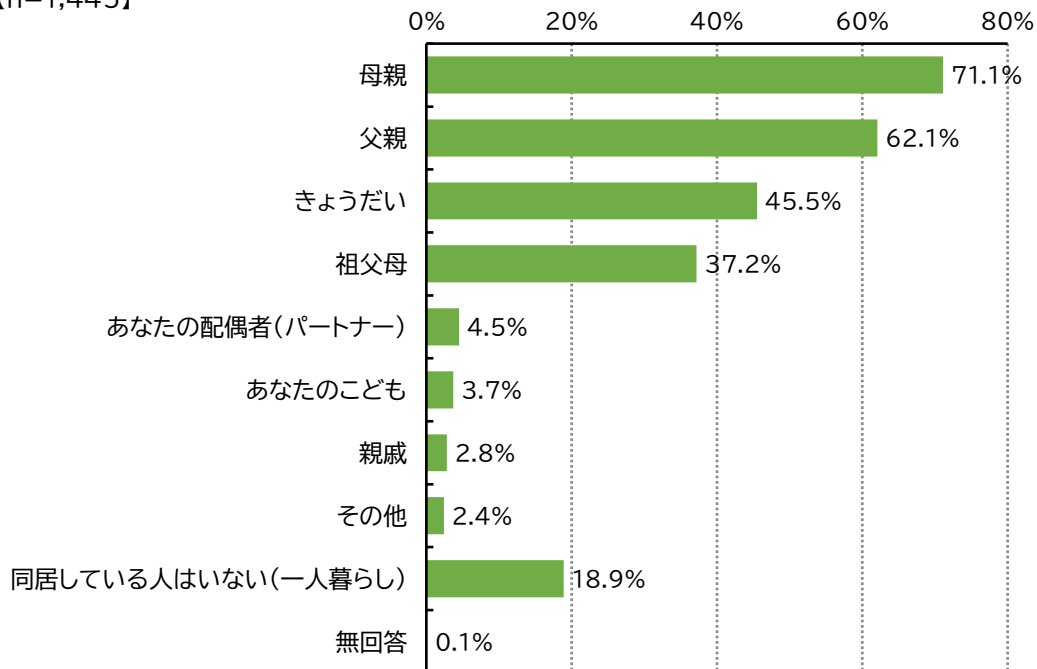


回答者の年齢は、「15歳～19歳」が54.3%と最も多く、次いで「20歳～23歳」(32.3%)、「24歳～25歳」(13.4%)となっています。

(3) 家族の状況

問3 現在、あなたが一緒に住んでいる人をすべて選んでください。
(あてはまるものすべてに○)

【n=1,445】

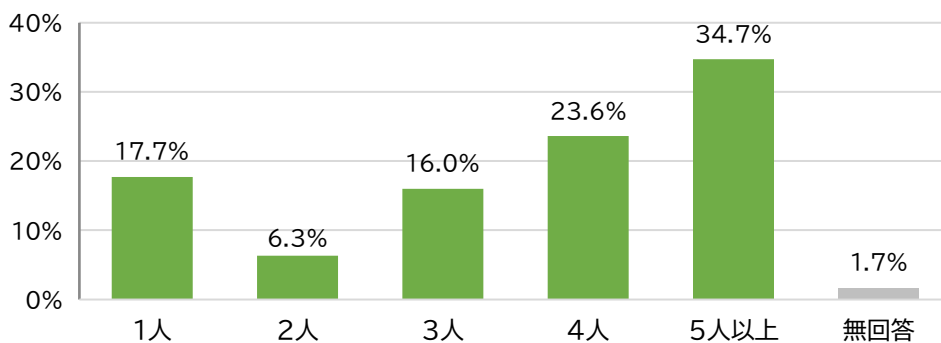


現在、一緒に住んでいる人は、「母親」が71.1%と最も多く、次いで「父親」(62.1%)、「きょうだい」(45.5%)、「祖父母」(37.2%)と続いています。

「同居している人はいない(一人暮らし)」は18.9%となっています。

問4 一緒に住んでいる家族は何人ですか。(数字を記入)

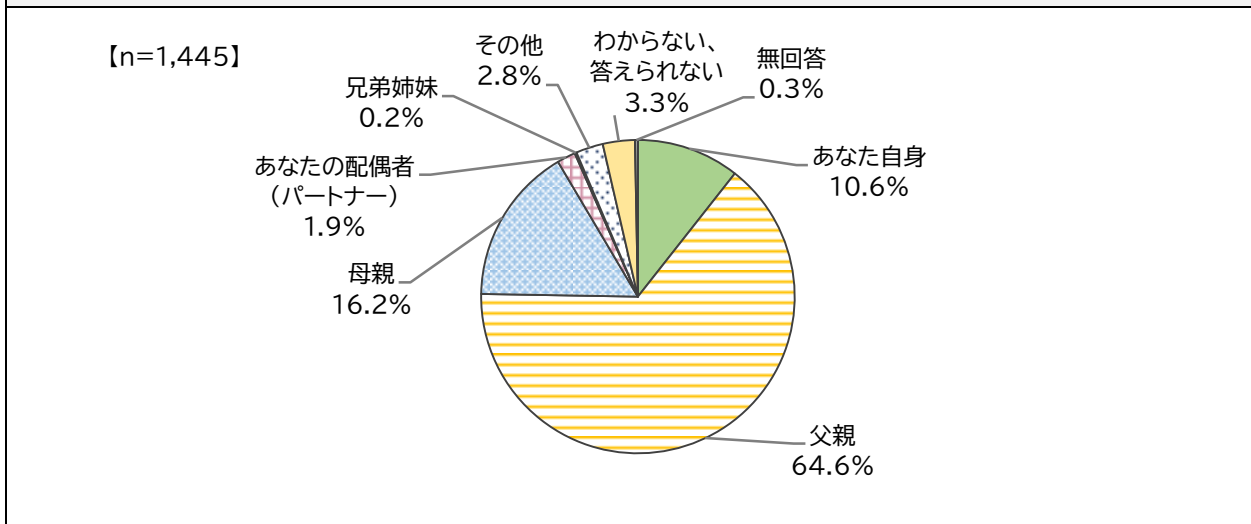
【n=1,445】



一緒に住んでいる家族の人数は、「5人以上」が34.7%と最も多く、次いで「4人」(23.6%)、「1人」(17.7%)、「3人」(16.0%)、「2人」(6.3%)となっています。

(4) 生計を支えている方について

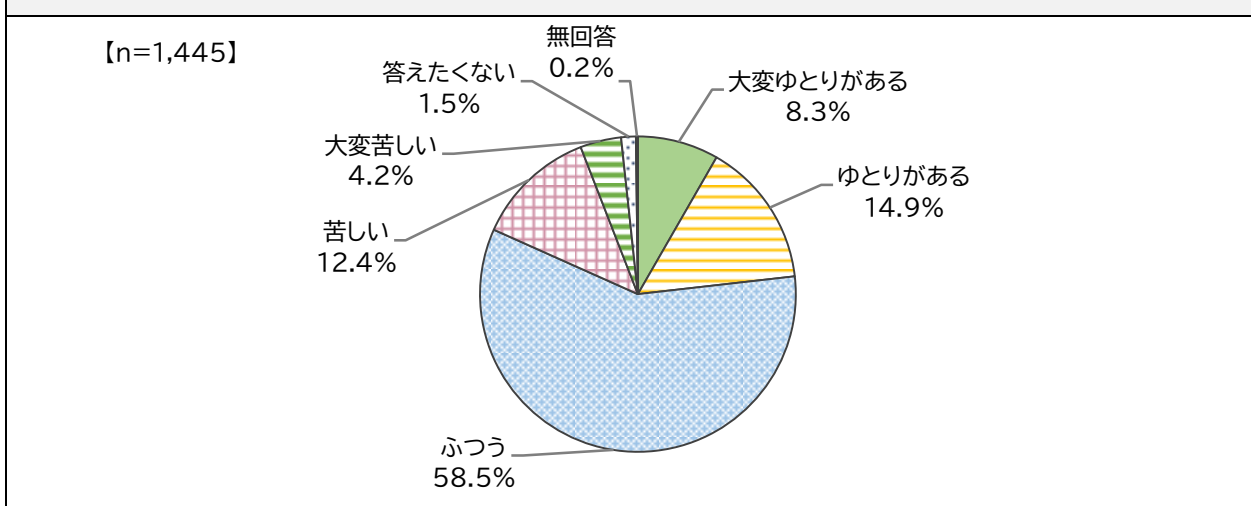
問5 生計を支えている方は主にどなたですか。また、仕送りで生計を立てている方は、その仕送りを主にしてくれている人をお答えください。(1つに○)



生計を支えている人は、「父親」が64.6%と最も多く、次いで「母親」(16.2%)、「あなた自身」(10.6%)、「わからない、答えられない」(3.3%)、「その他」(2.8%)と続いています。

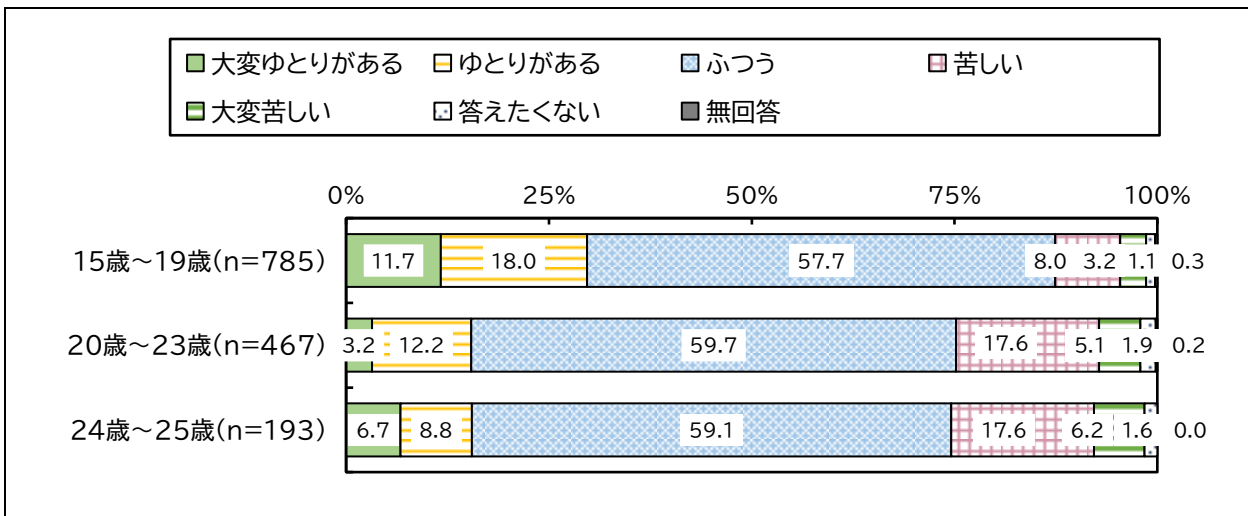
(5) 生活状況について

問6 あなたは、現在の生活状況をどのように感じていますか。(1つに○)



現在の生活状況は、「ふつう」が58.5%と最も多く、『ゆとりがある』(「大変ゆとりがある」と「ゆとりがある」)は23.2%、『苦しい』(「大変苦しい」と「苦しい」)は16.6%となっています。

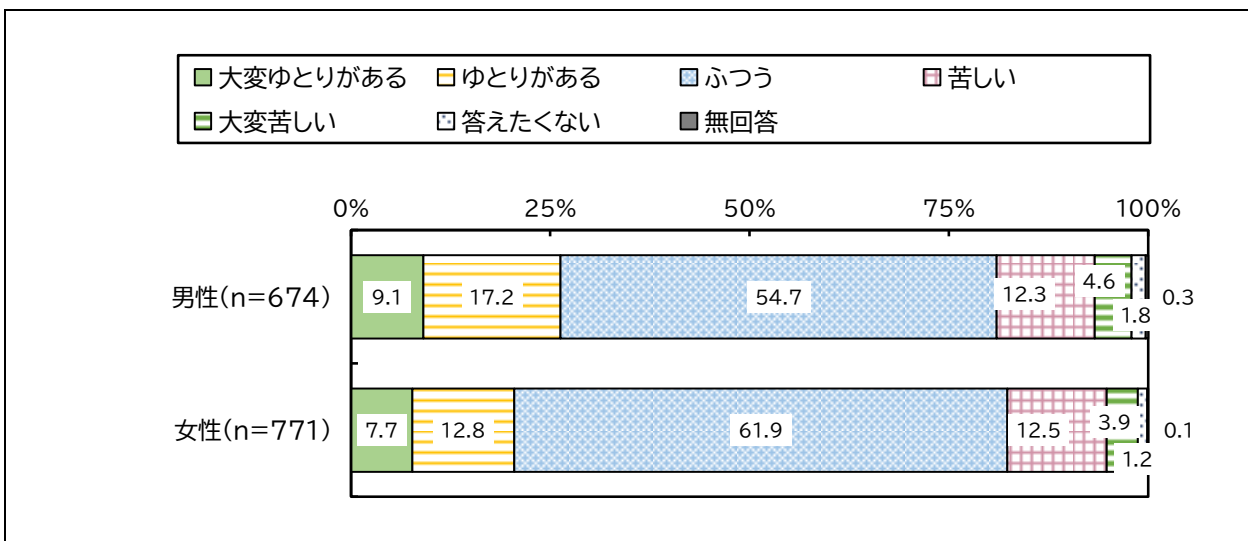
《年齢別》生活状況



現在の生活状況を年齢別に見ると、どの年齢層も「ふつう」が最も多くなっています。

『苦しい』（「大変苦しい」と「苦しい」）の割合は、「15歳～19歳」が11.2%、「20歳～23歳」が22.7%、「24歳～25歳」が23.8%となっています。

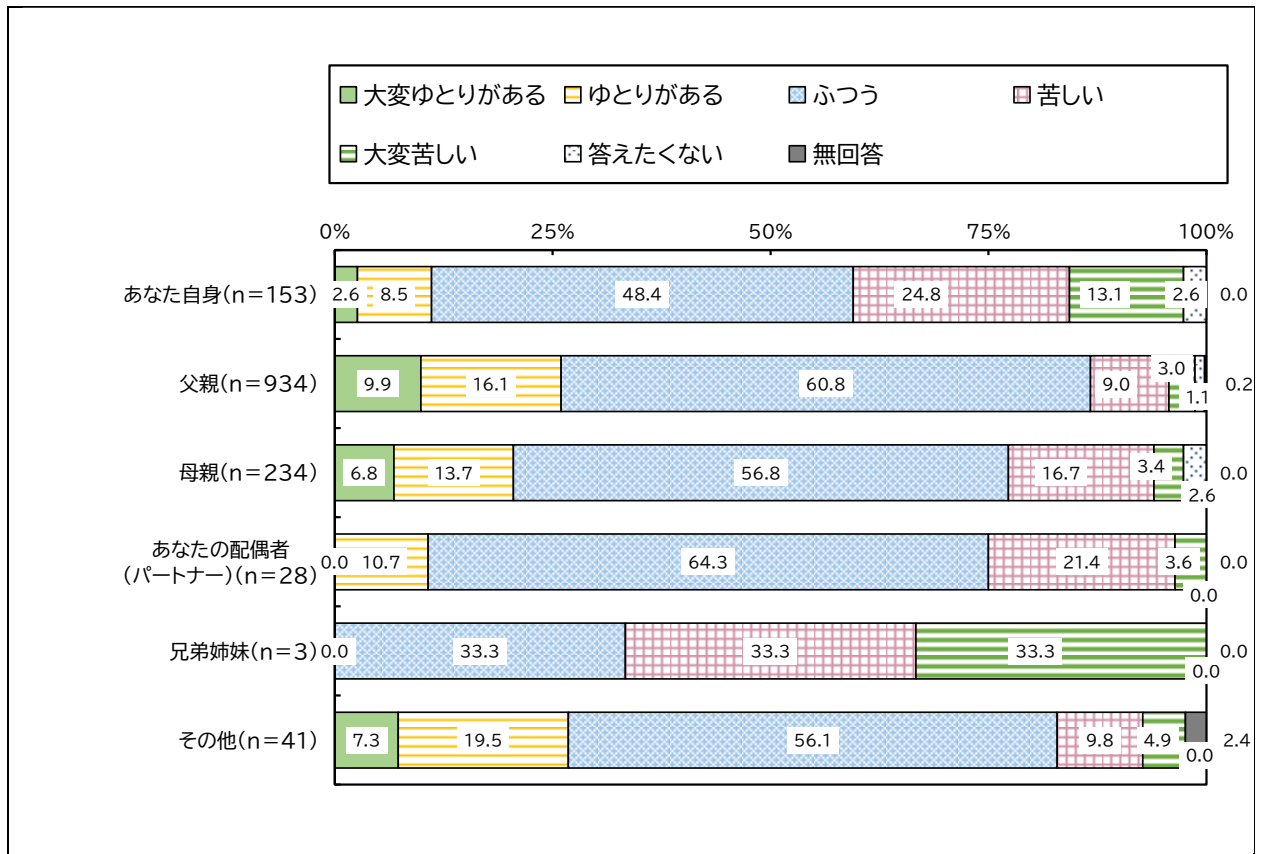
《男女別》生活状況



現在の生活状況を男女別に見ると、どちらも「ふつう」が最も多くなっています。

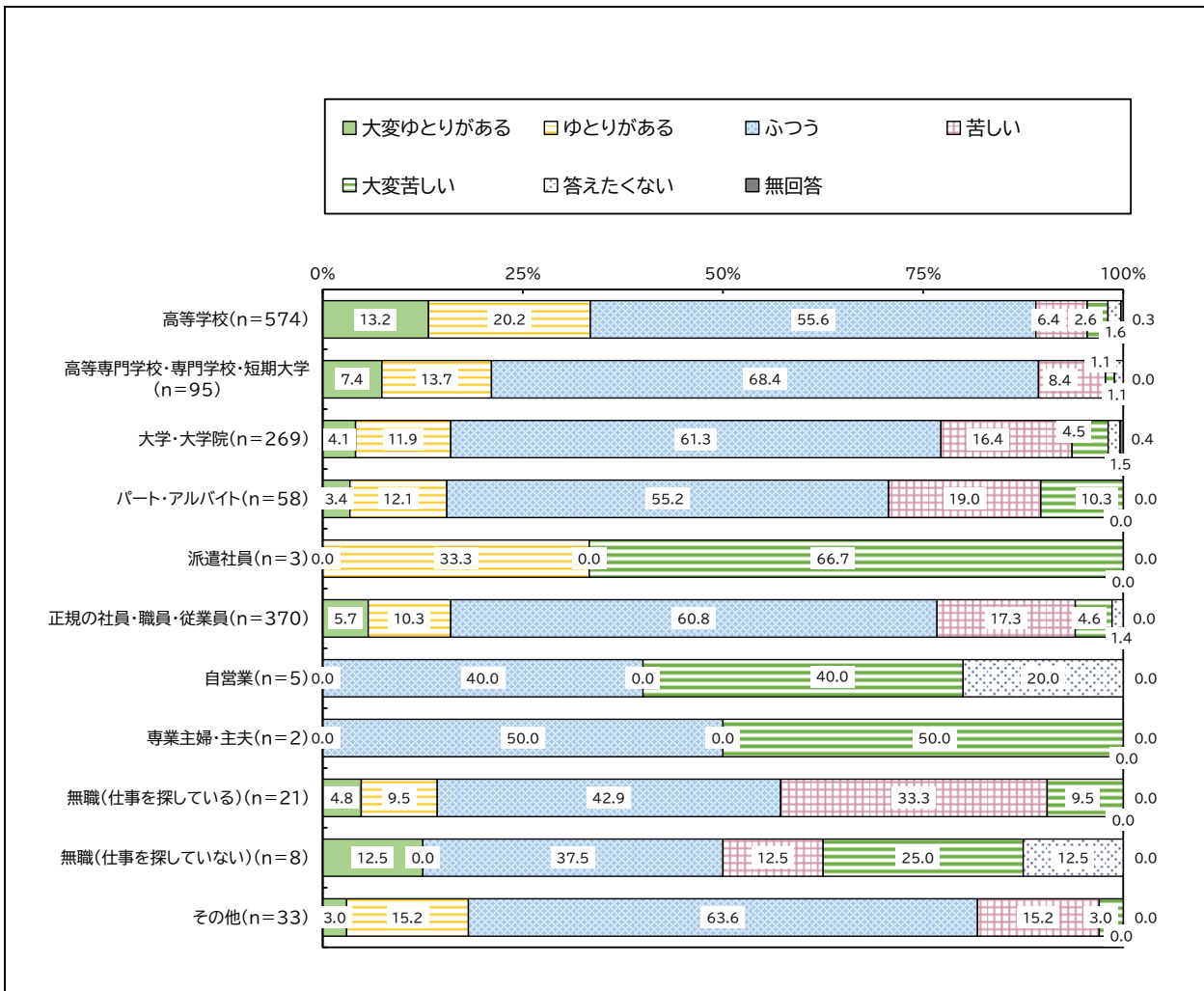
『苦しい』（「大変苦しい」と「苦しい」）の割合は、「男性」が16.9%、「女性」が16.4%となっています。

《生計主別》生活状況



現在の生活状況を生計主別に、『苦しい』（「大変苦しい」と「苦しい」）の割合を見ると、「兄弟姉妹」が66.6%と最も多く、次いで「あなた自身」（37.9%）、「あなたの配偶者（パートナー）」（25.0%）と続いています。

《就学・就労状況別》生活状況

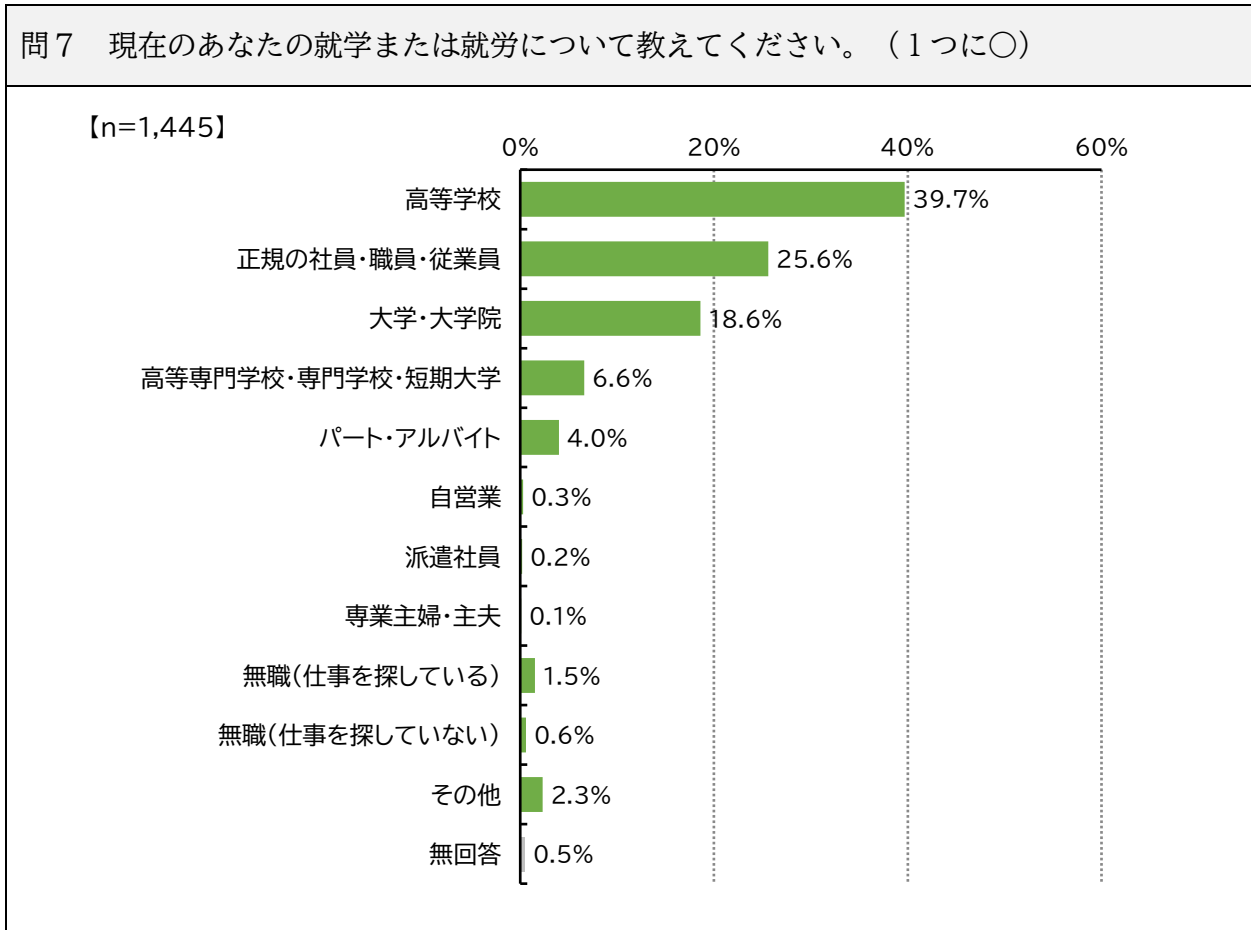


現在の生活状況を就学・就労状況別に、『苦しい』（「大変苦しい」と「苦しい」）の割合を見ると、「派遣社員」が66.7%と最も多く、次いで「専業主婦・主夫」（50.0%）、「無職（仕事を探している）」（42.8%）と続いています。

2 あなたの就学・就労状況について

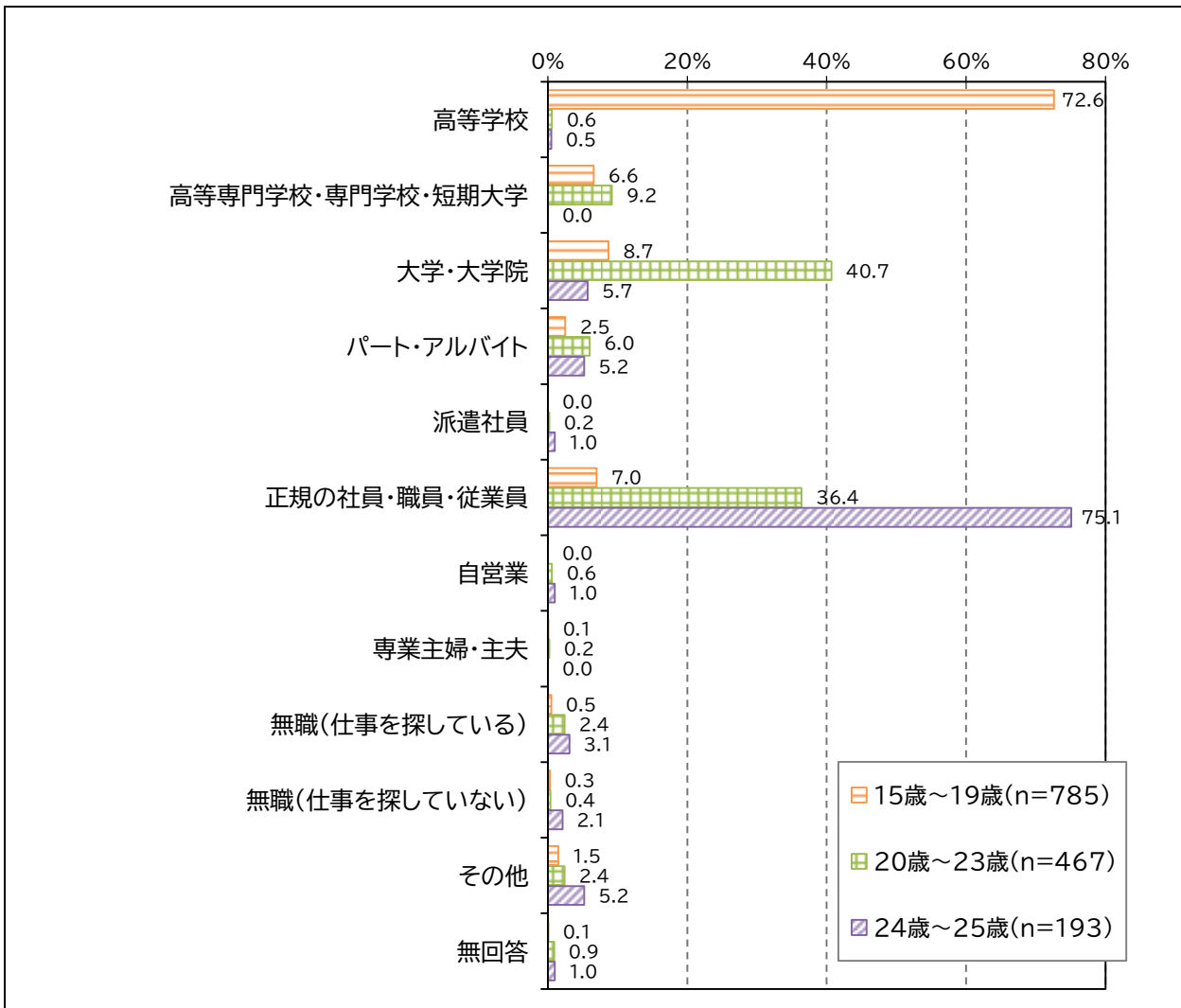
(1) 現在の就学・就労状況について

問7 現在のあなたの就学または就労について教えてください。(1つに○)



現在の就労・就学状況は、「高等学校」が39.7%と最も多く、次いで「正規の社員・職員・従業員」(25.6%)、「大学・大学院」(18.6%)、「高等専門学校・専門学校・短期大学」(6.6%)、「パート・アルバイト」(4.0%)と続いています。

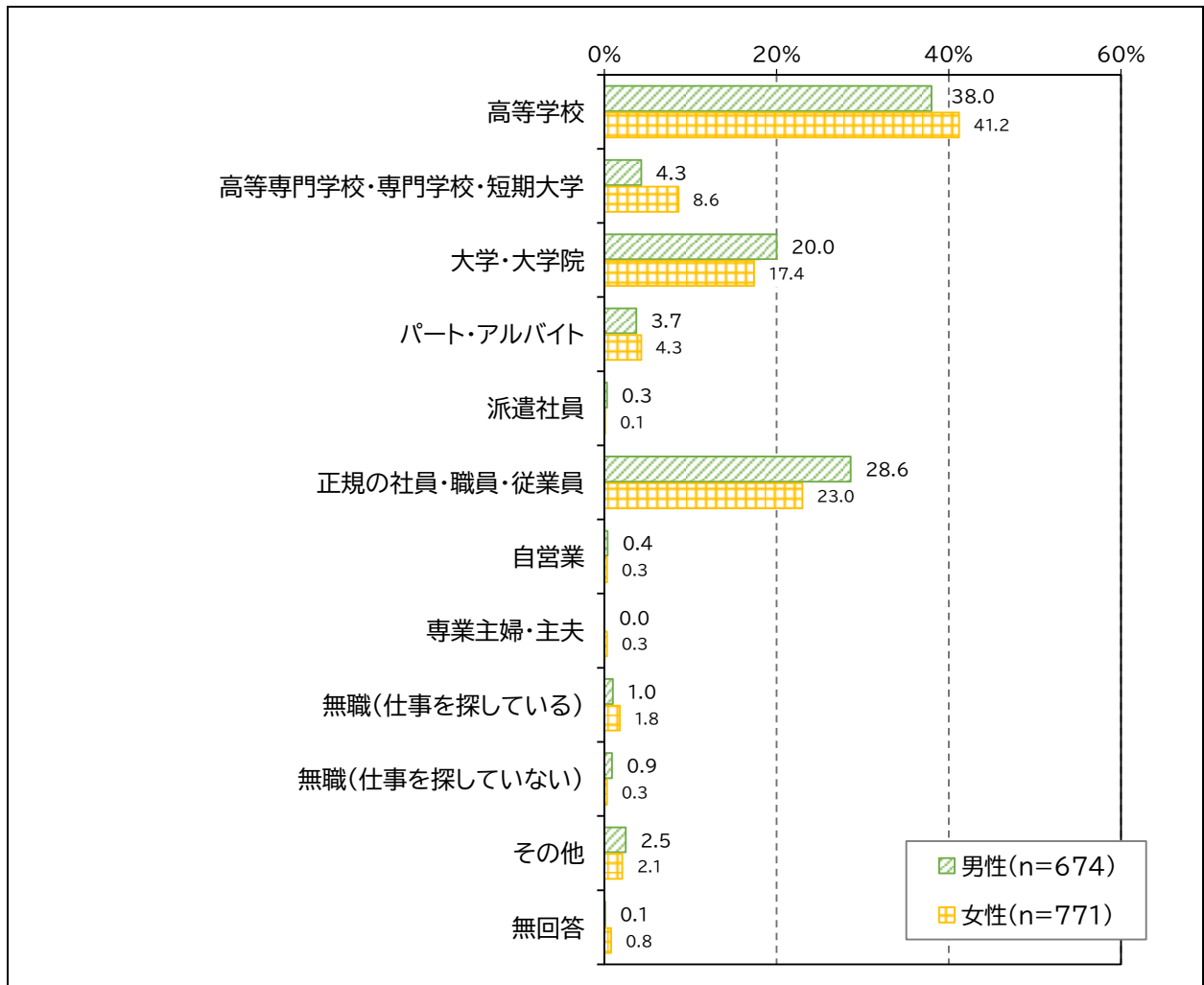
《年齢別》就学・就労状況



就学・就労状況を年齢別に見ると、「15歳~19歳」は「高等学校」、「20歳~23歳」は「大学・大学院」、「24歳~25歳」は「正規の社員・職員・従業員」が最も多くなっています。

「無職」は、「15歳~19歳」が0.8%、「20歳~23歳」が2.8%、「24歳~25歳」が5.2%となっています。

《男女別》就学・就労状況



就学・就労状況を男女別に見ると、男女ともに「高等学校」が最も多くなっています。

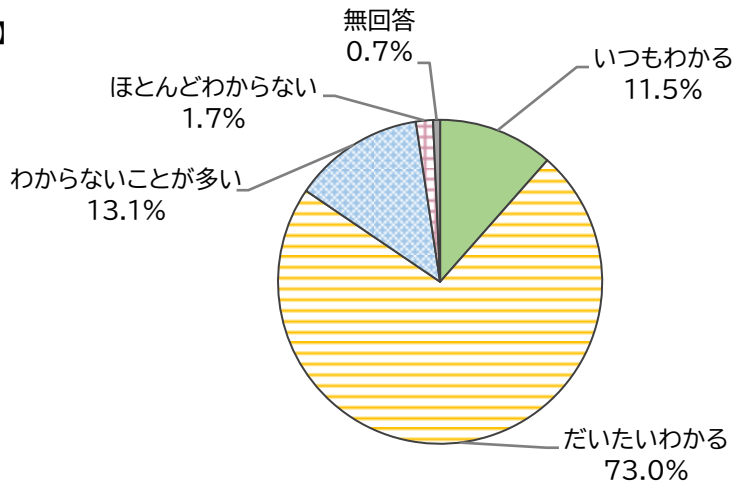
「無職」は、「男性」が1.9%、「女性」が2.1%となっています。

(2) 学校の授業について

【問8～問11は問7で「1. 高等学校」と答えた方のみ】

問8 学校の授業がわからないことがありますか。(1つに○)

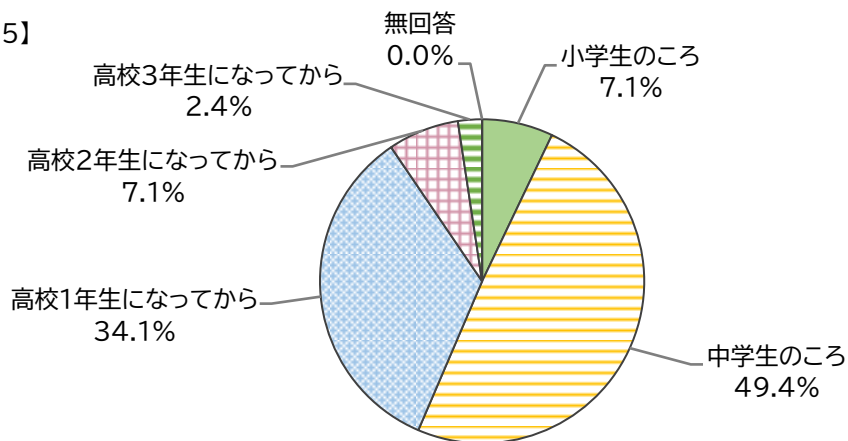
【n=574】



問7で「高等学校」と回答した574人に学校の授業の理解度をたずねると、「だいたいわかる」が73.0%と最も多く、次いで「わからないことが多い」(13.1%)、「いつもわかる」(11.5%)、「ほとんどわからない」(1.7%)となっています。

問9 【問8で「3. わからないことが多い」、「4. ほとんどわからない」に○をつけた方にうかがいます】
いつごろから、授業でわからないことがあるようになりましたか。(1つに○)

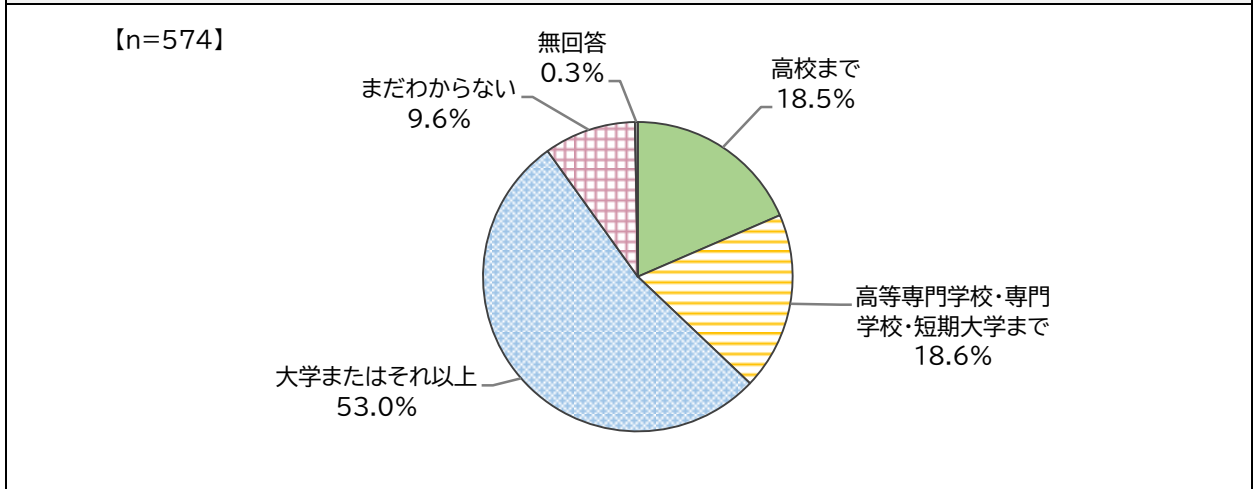
【n=85】



問8で「3. わからないことが多い」、「4. ほとんどわからない」と回答した85人にいつごろから、授業がわからなくなったかをたずねると、「中学生のころ」が49.4%と最も多く、次いで「高校1年生になってから」(34.1%)、「小学生のころ」(7.1%)、「高校2年生になってから」(7.1%)、「高校3年生になってから」(2.4%)となっています。

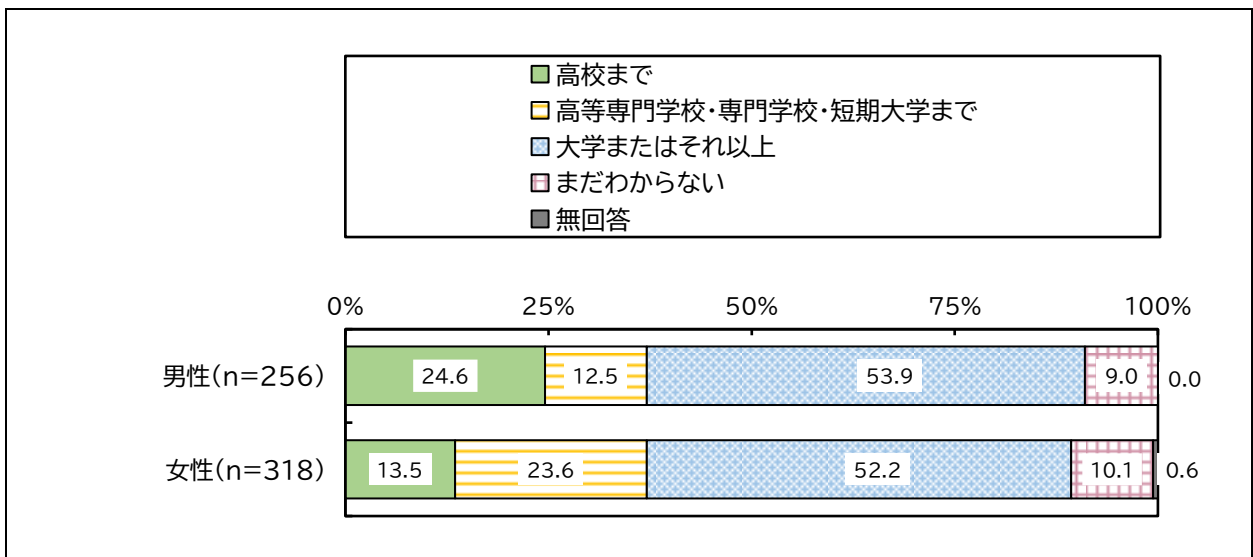
(3) 将来の進学希望について

問9 将来、どの段階の学校まで進学したいですか。(1つに○)



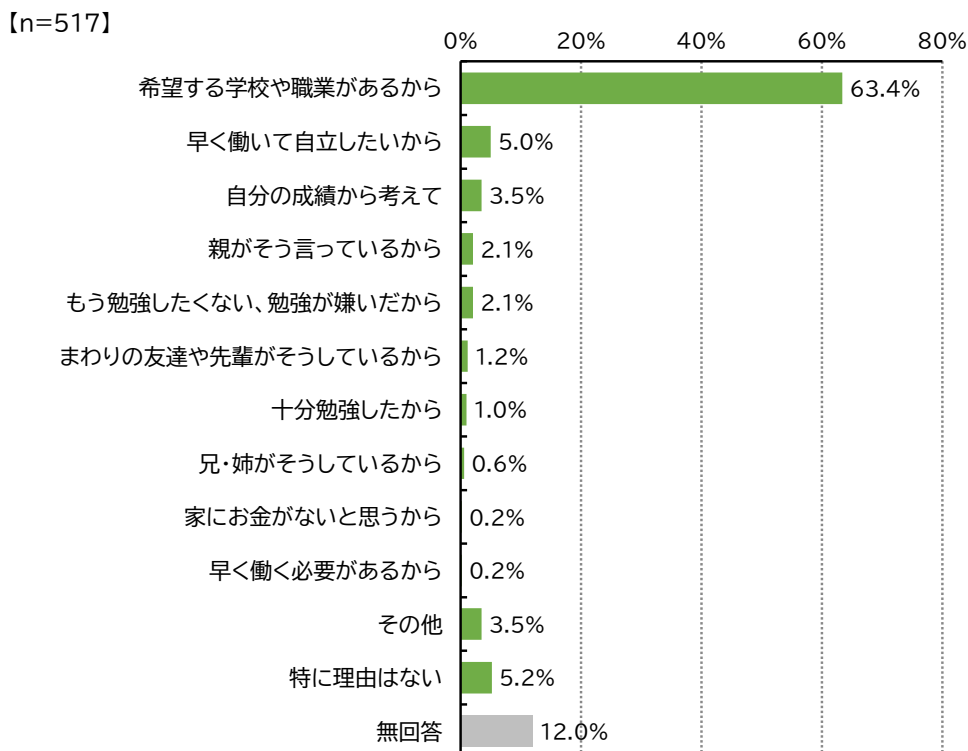
問7で「1. 高等学校」と回答した574人に将来、どの段階まで進学したいかをたずねると、「大学またはそれ以上」が53.0%と最も多く、次いで「高等専門学校・専門学校・短期大学まで」(18.6%)、「高校まで」(18.5%)、「まだわからない」(9.6%)となっています。

《男女別》進学希望



将来の進学希望を男女別に見ると、男女ともに「大学またはそれ以上」最も多く、5割以上となっています。また、「高校」までの割合は、「男性」が24.6%、「女性」が13.5%となっています。

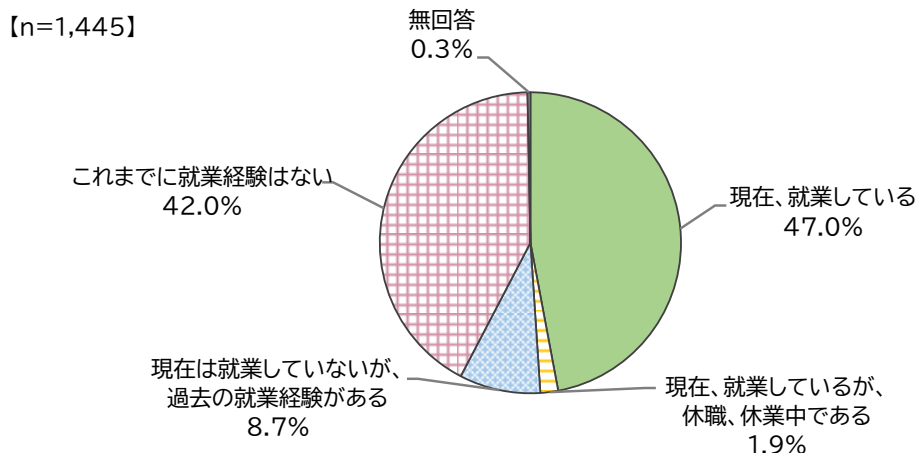
問 11 【問 10 で「4. まだわからない」以外に○をつけた方にうかがいます】
問 10 の希望の進学先を選んだ理由は何ですか。（もっともあてはまるもの1つに○）



問 10 で「4. まだわからない」以外を回答した 517 人に希望の進学先を選んだ理由をたずねると、「希望する学校や職業があるから」が 63.4%と最も多く、次いで「特に理由はない」（5.2%）、「早く働いて自立したいから」（5.0%）、「自分の成績から考えて」（3.5%）、「その他」（3.5%）と続いています。

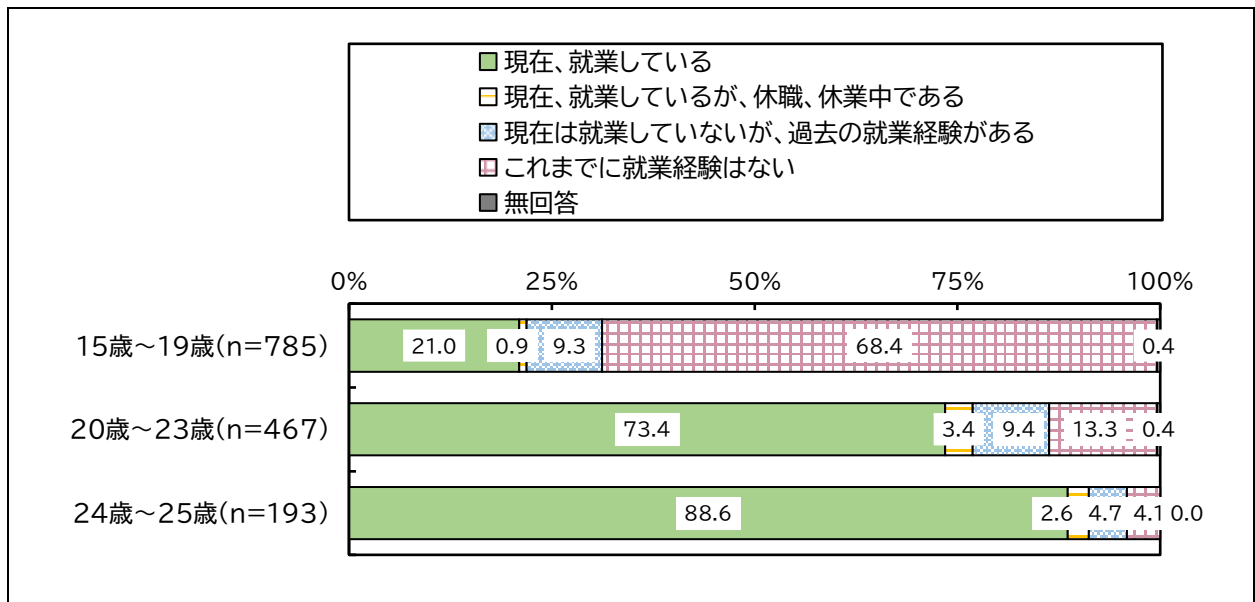
（4）就業経験について

問 12 あなたの就業経験についてお答えください。（パート・アルバイトを含む）
（1つに○）



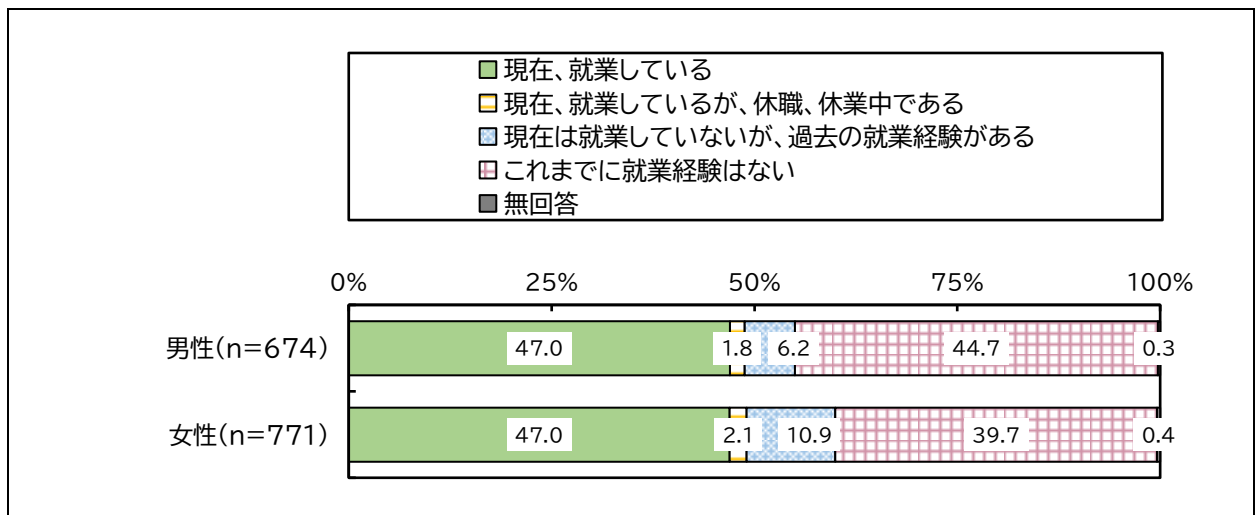
パート・アルバイトを含む就業経験は、「現在、就業している」が 47.0%と最も多く、次いで「これまで就業経験はない」（42.0%）、「現在は就業していないが、過去の就業経験がある」（8.7%）、「現在、就業しているが、休職、休業中である」（1.9%）となっています。

《年齢別》 就業経験



就業状況を年齢別に見ると、「現在、就業している」は「15歳～19歳」が21.0%、「20歳～23歳」が73.4%、「24歳～25歳」が88.6%となっています。

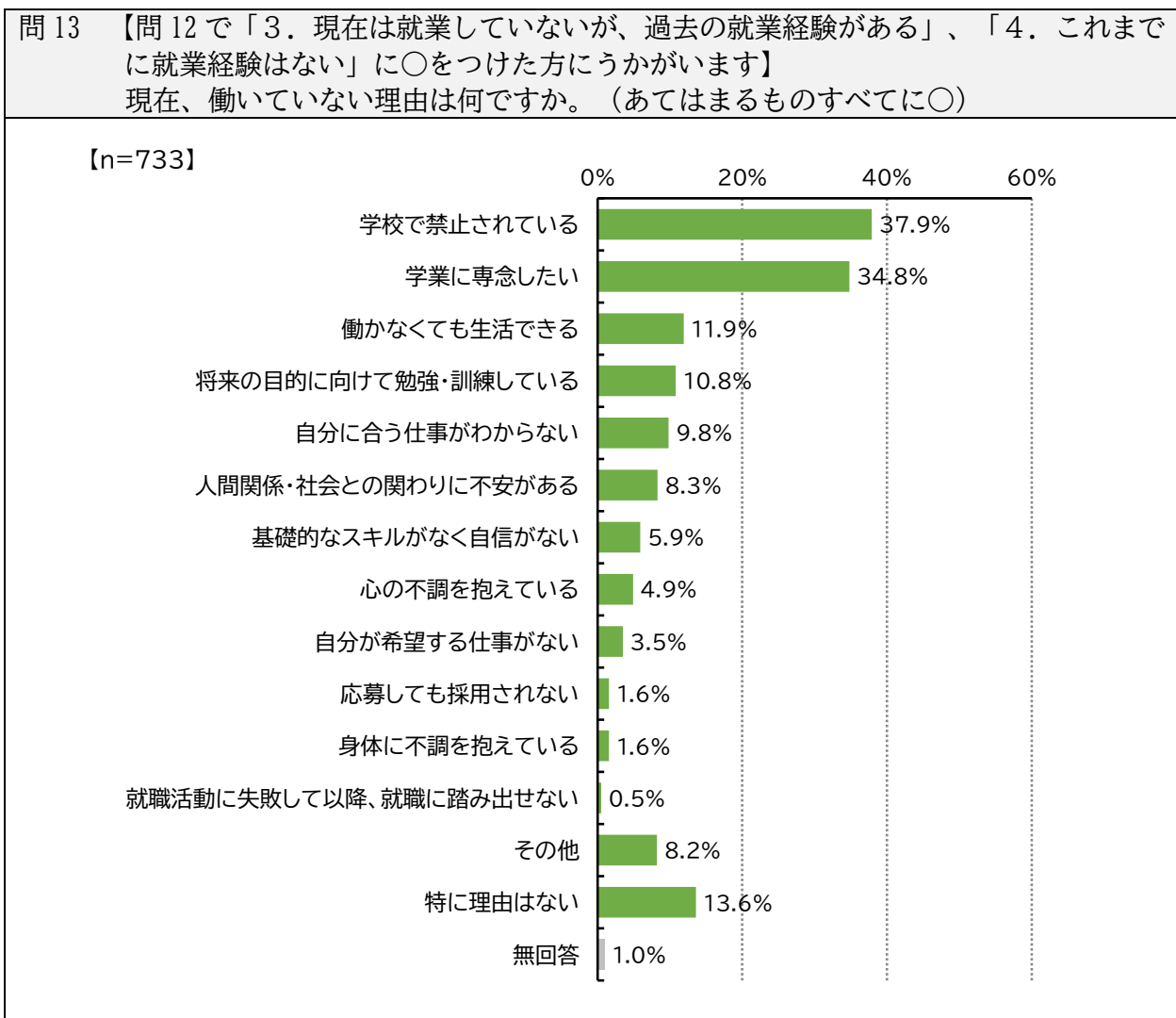
《男女別》 就業経験



就業状況を男女別に見ると、「現在、就業している」は男性、女性ともに47.0%となっています。

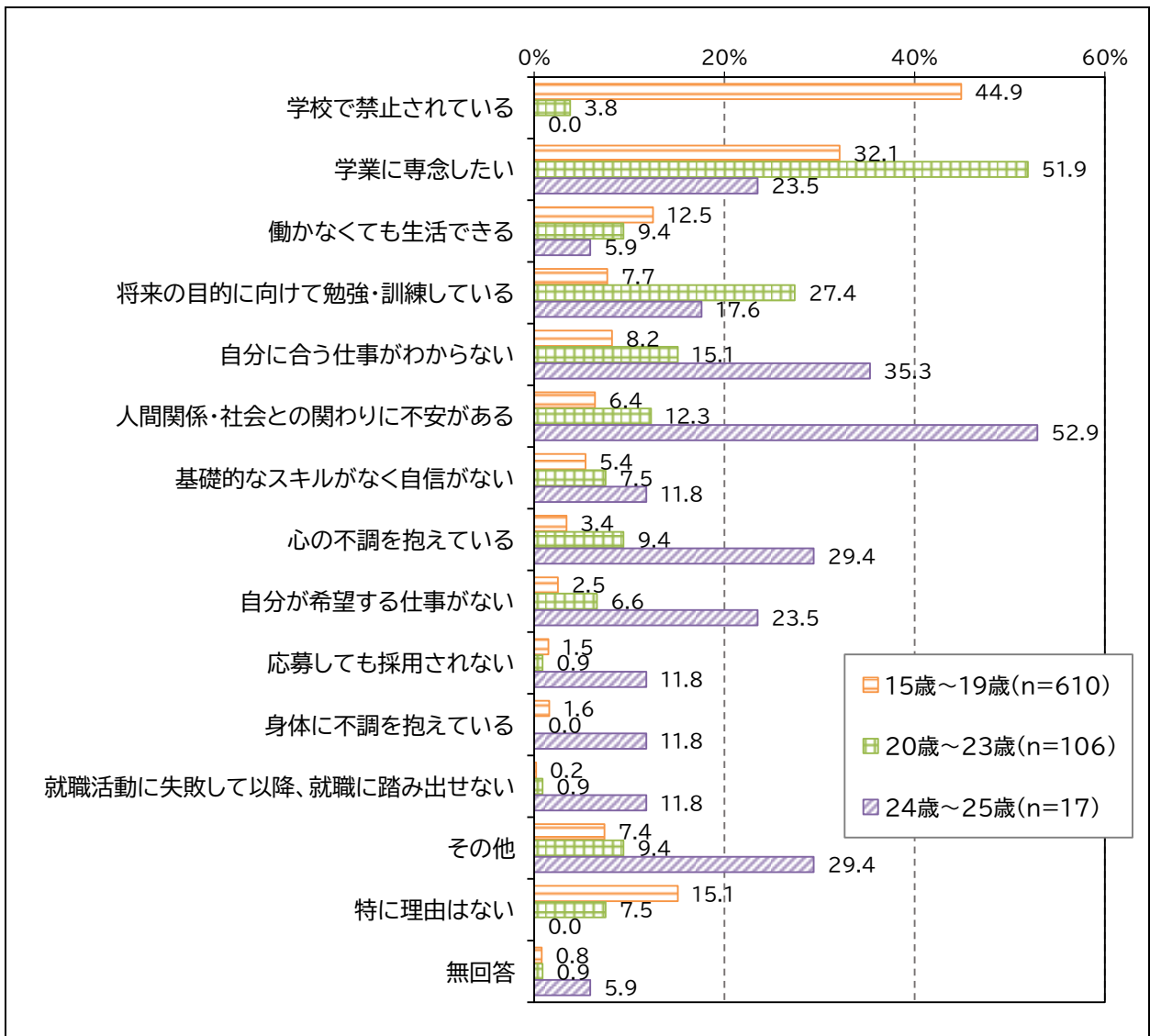
「これまでに就業経験はない」は「男性」が44.7%、「女性」が39.7%となっています。

(5) 働いていない理由



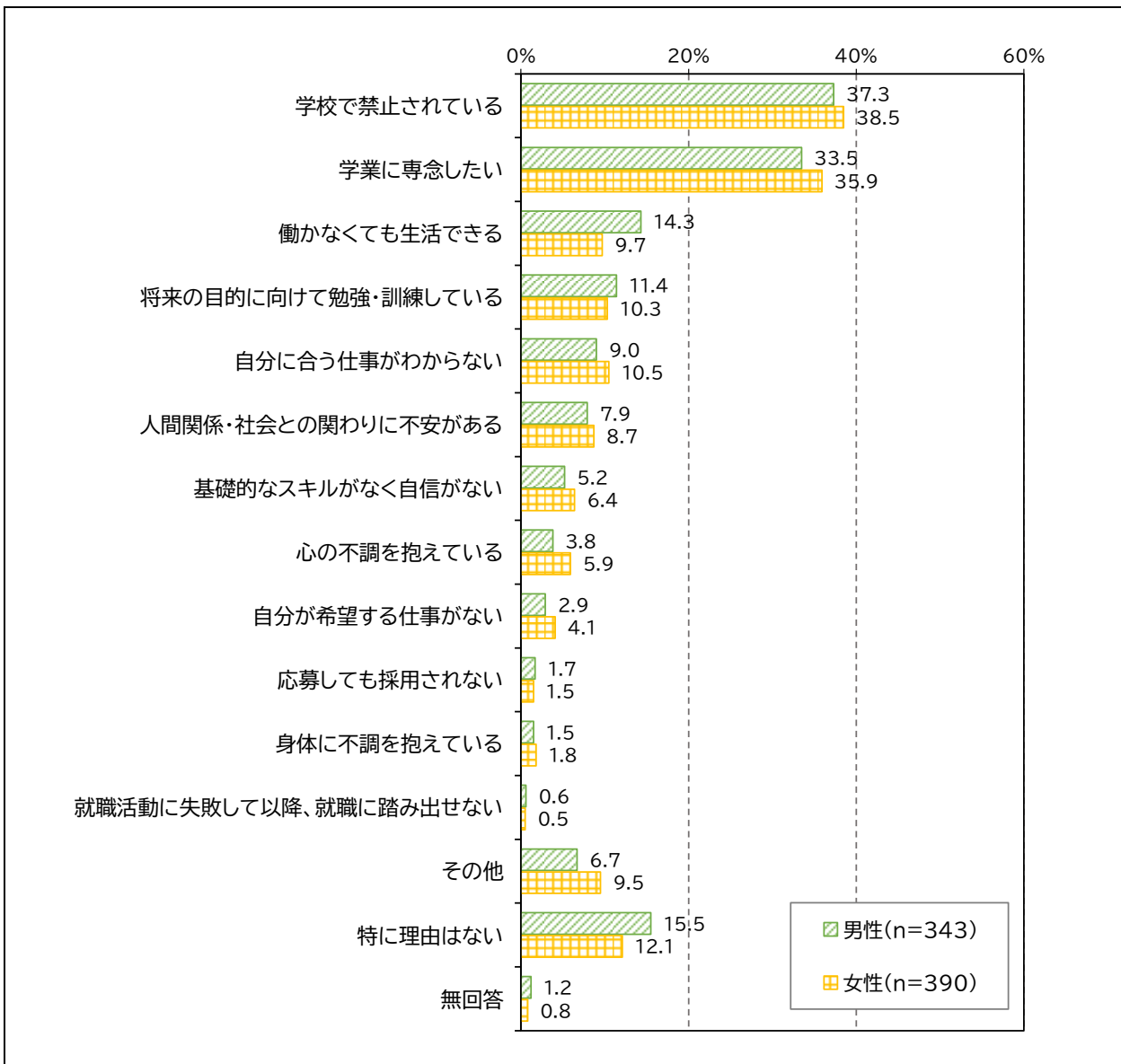
問 12 で「3. 現在は就業していないが、過去の就業経験がある」、「4. これまでに就業経験はない」と回答した 733 人に働いていない理由をたずねると、「学校で禁止されている」が 37.9% と最も多く、次いで「学業に専念したい」（34.8%）、「働かなくても生活できる」（11.9%）、「将来の目的に向けて勉強・訓練している」（10.8%）、「自分に合う仕事が見つからない」（9.8%）と続いています。

《年齢別》働いていない理由



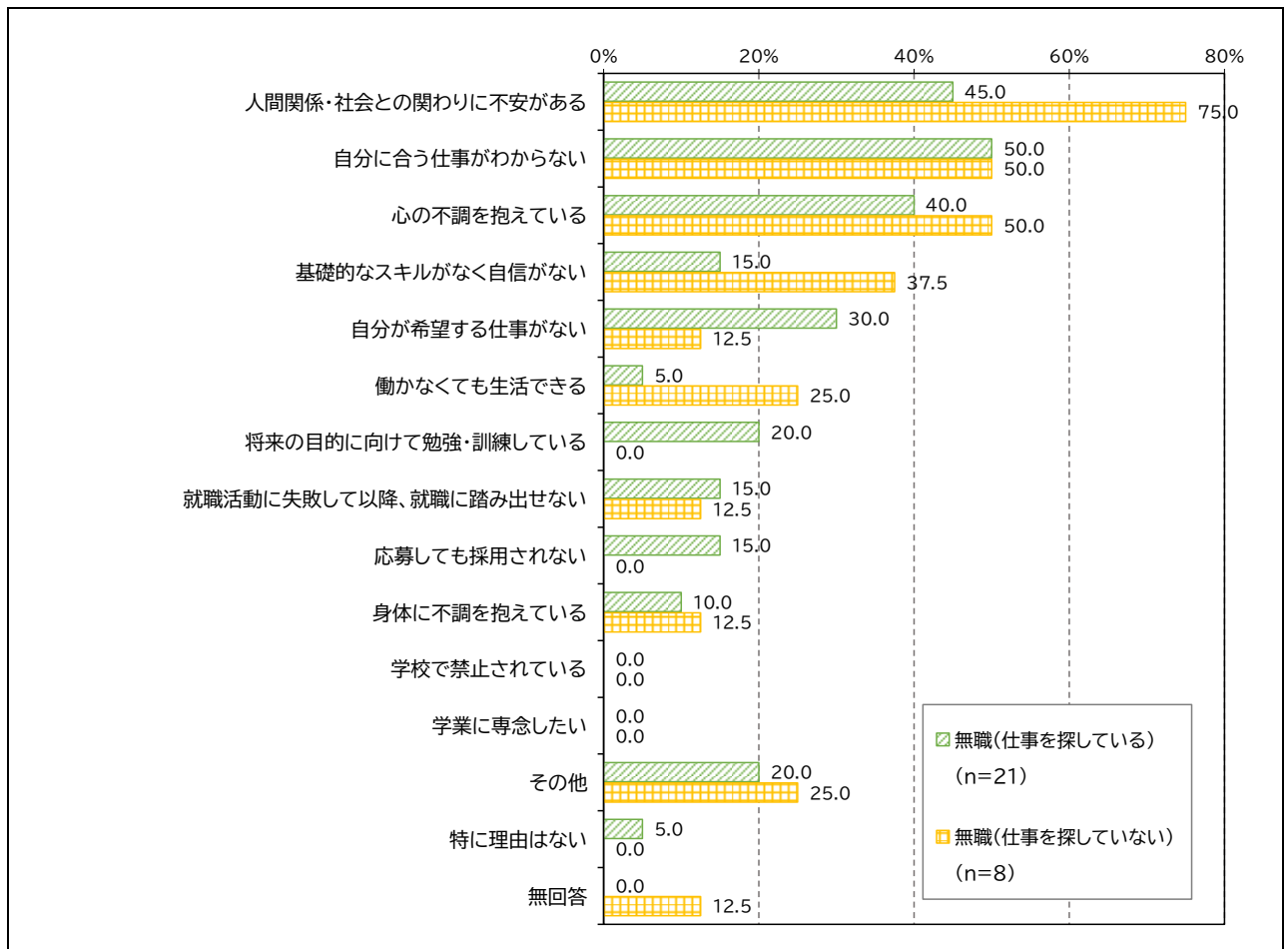
働いていない理由を年齢別に見ると、「15歳～19歳」は「学校で禁止されている」が44.9%、「20歳～23歳」は「学業に専念したい」が51.9%、「24歳～25歳」は「人間関係・社会との関わりが不安がある」が52.9%で最も多くなっています。

《男女別》働いていない理由



働いていない理由を男女別に見ると、男女ともに「学校で禁止されている」、「学業に専念したい」が多くなっています。

《無職者》働いていない理由

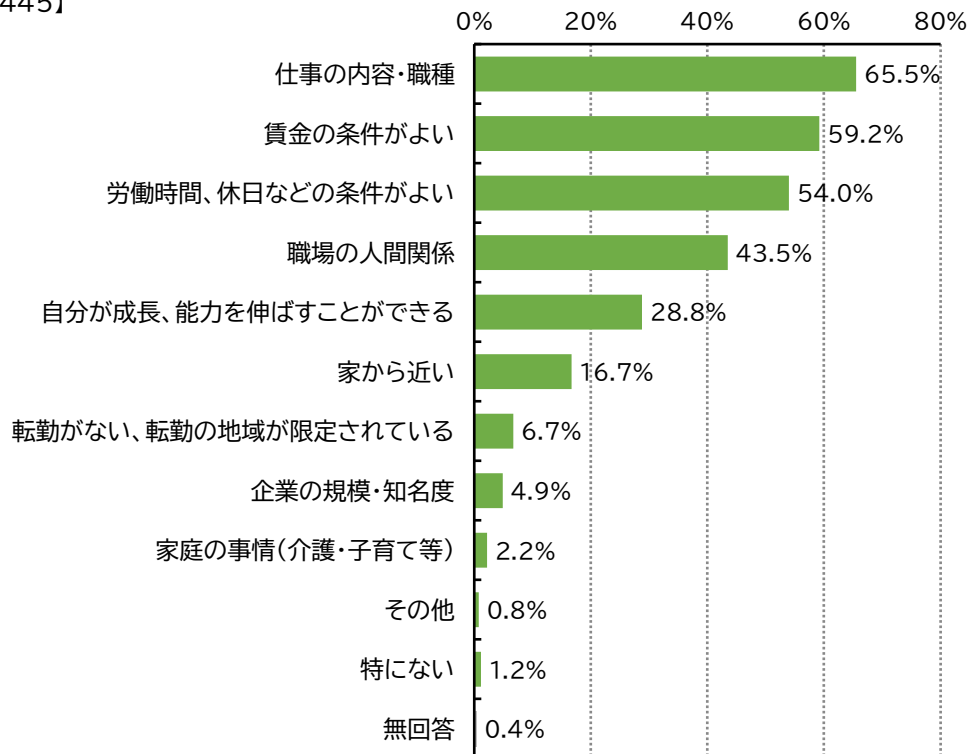


現在「無職」の人の「働いていない理由」を見ると、「人間関係・社会との関わりに不安がある」、「自分に合う仕事が見つからない」、「心の不調を抱えている」との回答が多くなっています。

(6) 就労する際に重要視すること

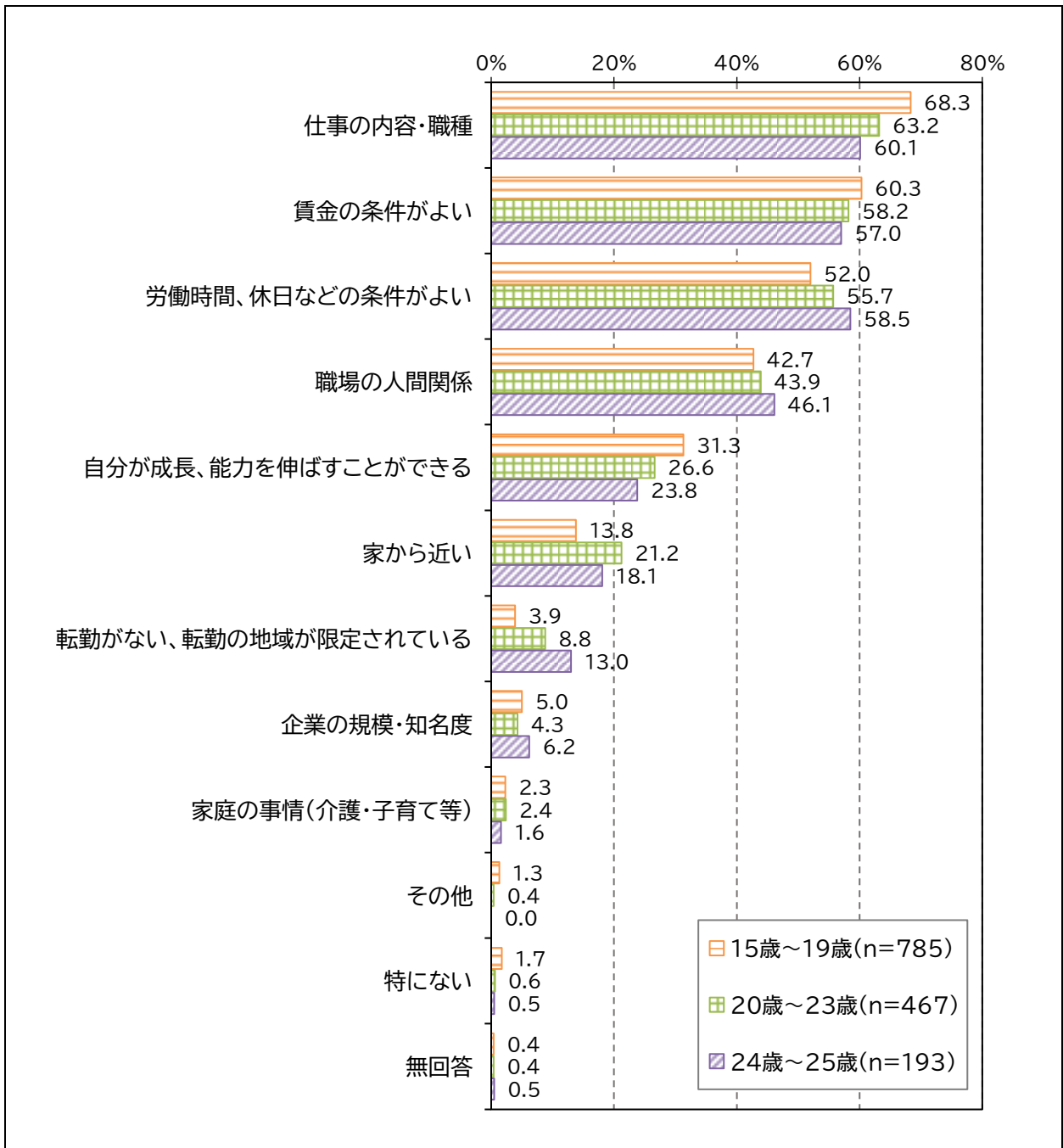
問 14 あなたが就労する際に重視することは何ですか。(あてはまるもの3つに○)

【n=1,445】



就労する際に重要視することは、「仕事の内容・職種」が65.5%と最も多く、次いで「賃金の条件がよい」(59.2%)、「労働時間、休日などの条件がよい」(54.0%)、「職場の人間関係」(43.5%)、「自分が成長、能力を伸ばすことができる」(28.8%)と続いています。

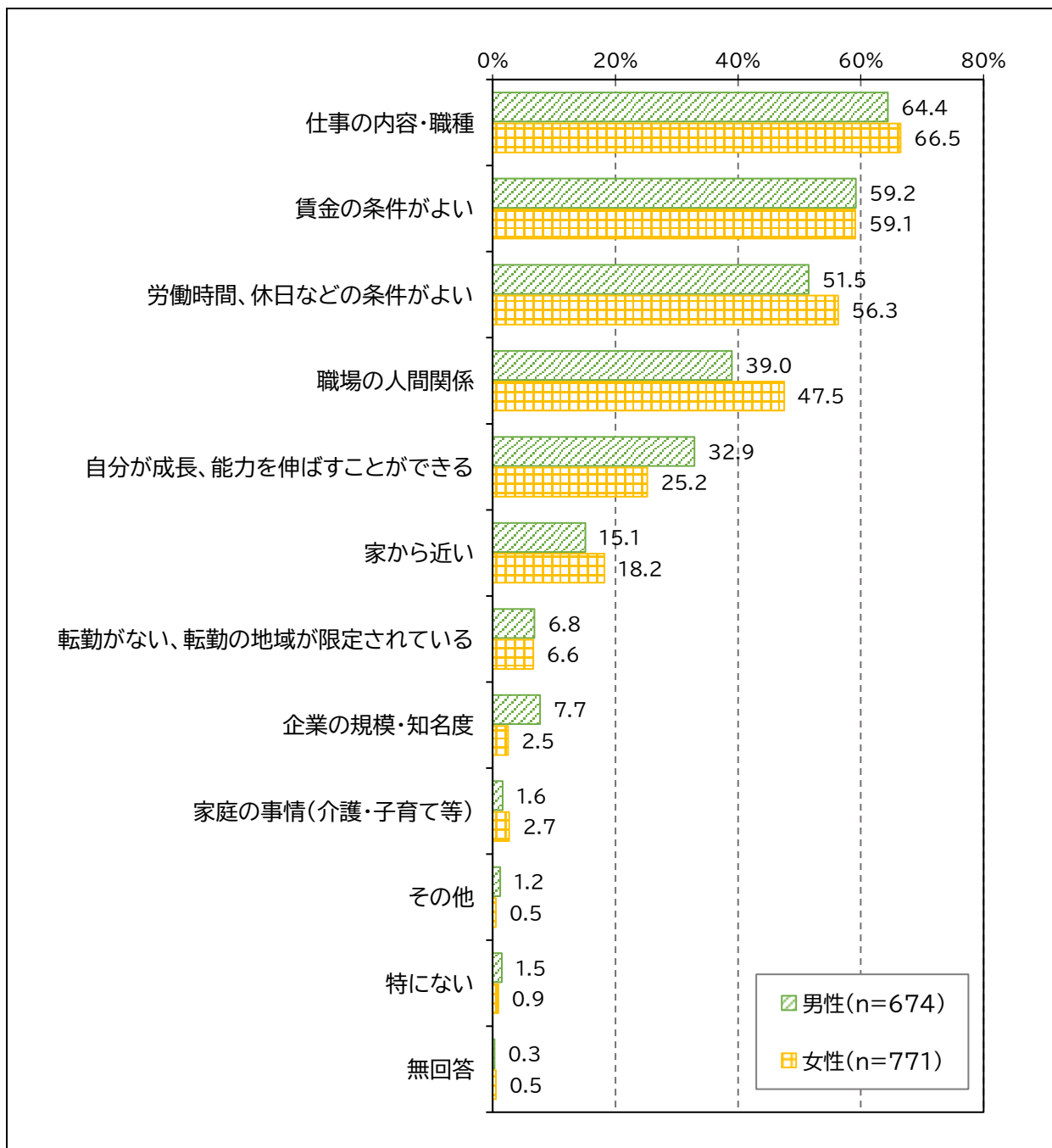
《年齢別》就労の際に重要視すること



就労の際に重要視することを年齢別に見ると、「15歳～19歳」、「20歳～23歳」は、「仕事の内容・職種」が最も多く、次いで「賃金の条件がよい」、「労働時間、休日などの条件がよい」と続いています。

「24歳～25歳」は、「仕事の内容・職種」が最も多く、次いで「労働時間、休日などの条件がよい」、「賃金の条件がよい」と続いています。

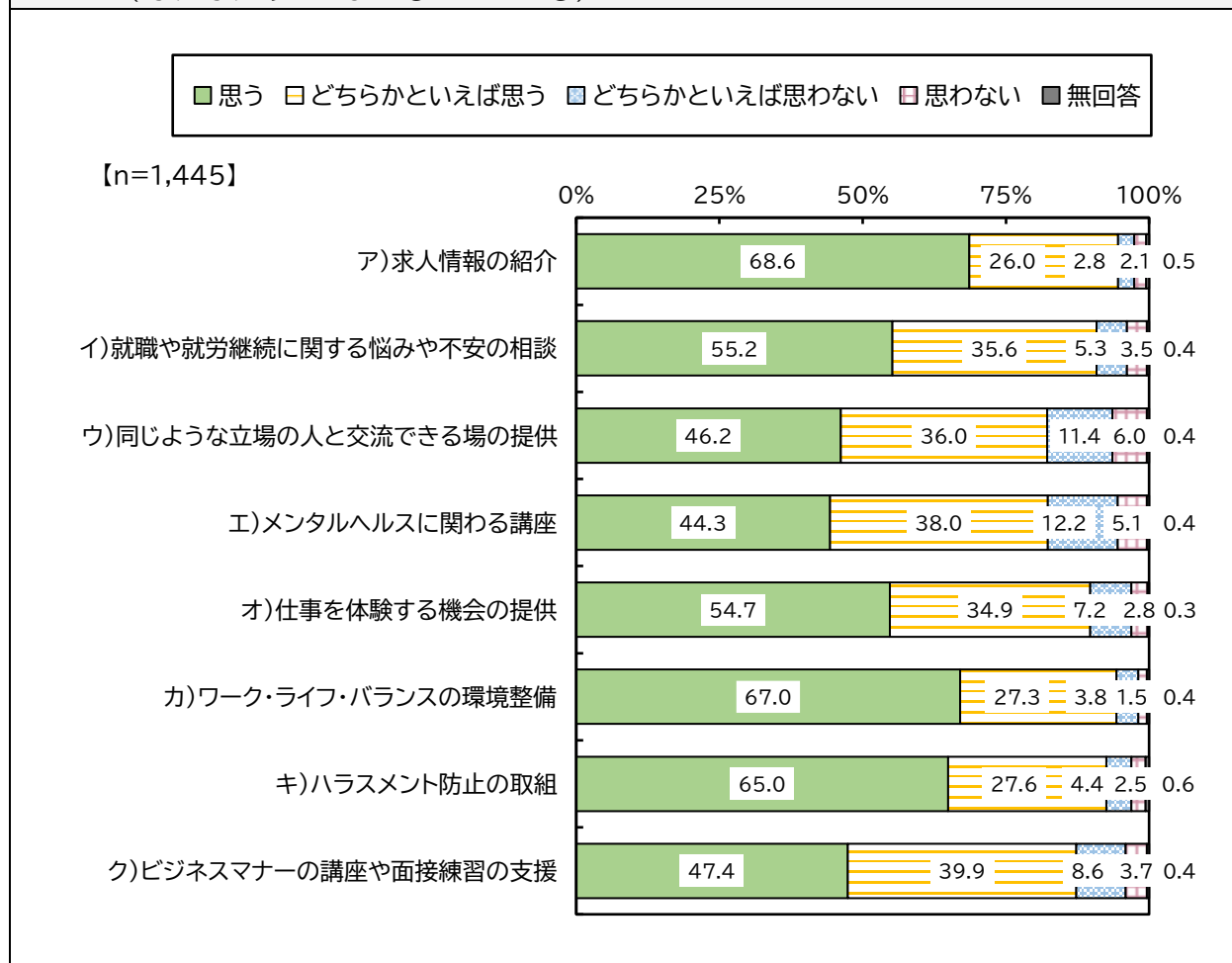
《男女別》就労の際に重要視すること



就労の際に重要視することを男女別に見ると、男女ともに「仕事の内容・職種」が最も多く、次いで「賃金の条件がよい」、「労働時間、休日などの条件がよい」と続いています。

(7) 就労、就労の継続のために必要な支援・取組

問 15 横手市で就労、就労の継続のため次の支援・取組が必要だと思いますか。
(それぞれあてはまるもの一つに○)



就労、就労の継続のため次の支援・取組が必要だと思うかでは、『思う』（「思う」と「どちらかといえば思う」の合計）の割合を見ると、「ア）求人情報の紹介」が 94.6%と最も多く、次いで「カ）ワーク・ライフ・バランスの環境整備」（94.3%）、「キ）ハラスメント防止の取組」（92.6%）と続いています。

《年齢別》就労、就労の継続のために必要な支援・取組

		(%)				
		思う	どちらかといえば	どちらかわからない	思わない	無回答
ア) 求人情報の紹介	15歳～19歳	68.7	26.4	2.7	1.8	0.5
	20歳～23歳	69.8	24.8	2.8	2.4	0.2
	24歳～25歳	65.3	26.9	3.6	3.1	1.0
イ) 就職や就労継続に関する悩みや不安の相談	15歳～19歳	56.4	35.9	4.5	2.8	0.4
	20歳～23歳	54.8	34.5	6.4	4.1	0.2
	24歳～25歳	51.3	36.8	6.2	4.7	1.0
ウ) 同じような立場の人と交流できる場の提供	15歳～19歳	49.2	35.7	9.7	5.1	0.4
	20歳～23歳	41.3	39.6	12.6	6.0	0.4
	24歳～25歳	46.1	28.5	15.5	9.3	0.5
エ) メンタルヘルスに関する講座	15歳～19歳	44.7	38.5	11.3	5.1	0.4
	20歳～23歳	45.2	36.2	13.5	4.9	0.2
	24歳～25歳	40.4	40.4	13.0	5.2	1.0
オ) 仕事を体験する機会の提供	15歳～19歳	60.6	31.6	6.0	1.5	0.3
	20歳～23歳	48.8	38.5	7.9	4.5	0.2
	24歳～25歳	44.6	39.9	10.4	4.1	1.0
カ) ワーク・ライフ・バランスの環境整備	15歳～19歳	66.0	29.2	3.3	1.1	0.4
	20歳～23歳	68.5	25.3	4.3	1.7	0.2
	24歳～25歳	67.4	24.9	4.7	2.1	1.0
キ) ハラスメント防止の取組	15歳～19歳	66.4	27.0	3.6	2.4	0.6
	20歳～23歳	65.5	27.4	4.1	2.8	0.2
	24歳～25歳	58.0	30.6	8.3	2.1	1.0
ク) ビジネスマナーの講座や面接練習の支援	15歳～19歳	51.3	39.2	6.9	2.2	0.4
	20歳～23歳	45.4	40.0	9.4	4.9	0.2
	24歳～25歳	36.3	42.5	13.5	6.7	1.0

※15歳～19歳(n=785) 20歳～23歳(n=467) 24歳～25歳(n=193)

就労、就労の継続のために必要な支援・取組を年齢別に、『思う』（「思う」と「どちらかといえば思う」の合計）の割合を見ると、「15歳～19歳」、「24歳～25歳」は「カ）ワーク・ライフ・バランスの環境整備」が最も多く、「20歳～23歳」は「ア）求人情報の紹介」が最も多くなっています。

《男女別》就労、就労の継続のために必要な支援・取組

		(%)				
		思う	どちらかといえば思う	どちらかといえば思わない	思わない	無回答
ア) 求人情報の紹介	男性	68.1	24.5	3.7	3.3	0.4
	女性	69.0	27.2	2.1	1.2	0.5
イ) 就職や就労継続に関する悩みや不安の相談	男性	53.6	35.6	6.1	4.3	0.4
	女性	56.7	35.5	4.7	2.7	0.4
ウ) 同じような立場の人と交流できる場の提供	男性	47.0	35.5	10.8	6.2	0.4
	女性	45.5	36.4	11.9	5.7	0.4
エ) メンタルヘルスに関わる講座	男性	43.6	35.0	14.7	6.2	0.4
	女性	44.9	40.6	10.1	4.0	0.4
オ) 仕事を体験する機会の提供	男性	53.3	33.7	9.2	3.6	0.3
	女性	55.9	36.1	5.4	2.2	0.4
カ) ワーク・ライフ・バランスの環境整備	男性	66.3	26.4	5.2	1.6	0.4
	女性	67.6	28.1	2.6	1.3	0.4
キ) ハラスメント防止の取組	男性	63.6	26.7	4.9	4.2	0.6
	女性	66.1	28.4	3.9	1.0	0.5
ク) ビジネスマナーの講座や面接練習の支援	男性	45.0	39.8	9.8	5.0	0.4
	女性	49.5	40.1	7.5	2.5	0.4

※男性(n=674) 女性(n=771)

就労、就労の継続のために必要な支援・取組を男女別に、『思う』（「思う」と「どちらかといえば思う」の合計）の割合を見ると、「男性」は「カ）ワーク・ライフ・バランスの環境整備」が最も多く、「女性」は「ア）求人情報の紹介」が最も多くなっています。

《就学・就労状況別》就労、就労の継続のために必要な支援・取組

※『思う』（「思う」と「どちらかといえば思う」の合計）

	ア) 求人情報の紹介	イ) 就職や就労継続に関する悩みや不安の相談	ウ) 同じような立場の人と交流できる場の提供	エ) メンタルヘルスに関わる講座	オ) 仕事を体験する機会の提供	カ) ワーク・ライフ・バランスの環境整備	キ) ハラスメント防止の取組	ク) ビジネスマナーの講座や面接練習の支援
高等学校	95.3	92.3	87.1	83.6	93.2	95.5	93.2	90.8
高等専門学校・専門学校・短期大学	97.9	94.7	84.2	84.2	89.5	93.7	96.9	93.7
大学・大学院	94.0	87.7	79.9	79.9	87.0	93.3	92.6	87.3
パート・アルバイト	89.7	82.7	69.0	75.9	81.0	91.4	89.6	70.7
派遣社員	66.7	66.7	66.7	66.7	66.7	100.0	66.7	66.7
正規の社員・職員・従業員	94.6	90.5	78.3	82.4	88.4	94.3	91.6	83.5
自営業	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	100.0	80.0
専業主婦・主夫	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
無職 (仕事を探している)	95.2	100.0	66.7	85.7	76.1	100.0	95.2	85.7
無職 (仕事を探していない)	75.0	87.5	62.5	62.5	75.0	75.0	75.0	62.5
その他	94.0	94.0	93.9	87.9	93.9	94.0	94.0	90.9

※高等学校(n=574) 高等専門学校・専門学校・短期大学(n=95) 大学・大学院(n=269) パート・アルバイト(n=58) 派遣社員 (n=3)
 正規の社員・職員・従業員(n=370) 自営業(n=5) 専業主婦・主夫(n=2) 無職(仕事を探している)(n=21) 無職(仕事を探していない)(n=8)
 その他 (n=33) 無回答(n=7)

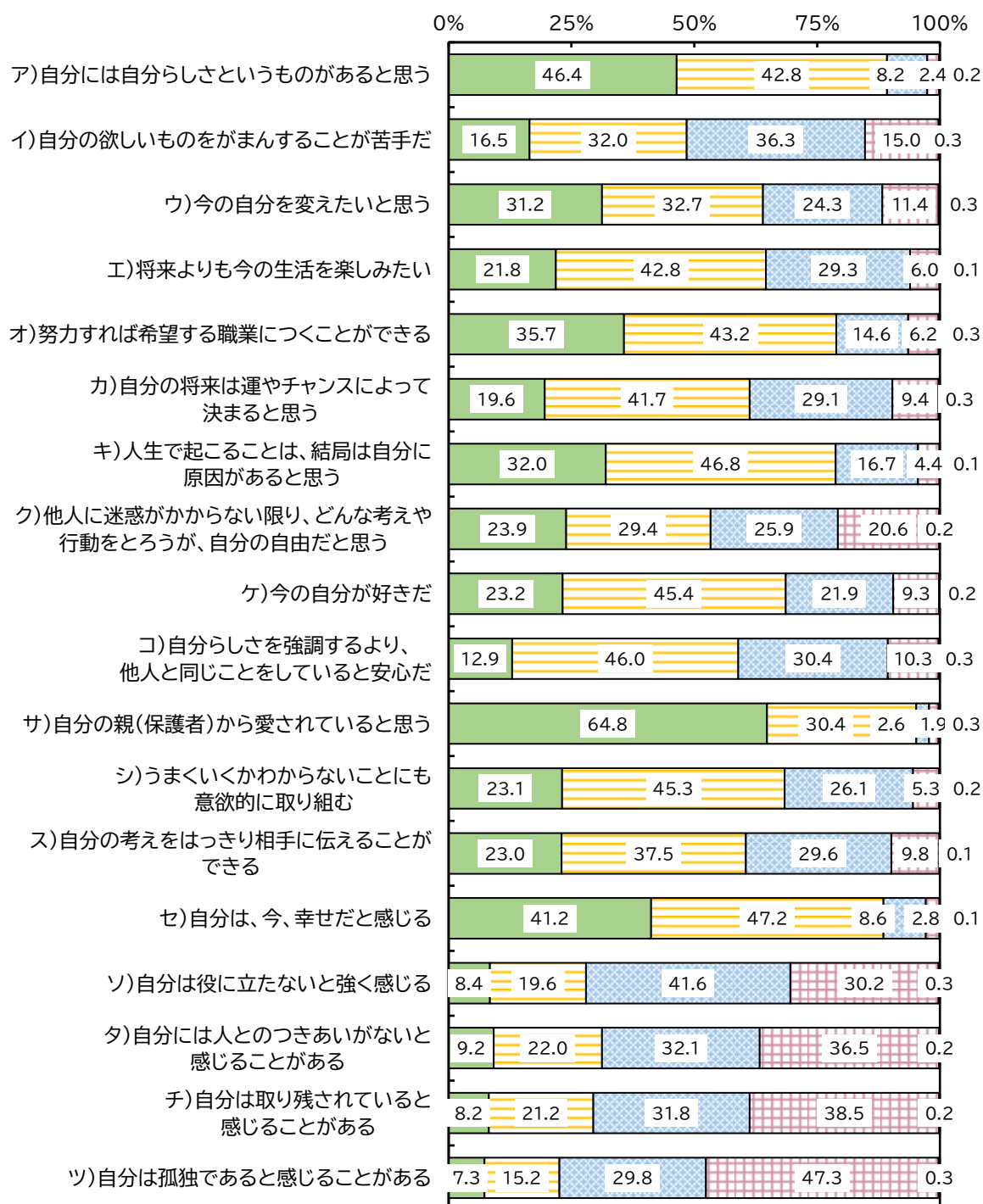
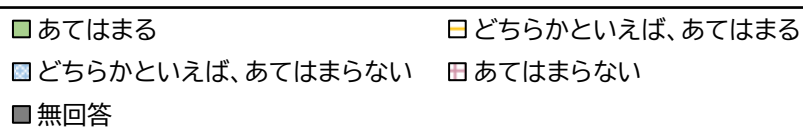
就労、就労の継続のために必要な支援・取組を就学・就労状況別に、『思う』（「思う」と「どちらかといえば思う」の合計）の割合を見ると、「ア）求人情報の紹介」、「カ）ワーク・ライフ・バランスの環境整備」が多い傾向となっています。「無職」は「イ）就職や就労継続に関する悩みや不安の相談」が多くなっています。

3 あなた自身について

(1) 自己認識について

問 16 あなた自身について、次のことがどのくらいあてはまりますか。
(それぞれあてはまるもの1つに○)

【n=1,445】



回答者の自己認識について、『あてはまる』（「あてはまる」と「どちらかといえば、あてはまる」の合計）の割合は、「サ）自分の親（保護者）から愛されていると思う」が95.2%と最も多く、次いで「自分には自分らしさというものがあると思う」（89.2%）、「セ）自分は、今、幸せだと感じる」（88.4%）と続いています。

一方で、『あてはまらない』（「あてはまらない」と「どちらかといえば、あてはまらない」の合計）の割合は、「ツ）自分は孤独であると感じることがある」が77.1%と最も多く、次いで「ソ）自分は役に立たないと強く感じる」（71.8%）、「チ）自分は取り残されていると感じることがある」（77.1%）と続いています。

《年齢別》自己認識について

		(%)				
		あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	無回答
ア) 自分には自分らしさというものがあると思う	15歳～19歳	49.4	42.3	6.8	1.5	0.0
	20歳～23歳	43.0	41.8	11.1	3.6	0.4
	24歳～25歳	42.5	47.2	7.3	2.6	0.5
イ) 自分の欲しいものをがまんすることが苦手だ	15歳～19歳	14.9	29.6	38.7	16.7	0.1
	20歳～23歳	17.1	36.0	34.5	12.0	0.4
	24歳～25歳	21.2	32.1	30.6	15.5	0.5
ウ) 今の自分を変えたいと思う	15歳～19歳	32.9	31.5	24.3	11.1	0.3
	20歳～23歳	28.5	35.5	24.6	10.9	0.4
	24歳～25歳	31.1	31.1	23.3	14.0	0.5
エ) 将来よりも今の生活を楽しみたい	15歳～19歳	20.3	42.4	31.2	6.1	0.0
	20歳～23歳	22.3	40.7	30.0	6.9	0.2
	24歳～25歳	26.9	49.7	19.7	3.1	0.5
オ) 努力すれば希望する職業に就くことができる	15歳～19歳	41.4	42.9	11.8	3.6	0.3
	20歳～23歳	32.1	40.9	18.2	8.4	0.4
	24歳～25歳	21.2	49.7	17.1	11.4	0.5
カ) 自分の将来は運やチャンスによって決まると思う	15歳～19歳	17.8	41.8	30.2	10.2	0.0
	20歳～23歳	21.2	41.5	27.6	9.2	0.4
	24歳～25歳	22.8	41.5	28.0	6.7	1.0
キ) 人生で起こることは、結局は自分に原因があると思う	15歳～19歳	32.5	45.6	17.7	4.2	0.0
	20歳～23歳	32.1	47.1	16.7	3.9	0.2
	24歳～25歳	30.1	50.8	12.4	6.2	0.5
ク) 他人に迷惑がかからない限り、どんな考えや行動をとろうが、自分の自由だと思う	15歳～19歳	26.0	28.4	24.8	20.6	0.1
	20歳～23歳	20.3	30.8	27.4	21.2	0.2
	24歳～25歳	24.4	30.1	26.4	18.7	0.5
ケ) 今の自分が好きだ	15歳～19歳	24.5	47.0	21.4	7.0	0.1
	20歳～23歳	20.6	44.5	22.7	12.0	0.2
	24歳～25歳	24.4	40.9	21.8	12.4	0.5
コ) 自分らしさを強調するより、他人と同じことをしていると安心だ	15歳～19歳	12.6	47.0	30.1	10.2	0.1
	20歳～23歳	14.1	44.1	31.0	10.5	0.2
	24歳～25歳	11.4	46.6	30.6	10.4	1.0
サ) 自分の親（保護者）から愛されていると思う	15歳～19歳	64.8	31.6	2.3	1.0	0.3
	20歳～23歳	65.7	27.8	2.8	3.2	0.4
	24歳～25歳	62.2	32.1	3.1	2.1	0.5
シ) うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む	15歳～19歳	25.6	44.6	25.4	4.3	0.1
	20歳～23歳	19.7	47.3	26.1	6.6	0.2
	24歳～25歳	21.2	43.5	29.0	5.7	0.5
ス) 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる	15歳～19歳	24.1	39.7	27.6	8.4	0.1
	20歳～23歳	20.8	36.8	32.3	9.9	0.2
	24歳～25歳	23.8	30.1	31.1	15.0	0.0
セ) 自分は、今、幸せだと感じる	15歳～19歳	46.4	44.7	6.5	2.3	0.1
	20歳～23歳	34.3	51.2	10.9	3.4	0.2
	24歳～25歳	37.3	47.7	11.4	3.6	0.0
ソ) 自分は役に立たないと強く感じる	15歳～19歳	7.0	18.7	41.0	33.1	0.1
	20歳～23歳	10.5	19.1	43.7	26.3	0.4
	24歳～25歳	8.8	24.4	38.9	27.5	0.5
タ) 自分には人とのつきあいが無いと感じることがある	15歳～19歳	7.0	19.7	31.7	41.4	0.1
	20歳～23歳	11.1	24.8	34.0	29.8	0.2
	24歳～25歳	13.5	24.4	29.0	32.6	0.5
チ) 自分は取り残されていると感じることがある	15歳～19歳	7.1	18.1	31.2	43.4	0.1
	20歳～23歳	9.4	23.6	34.3	32.5	0.2
	24歳～25歳	9.8	28.0	28.5	33.2	0.5
ツ) 自分は孤独であると感じることがある	15歳～19歳	6.6	12.4	28.5	52.2	0.3
	20歳～23歳	6.9	20.1	32.5	40.0	0.4
	24歳～25歳	11.4	15.0	28.0	45.1	0.5

※15歳～19歳(n=785) 20歳～23歳(n=467) 24歳～25歳(n=193)

自己認識について年齢別に、『あてはまる』（「あてはまる」と「どちらかといえば、あてはまる」の合計）の割合を見ると、すべての年齢層で、「サ）自分の親（保護者）から愛されていると思う」が最も多くなっています。

《男女別》自己認識について

		(%)				
		あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	無回答
ア) 自分には自分らしさというものがあると思う	男性	48.7	40.2	8.3	2.7	0.1
	女性	44.5	45.0	8.2	2.1	0.3
イ) 自分の欲しいものをがまんすることが苦手だ	男性	18.7	33.2	34.3	13.4	0.4
	女性	14.5	30.9	38.0	16.5	0.1
ウ) 今の自分を変えたいと思う	男性	31.8	29.5	25.5	12.9	0.3
	女性	30.7	35.5	23.2	10.1	0.4
エ) 将来よりも今の生活を楽しまたい	男性	23.3	40.2	28.6	7.7	0.1
	女性	20.5	45.1	29.8	4.4	0.1
オ) 努力すれば希望する職業に就くことができる	男性	35.8	41.7	15.0	7.1	0.4
	女性	35.7	44.5	14.3	5.3	0.3
カ) 自分の将来は運やチャンスによって決まると思う	男性	23.3	38.0	27.9	10.5	0.3
	女性	16.3	44.9	30.1	8.4	0.3
キ) 人生で起こることは、結局は自分に原因があると思う	男性	34.4	44.2	17.2	4.0	0.1
	女性	30.0	49.0	16.2	4.7	0.1
ク) 他人に迷惑がかからない限り、どんな考えや行動をとろうが、自分の自由だと思う	男性	27.2	27.9	24.3	20.3	0.3
	女性	21.1	30.7	27.2	20.8	0.1
ケ) 今の自分が好きだ	男性	24.9	48.8	17.4	8.8	0.1
	女性	21.7	42.4	25.8	9.9	0.3
コ) 自分らしさを強調するより、他人と同じことをしていると安心だ	男性	13.1	42.0	31.9	12.6	0.4
	女性	12.8	49.5	29.2	8.3	0.1
サ) 自分の親（保護者）から愛されていると思う	男性	62.9	32.0	2.8	1.9	0.3
	女性	66.4	29.1	2.3	1.8	0.4
シ) うまくいかかわからないことにも意欲的に取り組む	男性	26.3	43.9	24.3	5.2	0.3
	女性	20.4	46.6	27.6	5.3	0.1
ス) 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる	男性	28.8	37.7	24.5	8.9	0.1
	女性	17.9	37.4	34.1	10.5	0.1
セ) 自分は、今、幸せだと感じる	男性	39.6	46.9	9.6	3.7	0.1
	女性	42.7	47.5	7.7	2.1	0.1
ソ) 自分は役に立たないと強く感じる	男性	9.2	16.3	40.1	34.0	0.4
	女性	7.7	22.4	42.9	26.8	0.1
タ) 自分には人とのつきあいがないと感じることがある	男性	9.2	21.2	28.8	40.5	0.3
	女性	9.2	22.7	35.0	32.9	0.1
チ) 自分は取り残されていると感じることがある	男性	9.1	19.4	29.7	41.5	0.3
	女性	7.5	22.7	33.7	35.9	0.1
ツ) 自分は孤独であると感じることがある	男性	8.8	13.9	26.6	50.4	0.3
	女性	6.1	16.3	32.6	44.6	0.4

※男性(n=674) 女性(n=771)

自己認識について男女別に、『あてはまる』（「あてはまる」と「どちらかといえば、あてはまる」の合計）の割合を見ると、男女ともに、「サ）自分の親（保護者）から愛されていると思う」が最も多くなっています。

《生活状況別》自己認識について

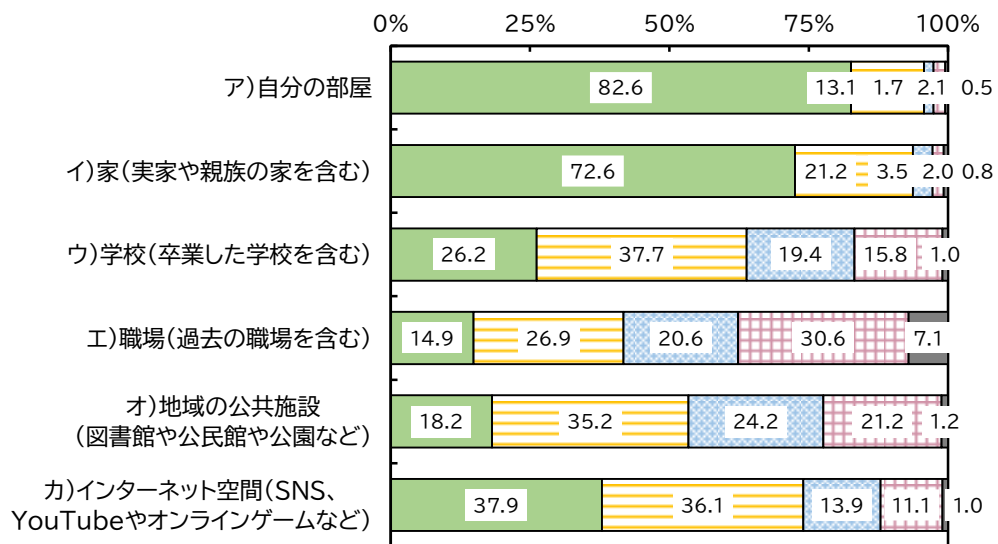
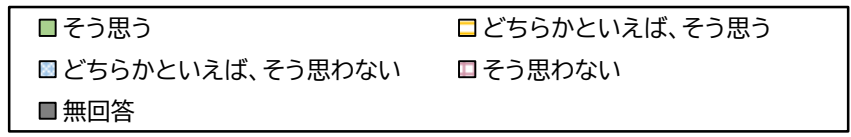
	(%)								
	ア) 自分には自分らしさというものがあると思う	イ) 自分の欲しいものをがまんすることが苦手だ	ウ) 今の自分を変えたいと思う	エ) 将来よりも今の生活を楽しみたい	オ) 努力すれば希望する職業につくことができる	カ) 自分の将来は運やチャンスによって決まると思う	キ) 人生で起こることは、結局は自分に原因があると思う	ク) 他人に迷惑がかからない限り、どんな考えや行動をとろうが自分の自由だと思う	ケ) 今の自分が好きだ
大変ゆとりがある(n=120)	96.7	45.0	68.3	73.3	88.3	65.0	77.5	55.8	83.4
ゆとりがある(n=215)	91.1	47.4	64.7	60.5	86.0	58.6	77.7	60.0	73.0
ふつう(n=846)	89.6	47.9	62.0	65.0	78.5	59.2	79.5	52.0	70.2
苦しい(n=179)	84.9	51.4	67.0	64.8	75.5	67.6	78.3	52.0	59.8
大変苦しい(n=61)	81.9	59.0	70.4	60.7	52.4	63.9	80.3	46.0	36.1
答えたくない(n=21)	66.7	42.8	61.9	52.4	71.4	85.7	71.4	57.2	42.9
	コ) 自分らしさを強調するより、他人と同じことをしていると安心だ	サ) 自分の親(保護者)から愛されていると思う	シ) うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む	ス) 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる	セ) 自分は、今、幸せだと感じる	ソ) 自分は役に立たないと強く感じる	タ) 自分には人とのつきあいがないと感じることもある	チ) 自分は取り残されていると感じることがある	ツ) 自分は孤独であると感じることがある
大変ゆとりがある(n=120)	62.5	100.0	80.0	75.0	98.3	24.2	25.8	21.7	14.2
ゆとりがある(n=215)	64.2	98.6	69.3	65.2	96.3	28.3	27.0	29.7	20.9
ふつう(n=846)	58.4	96.1	68.0	59.6	90.3	25.9	32.0	27.2	19.6
苦しい(n=179)	56.9	90.5	68.7	51.4	77.1	33.0	32.9	36.8	35.2
大変苦しい(n=61)	47.6	81.9	50.8	54.1	54.1	41.0	37.7	45.9	41.0
答えたくない(n=21)	57.2	76.2	61.9	61.9	71.4	47.6	38.0	47.6	47.6

自己認識について生活状況別に、『あてはまる』（「あてはまる」と「どちらかといえば、あてはまる」の合計）の割合を見ると、生活状況が苦しいと回答している人ほど、「ソ）自分は役に立たないと強く感じる」、「チ）自分は取り残されていると感じることがある」、「ツ）自分は孤独であると感じる」などの否定的な回答割合が多く、「ア）自分には自分らしさというものがあると思う」、「ケ）今の自分が好きだ」、「セ）自分は、今、幸せだと感じる」などの肯定的な回答割合は少なくなっています。

(2) 居場所について

問 17 次の場所は、今のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、居心地の良い場所など）になっていますか。（それぞれあてはまるもの1つに○）

【n=1,445】



居場所（ほっとできる場所、居心地の良い場所など）については、『思う』（「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計）の割合は、「ア）自分の部屋」が「95.7%」と最も多く、次いで「イ）家（実家や親族の家を含む）」（93.8%）、「カ）インターネット空間（SNS、YouTube やオンラインゲームなど）」（74.0%）、「ウ）学校（卒業した学校を含む）」（63.9%）、「オ）地域の公共施設（図書館や公民館や公園など）」（53.4%）、「エ）職場（過去の職場を含む）」（41.8%）となっています。

《年齢別》居場所について

		(%)				
		思う	どちらかといえば 思う	どちらかといえば 思わない	思わない	無回答
ア) 自分の部屋	15歳～19歳	81.5	13.8	1.4	2.5	0.8
	20歳～23歳	83.9	12.8	2.1	1.1	0.0
	24歳～25歳	83.9	10.9	1.6	3.1	0.5
イ) 家（実家や親族の家を含む）	15歳～19歳	74.3	20.0	2.8	1.9	1.0
	20歳～23歳	72.4	21.8	3.9	1.9	0.0
	24歳～25歳	66.3	24.4	5.2	2.6	1.6
ウ) 学校（卒業した学校を含む）	15歳～19歳	33.0	37.8	17.2	10.8	1.1
	20歳～23歳	18.0	40.9	19.1	21.6	0.4
	24歳～25歳	18.1	29.5	29.0	21.8	1.6
エ) 職場（過去の職場を含む）	15歳～19歳	15.3	21.8	15.8	36.4	10.7
	20歳～23歳	13.7	33.2	25.3	25.1	2.8
	24歳～25歳	16.1	32.1	29.0	20.2	2.6
オ) 地域の公共施設 （図書館や公民館や公園など）	15歳～19歳	20.8	35.3	23.9	18.5	1.5
	20歳～23歳	14.3	34.9	24.2	25.9	0.6
	24歳～25歳	17.1	35.2	25.4	20.7	1.6
カ) インターネット空間 （SNS、YouTubeやオンライン ゲームなど）	15歳～19歳	36.1	36.6	15.2	11.0	1.3
	20歳～23歳	40.3	35.1	13.1	11.1	0.4
	24歳～25歳	39.4	36.8	10.9	11.4	1.6

※15歳～19歳(n=785) 20歳～23歳(n=467) 24歳～25歳(n=193)

居場所について年齢別に、『思う』（「思う」と「どちらかといえば思う」の合計）の割合を見ると、すべての年齢層で、「ア）自分の部屋」が最も多くなっています。

また、「カ）インターネット空間（SNS、YouTubeやオンラインゲームなど）」との回答はすべての年齢層で7割以上となっています。

《男女別》居場所について

		(%)				
		思う	どちらかといえば 思う	どちらかといえ ば 思わない	思わない	無回答
ア) 自分の部屋	男性	82.2	14.4	1.3	1.6	0.4
	女性	83.0	11.9	1.9	2.6	0.5
イ) 家（実家や親族の家を含む）	男性	73.7	20.5	3.0	2.1	0.7
	女性	71.6	21.8	3.9	1.9	0.8
ウ) 学校（卒業した学校を含む）	男性	27.3	39.9	17.5	14.1	1.2
	女性	25.2	35.8	21.0	17.3	0.8
エ) 職場（過去の職場を含む）	男性	16.2	27.6	18.1	30.4	7.7
	女性	13.7	26.2	22.8	30.7	6.5
オ) 地域の公共施設 （図書館や公民館や公園など）	男性	19.9	33.1	22.7	22.6	1.8
	女性	16.7	37.0	25.6	20.0	0.8
カ) インターネット空間 （SNS、YouTubeやオンライン ゲームなど）	男性	39.6	35.5	11.9	11.9	1.2
	女性	36.3	36.7	15.7	10.4	0.9

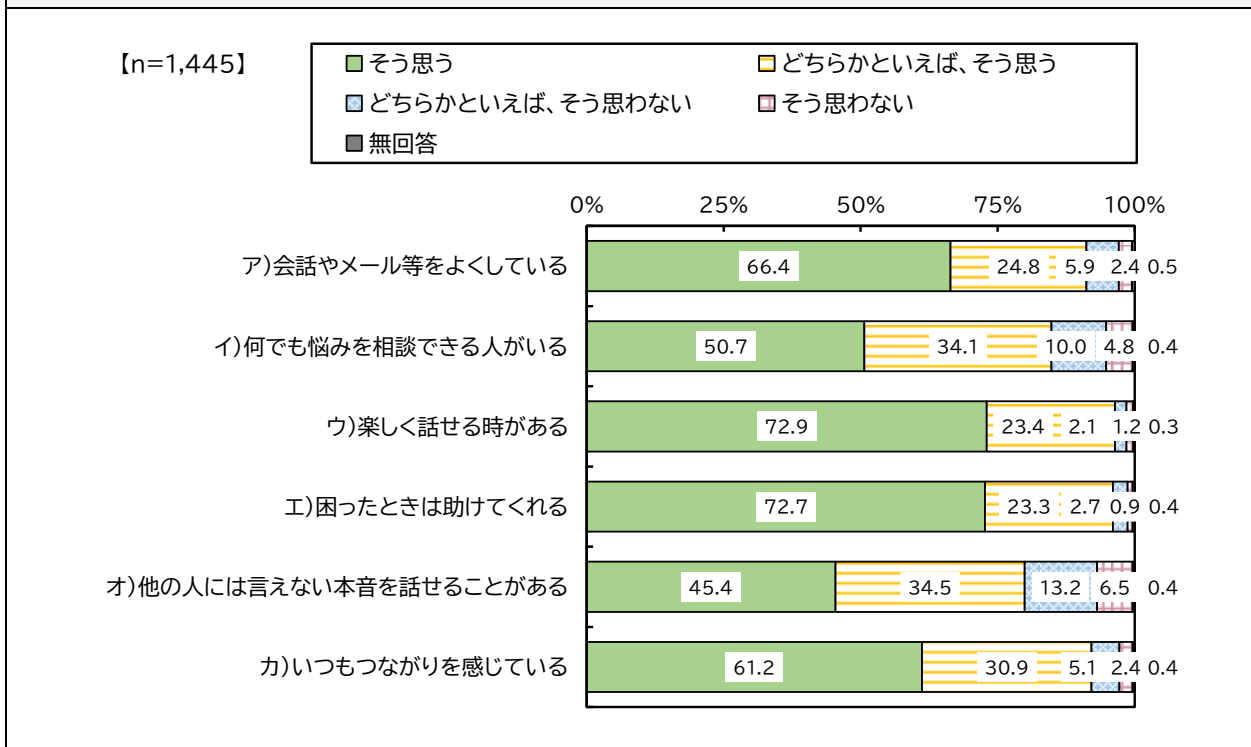
※男性(n=674) 女性(n=771)

居場所について男女別に、『思う』（「思う」と「どちらかといえば思う」の合計）の割合を見ると、すべての年齢層で、「ア）自分の部屋」が最も多くなっています。

また、「カ）インターネット空間（SNS、YouTube やオンラインゲームなど）」との回答は男女ともに7割以上となっています。

(3) 家族・親族とのかかわり

問 18 家族・親族とあなたのかかわりは、どのようなものですか。
(それぞれあてはまるもの1つに○)



家族・親族とのかかわりについては、『思う』（「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計）の割合は、「ウ）楽しく話せる時がある」が96.3%と最も多く、次いで「エ）困ったときは助けてくれる」（96.0%）、「カ）いつもつながりを感じている」（92.1%）となっています。

また、『思わない』（「そう思わない」と「どちらかといえば、そう思わない」の合計）は、「オ）他の人には言えない本音を話せることがある」が19.7%と最も多くなっています。

《年齢別》 家族・親族とのかかわり

		(%)				
		思う	どちらかといえば 思う	どちらかとい えば 思わない	思わない	無回答
ア) 会話やメール等をよくしている	15歳～19歳	68.3	23.4	5.2	2.3	0.8
	20歳～23歳	65.1	25.1	6.9	3.0	0.0
	24歳～25歳	61.7	30.1	6.2	1.6	0.5
イ) 何でも悩みを相談できる人 がいる	15歳～19歳	50.7	35.2	9.4	4.1	0.6
	20歳～23歳	49.9	33.8	10.5	5.8	0.0
	24歳～25歳	52.3	30.6	10.9	5.7	0.5
ウ) 楽しく話せる時がある	15歳～19歳	74.0	23.3	1.0	1.1	0.5
	20歳～23歳	71.7	23.1	3.9	1.3	0.0
	24歳～25歳	71.5	24.4	2.1	1.6	0.5
エ) 困ったときは助けてくれる	15歳～19歳	73.2	23.3	1.8	1.0	0.6
	20歳～23歳	72.2	23.6	3.9	0.4	0.0
	24歳～25歳	72.0	22.3	3.6	1.6	0.5
オ) 他の人には言えない本音を 話せることがある	15歳～19歳	47.6	34.5	12.0	5.2	0.6
	20歳～23歳	42.4	35.8	14.6	7.3	0.0
	24歳～25歳	43.5	31.1	15.0	9.8	0.5
カ) いつもつながりを感じている	15歳～19歳	61.4	31.1	4.3	2.4	0.8
	20歳～23歳	61.0	30.6	5.8	2.6	0.0
	24歳～25歳	60.6	30.6	6.7	2.1	0.0

※15歳～19歳(n=785) 20歳～23歳(n=467) 24歳～25歳(n=193)

家族との関わりを年齢別に、『思う』（「思う」と「どちらかといえば思う」の合計）の割合を見ると、「15歳～19歳」、「24歳～25歳」は「ウ）楽しく話せる時がある」が最も多く、「20歳～23歳」は「エ）困ったときは助けてくれる」が最も多くなっています。

また、『思わない』（「そう思わない」と「どちらかといえば、そう思わない」の合計）は、すべての年齢層で「オ）他の人には言えない本音を話せることがある」が最も多くなっています。

《男女別》 家族・親族とのかかわり

		(%)				
		思う	どちらかといえば 思う	どちらかといえ ば 思わない	思わない	無回答
ア) 会話やメール等をよくしている	男性	59.5	30.1	6.8	3.1	0.4
	女性	72.4	20.2	5.1	1.8	0.5
イ) 何でも悩みを相談できる人がいる	男性	44.7	40.1	9.5	5.5	0.3
	女性	55.9	28.9	10.4	4.3	0.5
ウ) 楽しく話せる時がある	男性	66.6	28.2	2.8	2.1	0.3
	女性	78.5	19.2	1.4	0.5	0.4
エ) 困ったときは助けてくれる	男性	69.9	26.6	2.5	0.7	0.3
	女性	75.2	20.4	2.9	1.0	0.5
オ) 他の人には言えない本音を話せることがある	男性	41.4	36.9	13.4	7.9	0.4
	女性	48.9	32.3	13.1	5.3	0.4
カ) いつもつながりを感じている	男性	57.3	33.7	5.2	3.6	0.3
	女性	64.6	28.4	5.1	1.4	0.5

※男性(n=674) 女性(n=771)

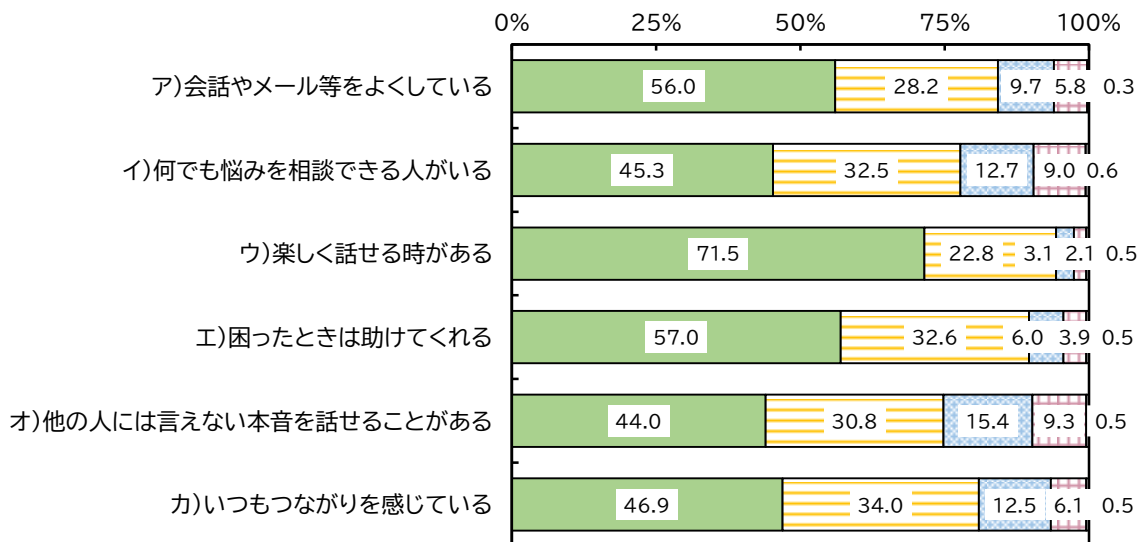
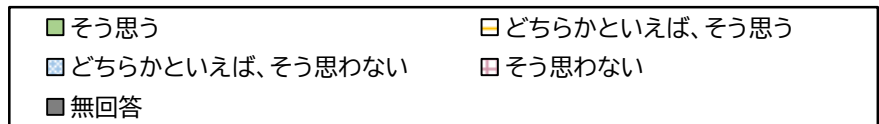
家族との関わりを男女別に、『思う』（「思う」と「どちらかといえば思う」の合計）の割合を見ると、「男性は」、「エ）困ったときは助けてくれる」、「女性」は「ウ）楽しく話せる時がある」が最も多くなっています。

また、『思わない』（「そう思わない」と「どちらかといえば、そう思わない」の合計）は、男女ともに「オ）他の人には言えない本音を話せることがある」が最も多くなっています。

(4) 家族・親族以外の人とのかかわり

問 19 家族・親族以外の人（学校で出会った友人、仕事関係の人、地域の人、ママ友など）と、あなたの現在のかかわりは、どのようなものですか。
（それぞれあてはまるもの1つに○）

【n=1,445】



家族・親族以外とのかかわりについては、『思う』（「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計）の割合は、「ウ）楽しく話せる時がある」が 94.3%と最も多く、次いで「エ）困ったときは助けてくれる」（89.6%）、「ア）会話やメール等をよくしている」（84.2%）となっています。

また、『思わない』（「そう思わない」と「どちらかといえば、そう思わない」の合計）は、「オ）他の人には言えない本音を話せることがある」が 24.7%と最も多くなっています。

《年齢別》 家族・親族以外の人とのかかわり

		(%)				
		思う	どちらかといえば 思う	どちらかといえば 思わない	思わない	無回答
ア) 会話やメール等をよくしている	15歳～19歳	68.3	23.4	5.2	2.3	0.8
	20歳～23歳	65.1	25.1	6.9	3.0	0.0
	24歳～25歳	61.7	30.1	6.2	1.6	0.5
イ) 何でも悩みを相談できる人がいる	15歳～19歳	50.7	35.2	9.4	4.1	0.6
	20歳～23歳	49.9	33.8	10.5	5.8	0.0
	24歳～25歳	52.3	30.6	10.9	5.7	0.5
ウ) 楽しく話せる時がある	15歳～19歳	74.0	23.3	1.0	1.1	0.5
	20歳～23歳	71.7	23.1	3.9	1.3	0.0
	24歳～25歳	71.5	24.4	2.1	1.6	0.5
エ) 困ったときは助けてくれる	15歳～19歳	73.2	23.3	1.8	1.0	0.6
	20歳～23歳	72.2	23.6	3.9	0.4	0.0
	24歳～25歳	72.0	22.3	3.6	1.6	0.5
オ) 他の人には言えない本音を話せることがある	15歳～19歳	47.6	34.5	12.0	5.2	0.6
	20歳～23歳	42.4	35.8	14.6	7.3	0.0
	24歳～25歳	43.5	31.1	15.0	9.8	0.5
カ) いつもつながりを感じている	15歳～19歳	61.4	31.1	4.3	2.4	0.8
	20歳～23歳	61.0	30.6	5.8	2.6	0.0
	24歳～25歳	60.6	30.6	6.7	2.1	0.0

※15歳～19歳(n=785) 20歳～23歳(n=467) 24歳～25歳(n=193)

家族以外との関わりを年齢別に、『思う』（「思う」と「どちらかといえば思う」の合計）の割合を見ると、すべての年齢層で「ウ）楽しく話せる時がある」が最も多くなっています。

また、『思わない』（「そう思わない」と「どちらかといえば、そう思わない」の合計）は、すべての年齢層で「オ）他の人には言えない本音を話せることがある」が最も多くなっています。

《男女別》 家族・親族以外の人とのかかわり

		(%)				
		思う	どちらかといえば 思う	どちらかといえば 思わない	思わない	無回答
ア) 会話やメール等をよくしている	15歳～19歳	68.3	23.4	5.2	2.3	0.8
	20歳～23歳	65.1	25.1	6.9	3.0	0.0
	24歳～25歳	61.7	30.1	6.2	1.6	0.5
イ) 何でも悩みを相談できる人がいる	15歳～19歳	50.7	35.2	9.4	4.1	0.6
	20歳～23歳	49.9	33.8	10.5	5.8	0.0
	24歳～25歳	52.3	30.6	10.9	5.7	0.5
ウ) 楽しく話せる時がある	15歳～19歳	74.0	23.3	1.0	1.1	0.5
	20歳～23歳	71.7	23.1	3.9	1.3	0.0
	24歳～25歳	71.5	24.4	2.1	1.6	0.5
エ) 困ったときは助けてくれる	15歳～19歳	73.2	23.3	1.8	1.0	0.6
	20歳～23歳	72.2	23.6	3.9	0.4	0.0
	24歳～25歳	72.0	22.3	3.6	1.6	0.5
オ) 他の人には言えない本音を話せることがある	15歳～19歳	47.6	34.5	12.0	5.2	0.6
	20歳～23歳	42.4	35.8	14.6	7.3	0.0
	24歳～25歳	43.5	31.1	15.0	9.8	0.5
カ) いつもつながりを感じている	15歳～19歳	61.4	31.1	4.3	2.4	0.8
	20歳～23歳	61.0	30.6	5.8	2.6	0.0
	24歳～25歳	60.6	30.6	6.7	2.1	0.0

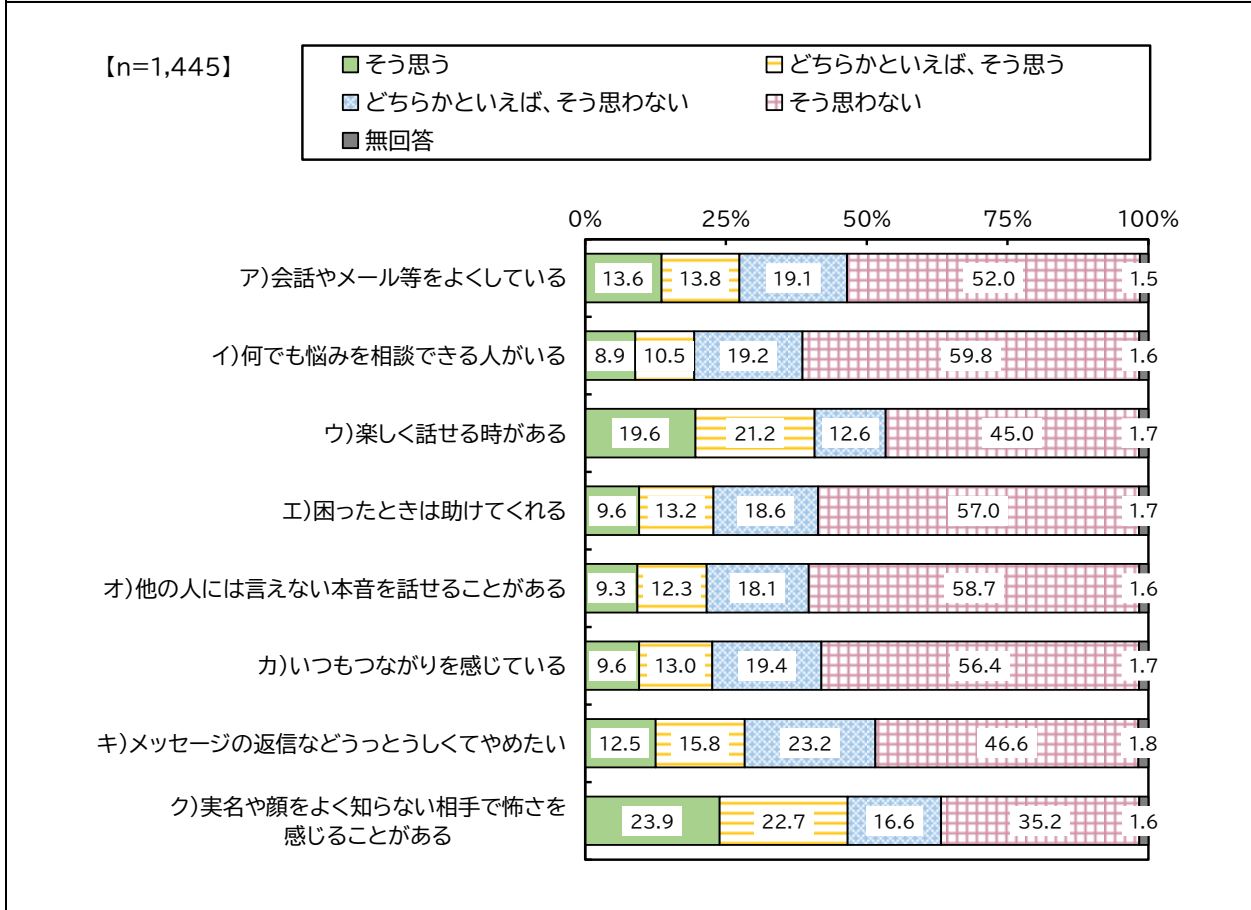
※15歳～19歳(n=785) 20歳～23歳(n=467) 24歳～25歳(n=193)

家族以外との関わりを男女別に、『思う』（「思う」と「どちらかといえば思う」の合計）の割合を見ると、男女ともに「ウ）楽しく話せる時がある」が最も多くなっています。

また、『思わない』（「そう思わない」と「どちらかといえば、そう思わない」の合計）は、男女ともに「オ）他の人には言えない本音を話せることがある」が最も多くなっています。

(5) インターネット上における人やグループとのかかわり

問 20 インターネット上における人やグループ（実際には会ったことがなかったり、または、何回か会ったことはあっても、基本的にはインターネット中心の付き合いの人やグループ）と、あなたのかかわりは、どのようなものですか。
（それぞれあてはまるもの1つに○）



インターネット上における人やグループとのかかわりについては、『思う』（「思う」と「どちらかといえば、思う」の合計）の割合は、「ク）実名や顔をよく知らない相手で怖さを感じることもある」が46.6%と最も多く、次いで「ウ）楽しく話せる時がある」（40.8%）、「キ）メッセージの返信などうっとうしくてやめたい」（28.3%）となっています。

また、『思わない』（「思わない」と「どちらかといえば、思わない」の合計）は、「イ）何でも悩みを相談できる人がいる」が79.0%と最も多くなっています。

《年齢別》 インターネット上における人やグループとのかかわり

		(%)				
		思う	どちらかといえば 思う	どちらかといえば 思わない	思わない	無回答
ア) 会話やメール等をよくしている	15歳～19歳	13.0	15.2	19.4	50.8	1.7
	20歳～23歳	15.4	13.3	18.6	51.8	0.9
	24歳～25歳	11.9	9.3	19.2	57.0	2.6
イ) 何でも悩みを相談できる人がいる	15歳～19歳	8.9	11.3	19.0	59.0	1.8
	20歳～23歳	9.9	10.7	19.1	59.5	0.9
	24歳～25歳	6.7	6.7	20.2	63.7	2.6
ウ) 楽しく話せる時がある	15歳～19歳	19.2	21.3	12.6	45.1	1.8
	20歳～23歳	21.4	21.4	12.6	43.5	1.1
	24歳～25歳	16.6	20.2	12.4	48.2	2.6
エ) 困ったときは助けてくれる	15歳～19歳	9.9	13.0	19.0	56.3	1.8
	20歳～23歳	10.1	14.8	17.8	56.5	0.9
	24歳～25歳	6.7	10.4	19.2	60.6	3.1
オ) 他の人には言えない本音を話せることがある	15歳～19歳	9.2	13.1	17.7	58.2	1.8
	20歳～23歳	10.5	12.0	18.4	58.2	0.9
	24歳～25歳	7.3	9.8	18.7	61.7	2.6
カ) いつもつながりを感じている	15歳～19歳	9.3	11.8	20.1	56.8	1.9
	20歳～23歳	10.3	15.6	16.9	56.3	0.9
	24歳～25歳	8.8	11.4	22.3	54.9	2.6
キ) メッセージの返信などうっとうしくてやめたい	15歳～19歳	13.0	14.6	23.2	47.3	1.9
	20歳～23歳	12.6	16.3	22.5	47.3	1.3
	24歳～25歳	10.4	19.7	24.9	42.5	2.6
ク) 実名や顔をよく知らない相手で怖さを感じることもある	15歳～19歳	24.1	21.7	15.9	36.4	1.9
	20歳～23歳	23.1	24.8	17.8	33.4	0.9
	24歳～25歳	24.9	21.8	16.6	34.7	2.1

※15歳～19歳(n=785) 20歳～23歳(n=467) 24歳～25歳(n=193)

インターネット上における人やグループとのかかわりを年齢別に、『思う』（「思う」と「どちらかといえば思う」の合計）の割合を見ると、すべての年齢層で「ク）実名や顔をよく知らない相手で怖さを感じることもある」が最も多くなっています。

また、『思わない』（「そう思わない」と「どちらかといえば、そう思わない」の合計）は、すべての年齢層で「イ）何でも悩みを相談できる人がいる」が最も多くなっています。

《男女別》インターネット上における人やグループとのかかわり

		(%)				
		思う	どちらかといえば	どちらかといえ	思わない	無回答
ア) 会話やメール等をよくしている	男性	16.2	13.9	19.3	49.6	1.0
	女性	11.4	13.6	18.9	54.1	1.9
イ) 何でも悩みを相談できる人がいる	男性	10.2	11.6	19.7	57.4	1.0
	女性	7.8	9.6	18.7	61.9	2.1
ウ) 楽しく話せる時がある	男性	20.9	22.0	13.2	42.7	1.2
	女性	18.4	20.5	12.1	47.0	2.1
エ) 困ったときは助けてくれる	男性	11.4	13.5	18.0	55.9	1.2
	女性	7.9	13.0	19.2	57.8	2.1
オ) 他の人には言えない本音を話せることがある	男性	10.7	12.5	18.4	57.4	1.0
	女性	8.2	12.2	17.8	59.8	2.1
カ) いつもつながりを感じている	男性	11.7	14.4	18.1	54.7	1.0
	女性	7.7	11.8	20.5	57.8	2.2
キ) メッセージの返信などうっとうしくてやめたい	男性	11.9	14.2	25.5	46.9	1.5
	女性	13.1	17.3	21.1	46.4	2.1
ク) 実名や顔をよく知らない相手に怖さを感じることもある	男性	19.1	22.4	19.3	38.0	1.2
	女性	28.0	23.0	14.3	32.8	1.9

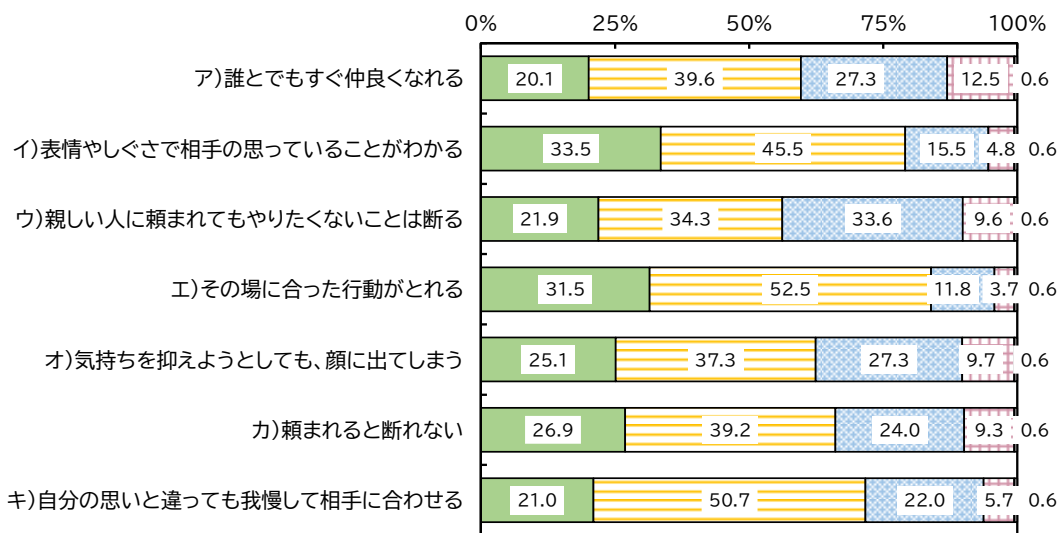
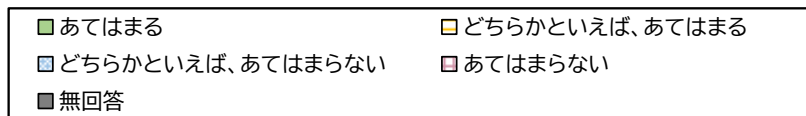
※男性(n=674) 女性(n=771)

インターネット上における人やグループとのかかわりを男女別に、『思う』（「思う」と「どちらかといえば思う」の合計）の割合を見ると、「男性」は「実ウ）楽しく話せる時がある」、「女性」は「ク）実名や顔をよく知らない相手に怖さを感じることもある」が最も多くなっています。また、『思わない』（「そう思わない」と「どちらかといえば、そう思わない」の合計）は、男女ともに「イ）何でも悩みを相談できる人がいる」が最も多くなっています。

(6) 他者との関わりについて

問 21 あなたは、他の人とかかわる時、次のようなことがどのくらいあてはまりますか。
(それぞれあてはまるもの1つに○)

[n=1,445]



他者とのかかわりについては、『あてはまる』（「あてはまる」と「どちらかといえば、あてはまる」の合計）の割合は、「エ）その場に合った行動がとれる」が84.0%と最も多く、次いで「イ）表情やしぐさで相手の思っていることがわかる」（79.0%）、「キ）自分の思いと違ってても我慢して相手に合わせる」（71.7%）となっています。

また、『あてはまらない』（「あてはまらない」と「どちらかといえば、あてはまらない」の合計）は、「ウ）親しい人に頼まれてもやりたくないことは断る」が43.2%と最も多くなっています。

《年齢別》他者との関わりについて

		(%)				
		あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	無回答
ア) 誰とでもすぐ仲良くなれる	15歳～19歳	23.3	39.4	25.6	11.1	0.6
	20歳～23歳	15.0	42.8	28.1	13.9	0.2
	24歳～25歳	19.2	32.6	32.1	15.0	1.0
イ) 表情やしぐさで相手の思っていることがわかる	15歳～19歳	32.6	46.9	15.4	4.3	0.8
	20歳～23歳	32.3	46.0	16.1	5.4	0.2
	24歳～25歳	39.9	38.9	14.5	5.7	1.0
ウ) 親しい人に頼まれてもやりたくないことは断る	15歳～19歳	24.7	34.5	31.7	8.3	0.8
	20歳～23歳	18.6	35.8	34.9	10.5	0.2
	24歳～25歳	18.1	30.1	38.3	12.4	1.0
エ) その場に合った行動がとれる	15歳～19歳	34.4	50.6	11.3	2.8	0.9
	20歳～23歳	27.6	54.8	12.4	4.9	0.2
	24歳～25歳	29.0	54.4	11.9	4.1	0.5
オ) 気持ちを抑えようとしても、顔に出てしまう	15歳～19歳	26.0	37.2	27.6	8.4	0.8
	20歳～23歳	23.6	38.8	25.9	11.6	0.2
	24歳～25歳	25.4	34.2	29.0	10.4	1.0
カ) 頼まれると断れない	15歳～19歳	23.2	40.6	24.3	11.1	0.8
	20歳～23歳	30.0	37.5	24.8	7.5	0.2
	24歳～25歳	34.7	37.3	20.7	6.2	1.0
キ) 自分の思いと違っても我慢して相手に合わせる	15歳～19歳	19.7	50.7	22.9	5.9	0.8
	20歳～23歳	21.8	50.1	22.3	5.6	0.2
	24歳～25歳	23.8	51.8	17.6	5.7	1.0

※15歳～19歳(n=785) 20歳～23歳(n=467) 24歳～25歳(n=193)

他者とのかかわりを年齢別に、『あてはまる』（「あてはまる」と「どちらかといえば、あてはまる」の合計）の割合を見ると、すべての年齢層で「エ）その場に合った行動がとれる」が最も多くなっています。

その他、「ア）誰とでもすぐ仲良くなれる」、「ウ）親しい人に頼まれてもやりたくないことは断る」、「オ）気持ちを抑えようとしても、顔に出てしまう」は年齢層が低いほど『あてはまる』の割合が多く、「カ）頼まれると断れない」、「キ）自分の思いと違っても我慢して相手に合わせる」は年齢層が高いほど割合が多くなっています。

『あてはまらない』（「あてはまらない」と「どちらかといえば、あてはまらない」の合計）は、すべての年齢層で「ウ）親しい人に頼まれてもやりたくないことは断る」が最も多くなっています。

《男女別》他者との関わりについて

		(%)				
		あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	無回答
ア) 誰とでもすぐ仲良くなれる	男性	22.6	42.7	23.0	11.1	0.6
	女性	17.9	36.8	31.0	13.7	0.5
イ) 表情やしぐさで相手の思っていることがわかる	男性	28.5	46.9	17.5	6.4	0.7
	女性	37.9	44.4	13.7	3.5	0.5
ウ) 親しい人に頼まれてもやりたくないことは断る	男性	25.4	37.5	27.3	9.1	0.7
	女性	18.8	31.5	39.2	10.0	0.5
エ) その場に合った行動がとれる	男性	31.3	51.9	11.4	4.7	0.6
	女性	31.6	52.9	12.1	2.7	0.6
オ) 気持ちを抑えようとしても、顔に出てしまう	男性	23.4	36.4	28.3	11.1	0.7
	女性	26.6	38.1	26.3	8.4	0.5
カ) 頼まれると断れない	男性	23.1	37.5	28.2	10.4	0.7
	女性	30.2	40.6	20.4	8.3	0.5
キ) 自分の思いと違っても我慢して相手に合わせる	男性	19.0	48.4	24.9	7.0	0.7
	女性	22.7	52.7	19.5	4.7	0.5

※男性(n=674) 女性(n=771)

他者とのかかわりを男女別に、『あてはまる』（「あてはまる」と「どちらかといえば、あてはまる」の合計）の割合を見ると、男女ともに「エ）その場に合った行動がとれる」が最も多くなっています。

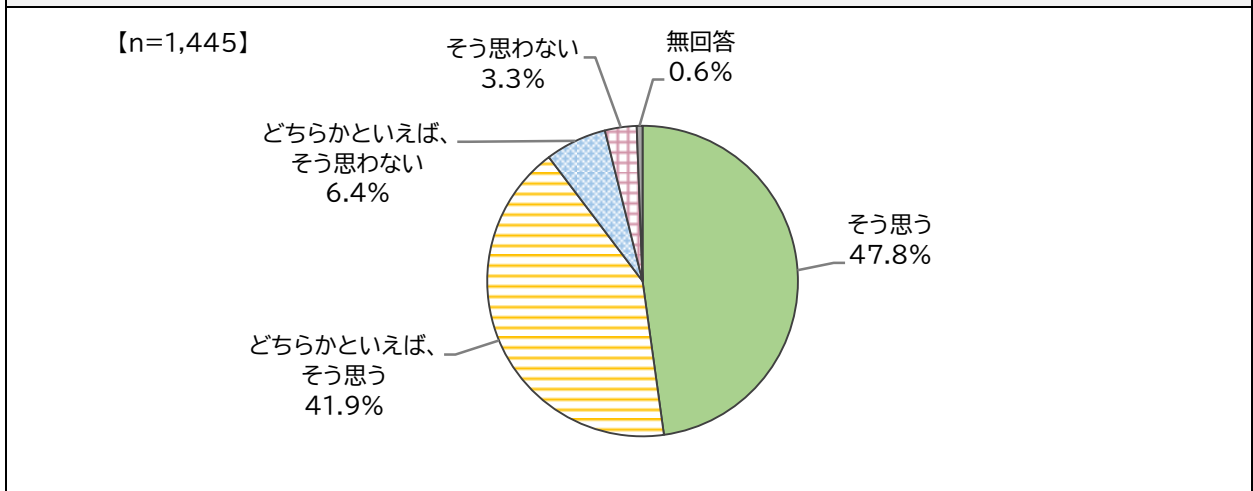
「ア）誰とでもすぐ仲良くなれる」、「ウ）親しい人に頼まれてもやりたくないことは断る」は男性の割合が多く、女性よりも10%以上多くなっています。

その他の項目は女性が男性を上回っており、「カ）頼まれると断れない」は10.2%上回っています。

また、『あてはまらない』（「あてはまらない」と「どちらかといえば、あてはまらない」の合計）は、「男性」が「オ）気持ちを抑えようとしても、顔に出てしまう」、「女性」が「ウ）親しい人に頼まれてもやりたくないことは断る」が最も多くなっています。

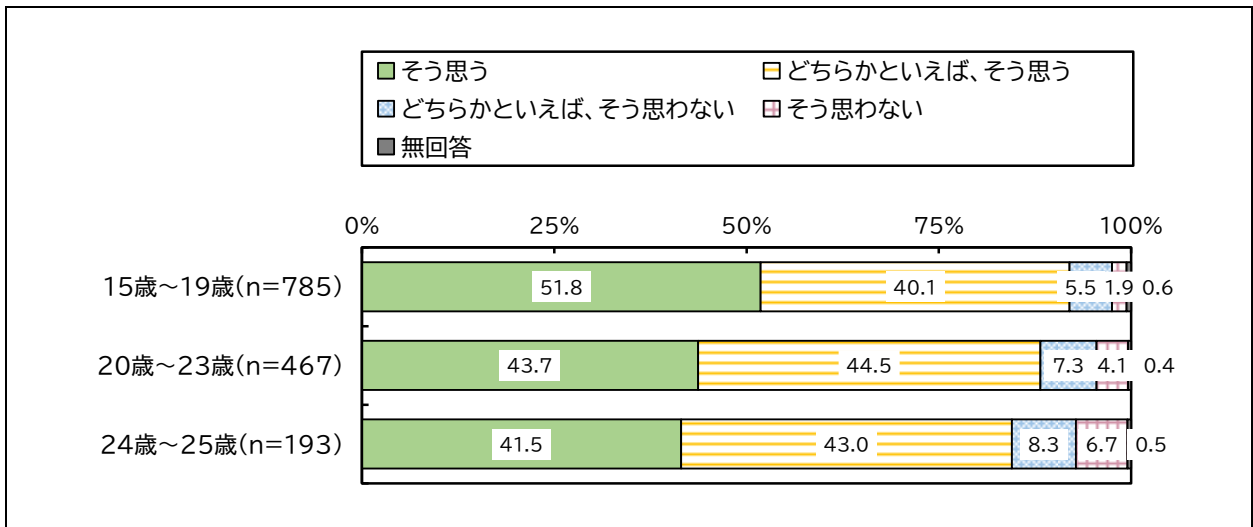
(7) 「社会のために役立つことをしたい」と思うか

問 22 あなたは、「社会のために役立つことをしたい」と思いますか。(1つに○)



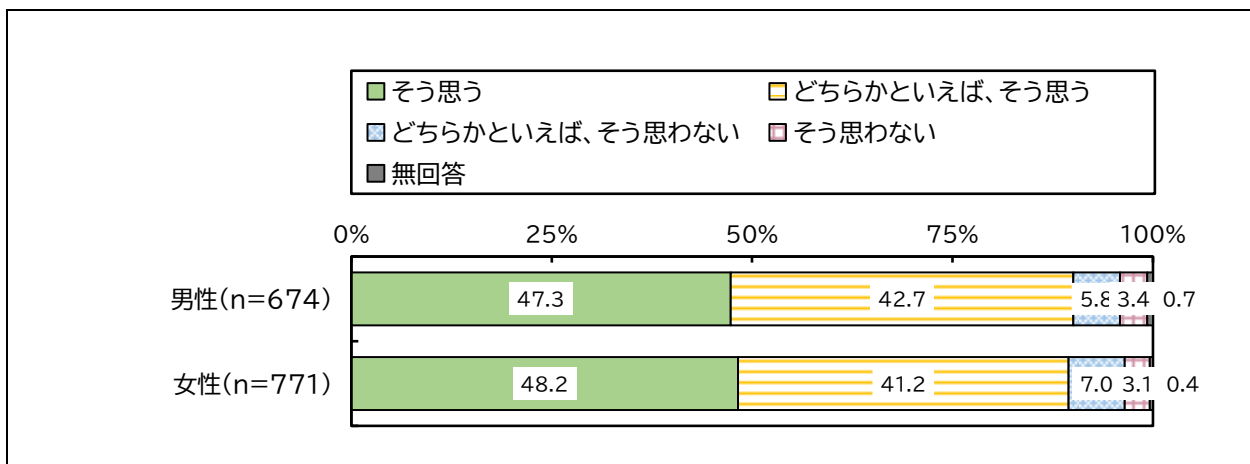
「社会のために役立つことをしたい」と思うかは、「そう思う」が47.8%と最も多く、「どちらかといえば、そう思う」(41.9%)と合わせた8割以上が『そう思う』と回答しています。一方で、「どちらかといえば、そう思わない」(6.4%)と「そう思わない」(3.3%)を合わせた約1割は『そう思わない』と回答しています。

《年齢別》 「社会のために役立つことをしたい」と思うか



「社会のために役立つことをしたい」と思うかについて、『そう思う』(「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計)の割合を年齢別にみると、「15歳～19歳」が91.9%、「20歳～23歳」が88.2%、「24歳～25歳」が84.5%となっています。

《男女別》 「社会のために役立つことをしたい」と思うか



「社会のために役立つことをしたい」と思うかについて、『そう思う』（「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計）の割合を男女別にみると、「男性」が90.0%、「女性」が89.4%となっています。

《家族・親族とのかかわり別》 「社会のために役立つことをしたい」と思うか

	そう思う	どちらかといえば、 そう思う	どちらかといえば、 そう思わない	そう思わない	無回答
ア) 会話やメール等をよくしている(n=1,318)	49.0	41.9	6.1	2.7	0.4
イ) 何でも悩みを相談できる人がいる(n=1,225)	49.9	41.8	5.5	2.4	0.4
ウ) 楽しく話せる時がある(n=1,392)	48.5	41.9	6.4	2.8	0.4
エ) 困ったときは助けてくれる(n=1,387)	48.4	42.1	6.3	2.6	0.5
オ) 他の人には言えない本音を話せることがある(n=1,154)	50.1	42.4	5.3	1.7	0.5
カ) いつもつながりを感じている(n=1,330)	48.8	42.5	6.0	2.4	0.3

※問18 家族・親族とのかかわりについて「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の回答者 (%)

「社会のために役立つことをしたい」と思うかを、家族・親族とのかかわり別にみると、『そう思う』（「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計）の割合は、すべてのかかわりで9割以上となっており、「オ）他の人には言えない本音を話せることがある」が92.5%と最も多くなっています。

《家族・親族以外の人とのかかわり別》

「社会のために役立つことをしたい」と思うか

	(%)				
	そう思う	どちらかといえば、 そう思う	どちらかといえば、 そう思わない	そう思わない	無回答
ア) 会話やメール等をよくしている(n=1,216)	50.0	41.1	5.8	2.5	0.6
イ) 何でも悩みを相談できる人がいる(n=1,124)	50.5	41.8	5.5	1.8	0.4
ウ) 楽しく話せる時がある(n=1,1362)	48.5	42.1	6.2	2.8	0.4
エ) 困ったときは助けてくれる(n=1,295)	49.4	41.6	6.0	2.5	0.5
オ) 他の人には言えない本音を話せることがある (n=1,081)	50.0	41.4	6.2	2.1	0.4
カ) いつもつながりを感じている(n=1,169)	51.2	41.0	5.5	1.9	0.4

※問 19 家族・親族以外の人とのかかわりについて「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の回答者

「社会のために役立つことをしたい」と思うかを、家族・親族以外の人とのかかわり別にみると、『そう思う』（「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計）の割合は、すべてのかかわりで9割以上となっており、「イ）何でも悩みを相談できる人がいる」が92.3%と最も多くなっています。

《インターネット上における人やグループとのかかわり別》
「社会のために役立つことをしたい」と思うか

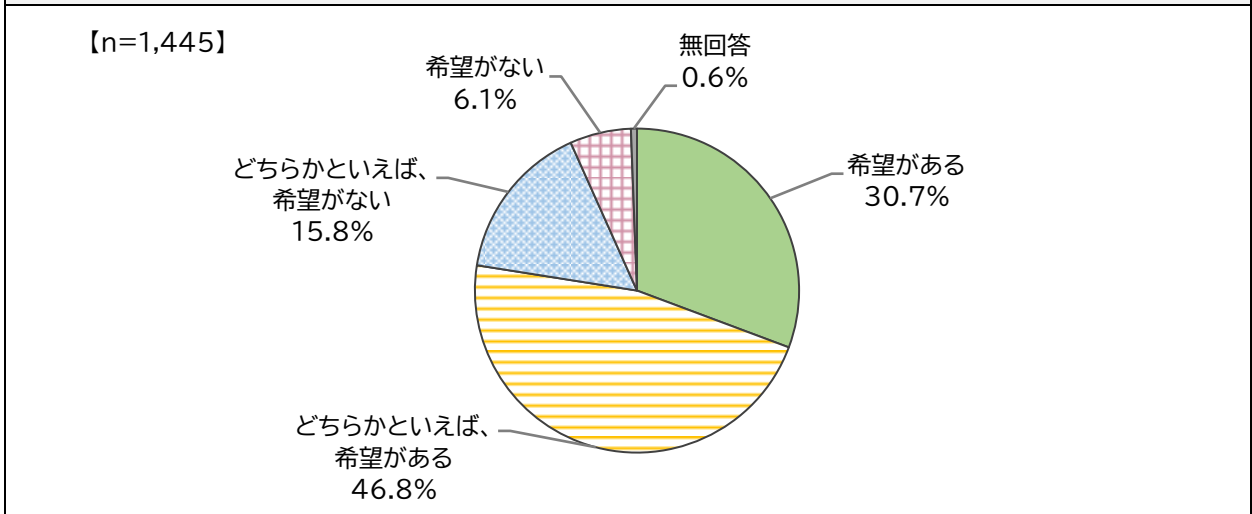
	(%)				
	そう思う	どちらかといえば、 そう思う	どちらかといえば、 そう思わない	そう思わない	無回答
ア) 会話やメール等をよくしている (n=396)	48.5	39.9	6.6	4.3	0.8
イ) 何でも悩みを相談できる人がいる (n=281)	49.5	40.2	6.8	3.2	0.4
ウ) 楽しく話せる時がある (n=589)	47.2	43.1	6.1	3.2	0.3
エ) 困ったときは助けてくれる (n=329)	52.3	38.0	5.8	3.3	0.6
オ) 他の人には言えない本音を話せることがある (n=313)	48.6	41.2	5.8	4.2	0.3
カ) いつもつながりを感じている (n=326)	50.0	38.7	6.1	4.9	0.3
キ) メッセージの返信などうっとうしくてやめたい (n=410)	48.0	41.2	6.3	3.9	0.5
ク) 実名や顔をよく知らない相手に怖さを感じることもある (n=673)	50.1	40.6	6.2	2.7	0.4

※問19 家族・親族以外の人とのかかわりについて「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の回答者

「社会のために役立つことをしたい」と思うかをインターネット上の人やグループとのかかわり別にみると、『そう思う』（「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計）の割合は、「イ）何でも悩みを相談できる人がいる」、「ウ）楽しく話せる時がある」、「ク）実名や顔をよく知らない相手に怖さを感じることもある」が9割以上となっています。

(8) 将来について明るい希望を持っているか

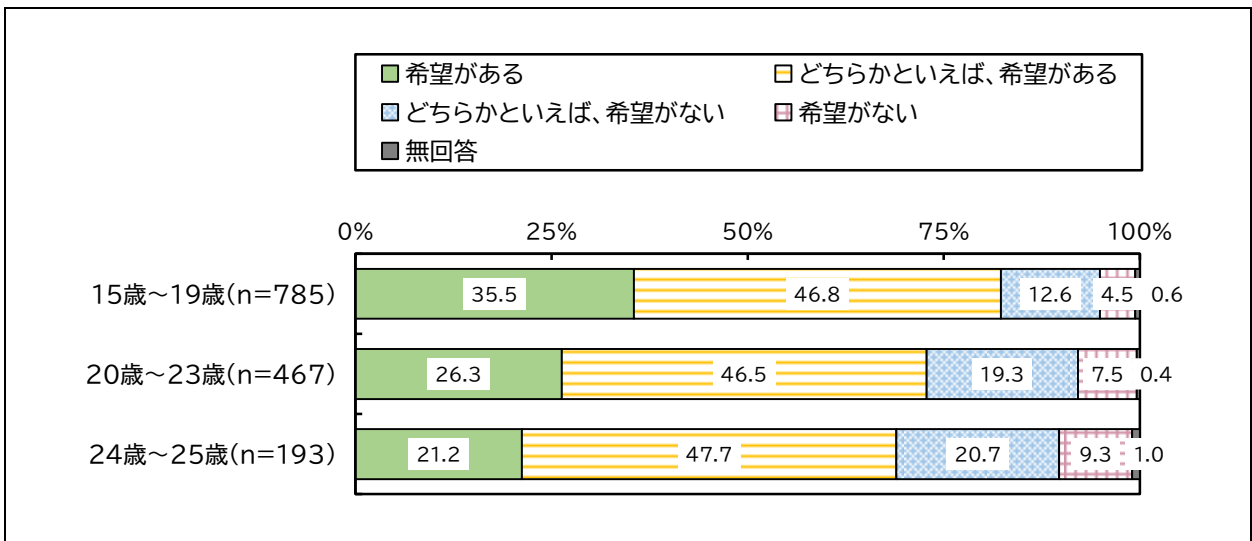
問 23 あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか。(1つに○)



自分の将来について明るい希望を持っているかは、「どちらかといえば、希望がある」が46.8%と最も多く、「希望がある」(30.7%)と合わせた7割以上が『希望がある』と回答しています。

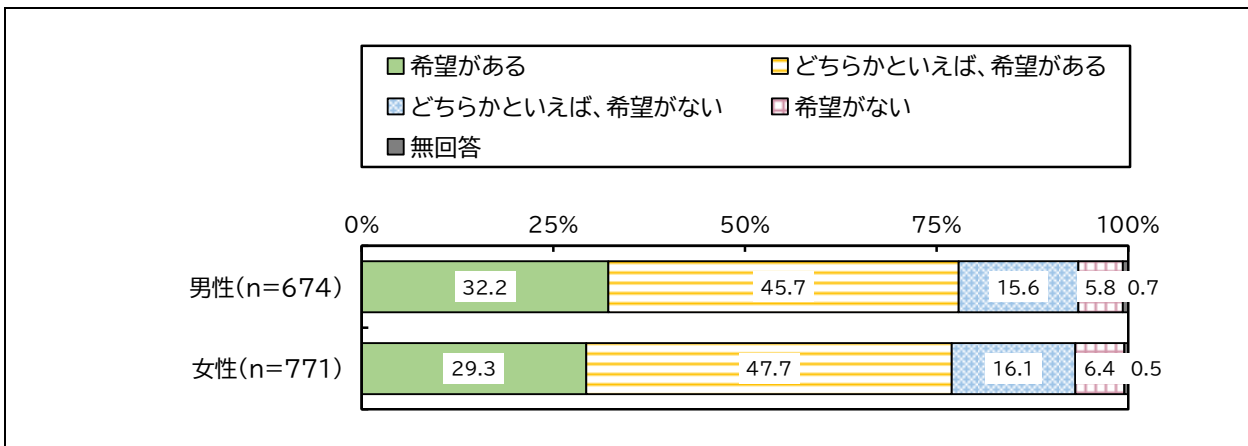
一方で、「どちらかといえば、希望がない」(15.8%)と「希望がない」(6.1%)を合わせた2割以上は『希望がない』と回答しています。

《年齢別》 将来について明るい希望を持っているか



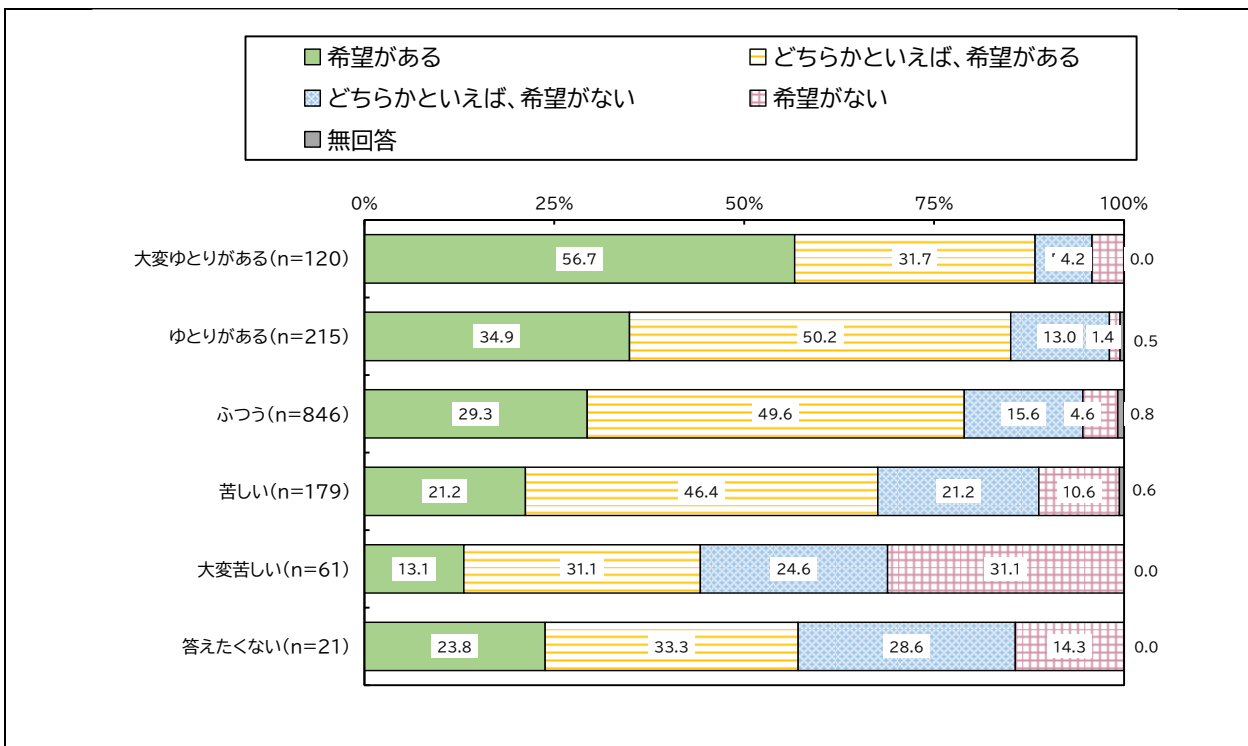
自分の将来について明るい希望を持っているかについて、『希望がある』(「希望がある」と「どちらかといえば、希望がある」の合計)の割合を年齢別にみると、「15歳～19歳」が82.3%、「20歳～23歳」が72.8%、「24歳～25歳」が68.9%となっています。

《男女別》 将来について明るい希望を持っているか



自分の将来について明るい希望を持っているかについて、『希望がある』（「希望がある」と「どちらかといえば、希望がある」の合計）の割合を男女別にみると、「男性」が77.9%、「女性」が77.0%となっています。

《生活状況別》 将来について明るい希望を持っているか



自分の将来について明るい希望を持っているかについて、『希望がある』（「希望がある」と「どちらかといえば、希望がある」の合計）の割合を生活状況別にみると、「大変ゆとりがある」が88.4%と最も多く、次いで「ゆとりがある」（85.1%）、「ふつう」（78.9%）、「苦しい」（67.6%）、「大変苦しい」（44.2%）となっており、生活が苦しい状況では、将来に明るい希望を持っている割合は少なくなっています。

《就学・就労状況別》将来について明るい希望を持っているか

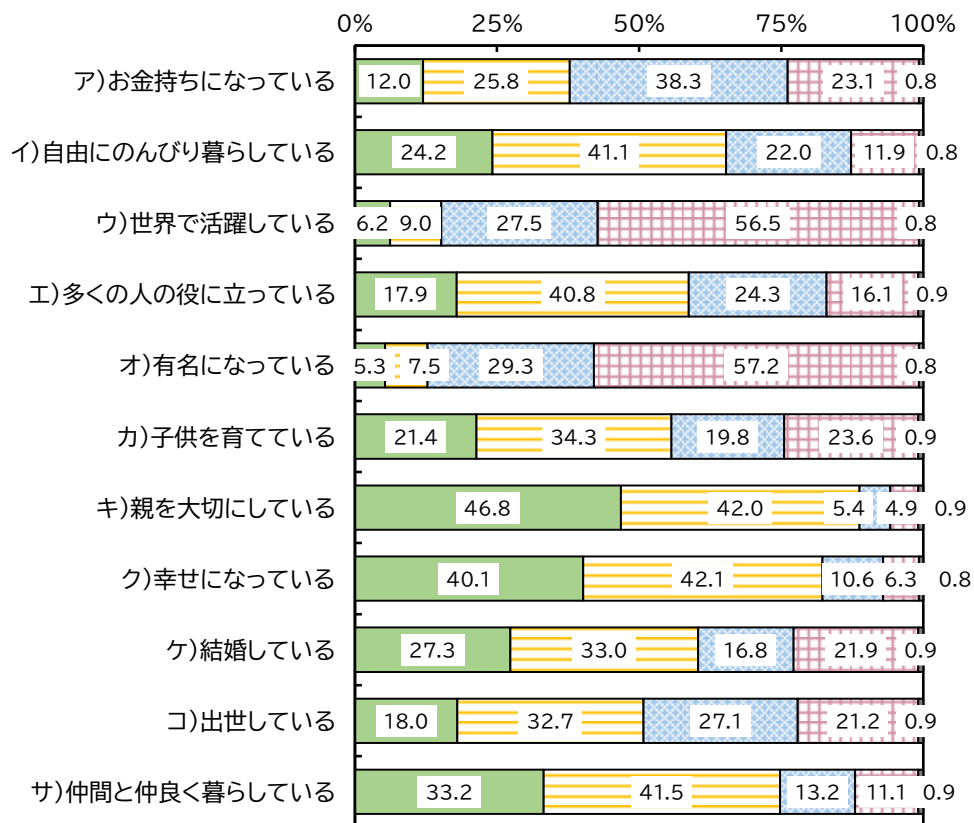
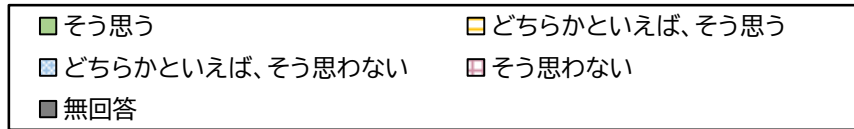
	(%)				
	希望がある	どちらかといえば、希望がある	どちらかといえば、希望がない	希望がない	無回答
高等学校(n=574)	39.9	44.4	11.8	3.5	0.3
高等専門学校・専門学校・短期大学(n=95)	32.6	55.8	7.4	4.2	0.0
大学・大学院(n=269)	31.2	48.0	15.6	4.8	0.4
パート・アルバイト(n=58)	17.2	41.4	20.7	20.7	0.0
派遣社員(n=3)	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0
正規の社員・職員・従業員(n=370)	20.5	48.9	23.2	6.5	0.8
自営業(n=5)	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0
専業主婦・主夫(n=2)	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
無職(仕事を探している)(n=21)	28.6	33.3	14.3	23.8	0.0
無職(仕事を探していない)(n=8)	0.0	12.5	37.5	37.5	12.5
その他(n=33)	15.2	48.5	18.2	15.2	3.0

自分の将来について明るい希望を持っているかについて、『希望がある』（「希望がある」と「どちらかといえば、希望がある」の合計）の割合を就学・就労状況別にみると、現在就学中の「高等学校」が84.3%、「高等専門学校・専門学校・短期大学」が88.4%、「大学・大学院」が79.2%となっています。現在就労中の方は「自営業」が100%となっていますが、「正規の社員・職員・従業員」が69.4%、「パート・アルバイト」が58.6%と就学中の人と比べ少なくなっています。

(9) 20年後の自身について

問 24 あなたは20年後、どのようになっていると思いますか。
(それぞれあてはまるもの1つに○)

[n=1,445]



20年後の自分がどのようになっていると思うかについて、『思う』（「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計）の割合は、「キ）親を大切にしている」が88.8%と最も多く、次いで「ク）幸せになっている」（82.2%）、「サ）仲間と仲良く暮らしている」（74.7%）となっています。

また、『思わない』（「そう思わない」と「どちらかといえば、そう思わない」の合計）は、「オ）有名になっている」が86.5%と最も多くなっています。

《年齢別》 20 年後の自身について

		(%)				
		思う	どちらかといえば	どちらかといえ	そう思わない	無回答
ア) お金持ちになっている	15歳～19歳	14.1	30.3	35.4	19.1	1.0
	20歳～23歳	9.6	22.1	41.1	27.0	0.2
	24歳～25歳	8.8	16.6	43.0	30.1	1.6
イ) 自由にのんびり暮らしている	15歳～19歳	26.9	42.3	21.5	8.4	0.9
	20歳～23歳	22.5	39.4	22.7	15.2	0.2
	24歳～25歳	17.6	40.4	22.3	18.1	1.6
ウ) 世界で活躍している	15歳～19歳	7.6	10.6	31.0	49.8	1.0
	20歳～23歳	4.7	9.0	25.1	61.0	0.2
	24歳～25歳	3.6	2.6	19.2	73.1	1.6
エ) 多くの人の役に立っている	15歳～19歳	21.0	43.1	21.4	13.5	1.0
	20歳～23歳	16.1	39.8	25.9	17.8	0.4
	24歳～25歳	9.8	33.7	32.1	22.8	1.6
オ) 有名になっている	15歳～19歳	6.5	8.9	31.7	51.8	1.0
	20歳～23歳	4.1	6.6	28.5	60.6	0.2
	24歳～25歳	3.1	3.6	21.2	70.5	1.6
カ) 子供を育てている	15歳～19歳	19.6	34.9	21.1	23.2	1.1
	20歳～23歳	22.9	36.2	18.0	22.7	0.2
	24歳～25歳	24.9	27.5	18.7	27.5	1.6
キ) 親を大切にしている	15歳～19歳	44.7	43.4	5.7	5.0	1.1
	20歳～23歳	49.5	40.9	5.1	4.3	0.2
	24歳～25歳	48.7	38.9	4.7	6.2	1.6
ク) 幸せになっている	15歳～19歳	41.8	43.7	8.5	5.0	1.0
	20歳～23歳	39.2	40.5	12.8	7.3	0.2
	24歳～25歳	35.8	39.9	13.5	9.3	1.6
ケ) 結婚している	15歳～19歳	26.4	34.0	17.7	20.8	1.1
	20歳～23歳	27.2	33.8	15.0	23.8	0.2
	24歳～25歳	31.6	26.9	17.6	22.3	1.6
コ) 出世している	15歳～19歳	19.4	35.8	25.7	18.0	1.1
	20歳～23歳	16.7	30.4	28.5	24.2	0.2
	24歳～25歳	15.5	25.9	29.5	27.5	1.6
サ) 仲間と仲良く暮らしている	15歳～19歳	35.7	40.3	13.4	9.4	1.3
	20歳～23歳	31.7	43.3	12.2	12.6	0.2
	24歳～25歳	26.9	42.5	15.0	14.5	1.0

※15歳～19歳(n=785) 20歳～23歳(n=467) 24歳～25歳(n=193)

20 年後の自身について年齢別に、『思う』（「思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計）の割合を見ると、すべての年齢層で「キ）親を大切にしている」が最も多くなっています。

また、『あてはまらない』（「あてはまらない」と「どちらかといえば、あてはまらない」の合計）は、すべての「15 歳～19 歳」、「20 歳～23 歳」が「オ）有名になっている」、「24 歳～25 歳」が「ウ）世界で活躍している」が最も多くなっています。

《男女別》20年後の自身について

		(%)				
		思う	どちらかといえば	どちらかといえば	思わない	無回答
ア) お金持ちになっている	男性	14.1	27.9	33.2	23.6	1.2
	女性	10.1	24.0	42.7	22.7	0.5
イ) 自由にのんびり暮らしている	男性	25.8	38.3	22.7	12.2	1.0
	女性	22.8	43.6	21.4	11.7	0.5
ウ) 世界で活躍している	男性	8.5	10.5	29.4	50.4	1.2
	女性	4.2	7.7	25.8	61.9	0.5
エ) 多くの人の役に立っている	男性	19.6	38.6	25.7	15.0	1.2
	女性	16.5	42.7	23.1	17.1	0.6
オ) 有名になっている	男性	8.2	9.9	30.9	49.9	1.2
	女性	2.7	5.3	27.9	63.6	0.5
カ) 子供を育てている	男性	20.9	32.0	22.3	23.6	1.2
	女性	21.8	36.3	17.6	23.6	0.6
キ) 親を大切にしている	男性	44.4	42.9	5.5	6.1	1.2
	女性	48.9	41.2	5.3	3.9	0.6
ク) 幸せになっている	男性	36.8	43.5	12.2	6.2	1.3
	女性	43.1	41.0	9.2	6.4	0.4
ケ) 結婚している	男性	25.8	32.3	18.5	22.1	1.2
	女性	28.7	33.6	15.3	21.8	0.6
コ) 出世している	男性	20.2	35.0	23.6	19.9	1.3
	女性	16.1	30.7	30.2	22.4	0.5
サ) 仲間と仲良く暮らしている	男性	34.9	42.0	12.2	9.9	1.0
	女性	31.8	41.1	14.1	12.2	0.8

※男性(n=674) 女性(n=771)

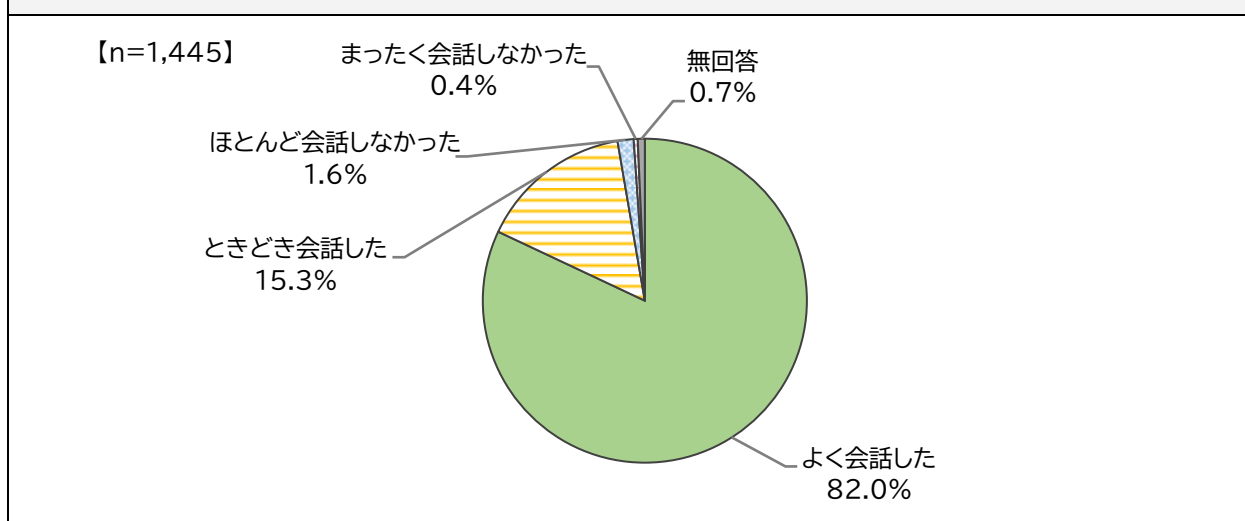
20年後の自身について男女別に、『思う』（「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計）の割合を見ると、男女ともに「キ）親を大切にしている」が最も多くなっています。

「カ）子供を育てている」、「ケ）結婚している」は男性に比べ女性の割合が多く、「コ）出世している」は男性の割合が多くなっています。

また、『あてはまらない』（「あてはまらない」と「どちらかといえば、あてはまらない」の合計）は、男女ともに「オ）有名になっている」が最も多くなっています。

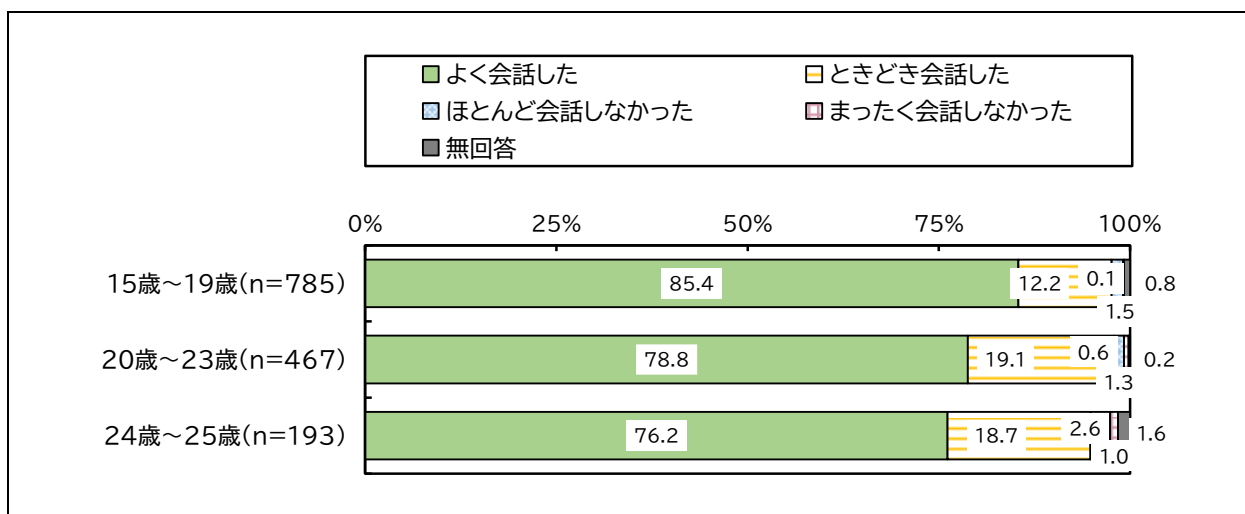
(10) 家族以外の人との会話

問 25 最近6か月間に、家族以外の人と会話しましたか。(1つに○)



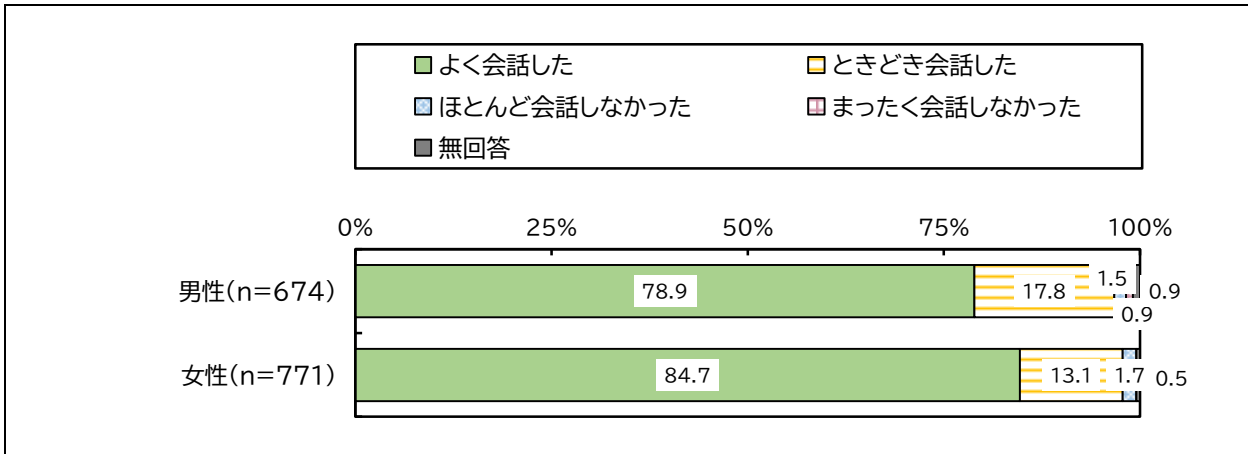
最近6か月間に、家族以外の人と会話したかは、「よく会話した」が82.0%と最も多く、次いで「ときどき会話した」(15.3%)、「ほとんど会話しなかった」(1.6%)、「まったく会話しなかった」(0.4%)となっています。

《年齢別》家族以外の人との会話



最近6か月間に、家族以外の人と会話したかを年齢別にみると、すべての年齢層で、「よく会話した」が最も多く、7割以上となっています。

《男女別》 家族以外の人との会話

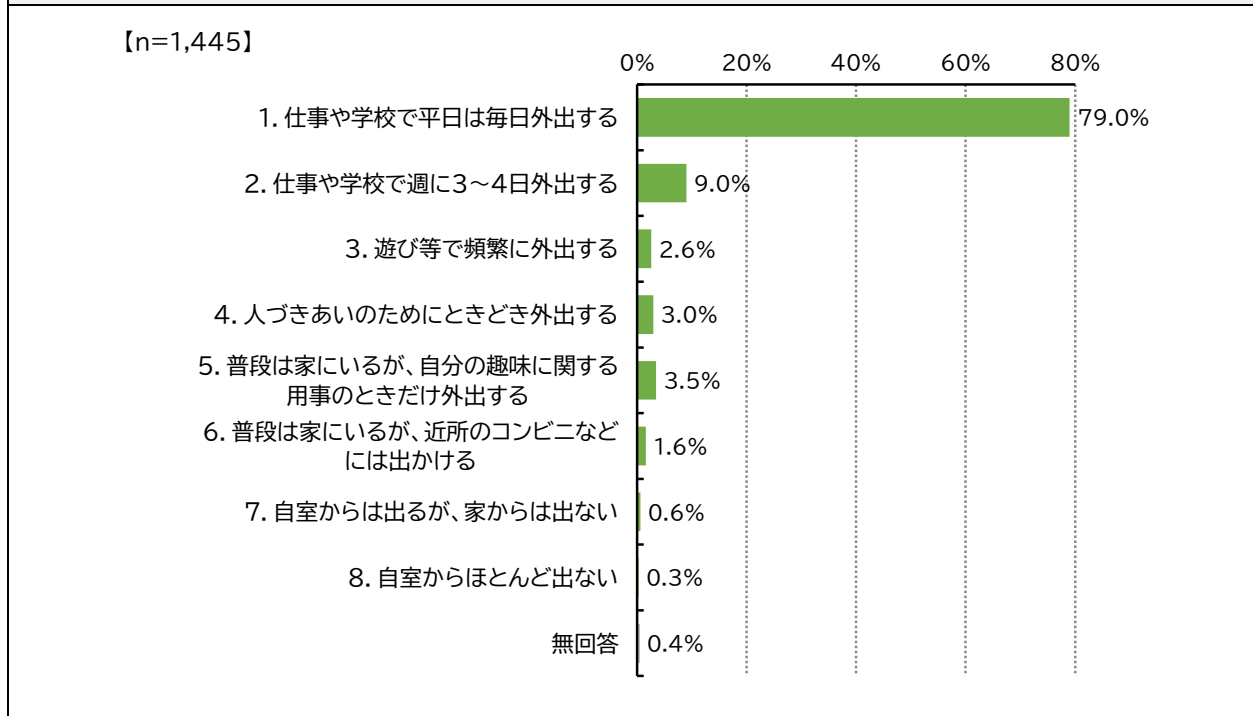


最近6か月間に、家族以外の人と会話したかを男女別にみると、男女ともに「よく会話した」が最も多く、「男性」は約8割、「女性」は8割以上となっています。

4 外出の状況について

(1) 普段の外出頻度

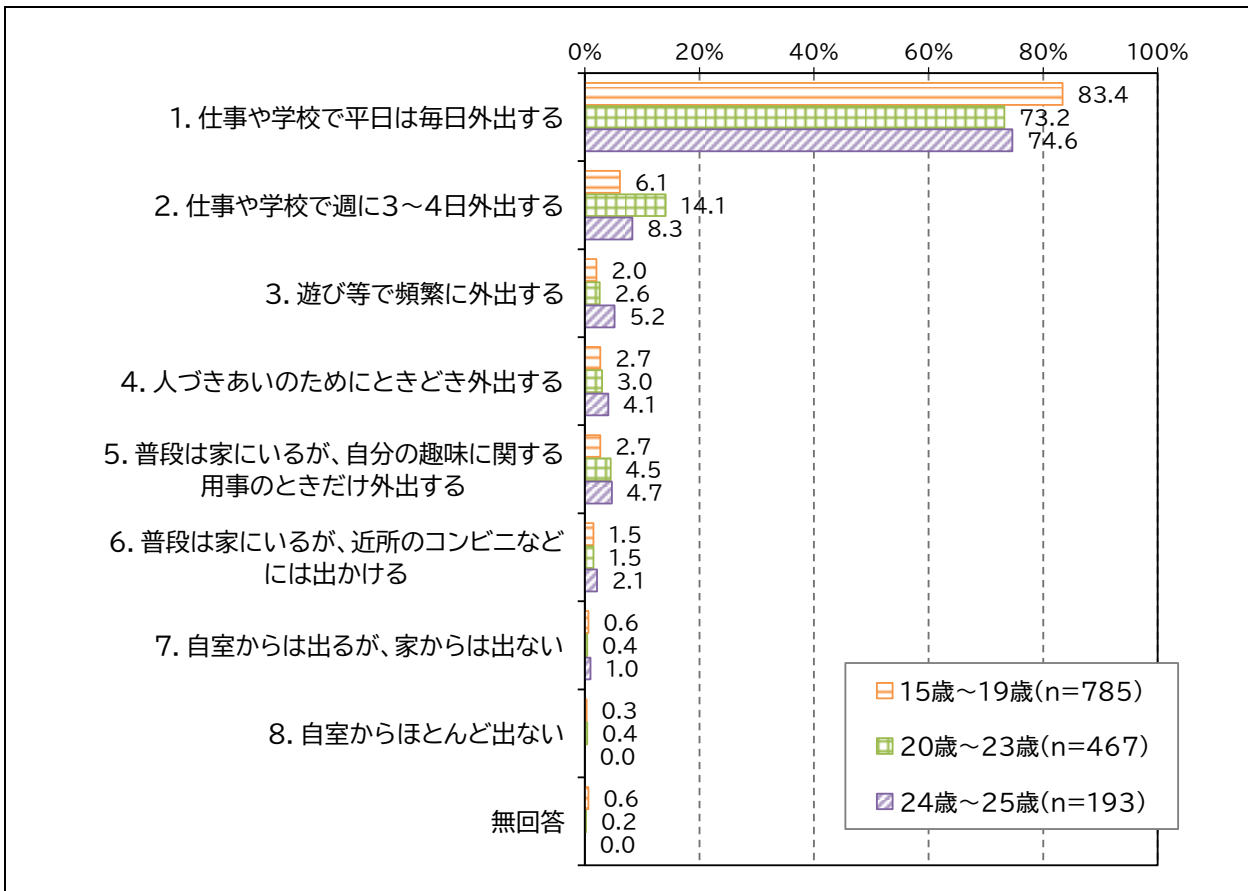
問 26 あなたは普段どのくらい外出しますか。現在最もあてはまることについてお答えください。(1つに○)



普段の外出頻度は、「仕事や学校で平日は毎日外出する」が79.0%と最も多く、次いで「仕事や学校で週に3～4日外出する」(9.0%)、「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のみときだけ外出する」(3.5%)、「人づきあいのためにときどき外出する」(3.0%)と続いています。

「自室からは出るが、家からは出ない」は0.6%、「自室からほとんど出ない」は0.3%となっています。

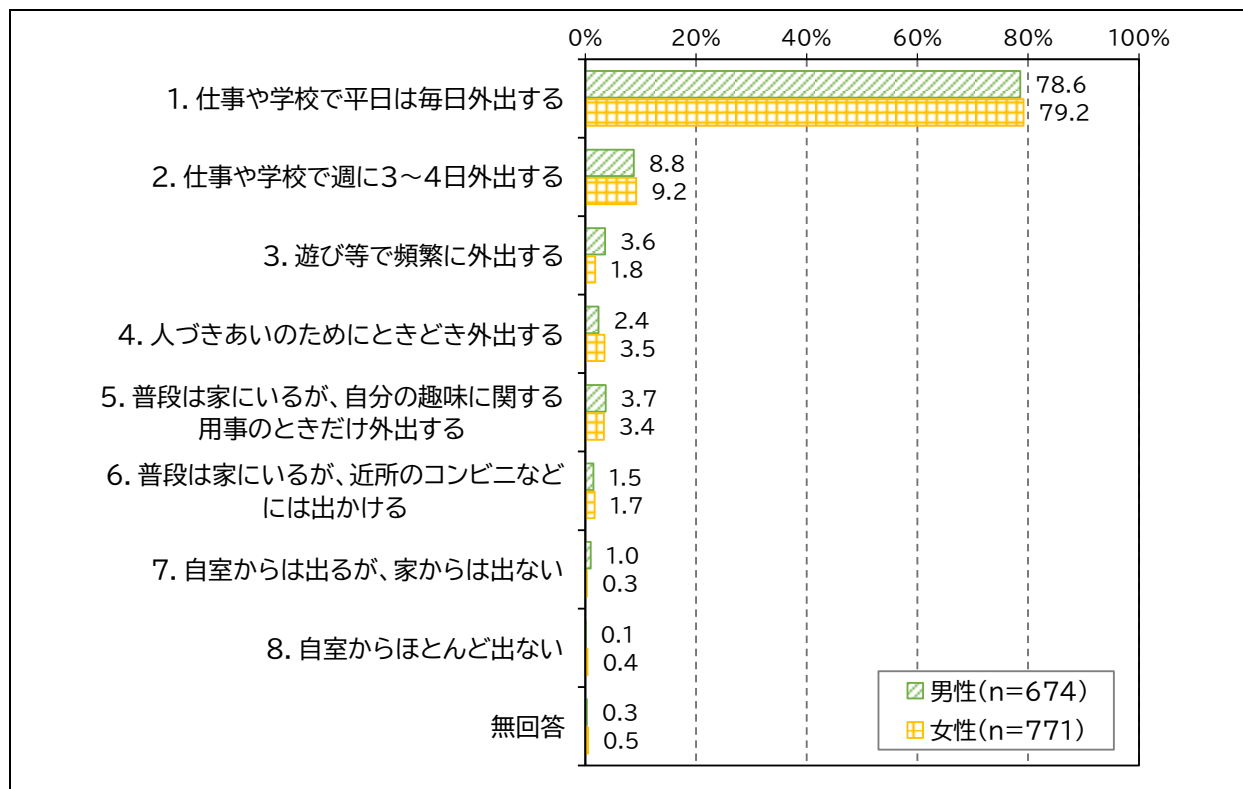
《年齢別》 普段の外出頻度



普段の外出頻度を、年齢別にみると、どの年齢層も「仕事や学校で平日は毎日外出する」が最も多くなっています。

「自室からは出るが、家からは出ない」、「自室からほとんど出ない」を見ると「15歳～19歳」が0.9%、「20歳～23歳」が0.8%、「24歳～25歳」が1.0%となっています。

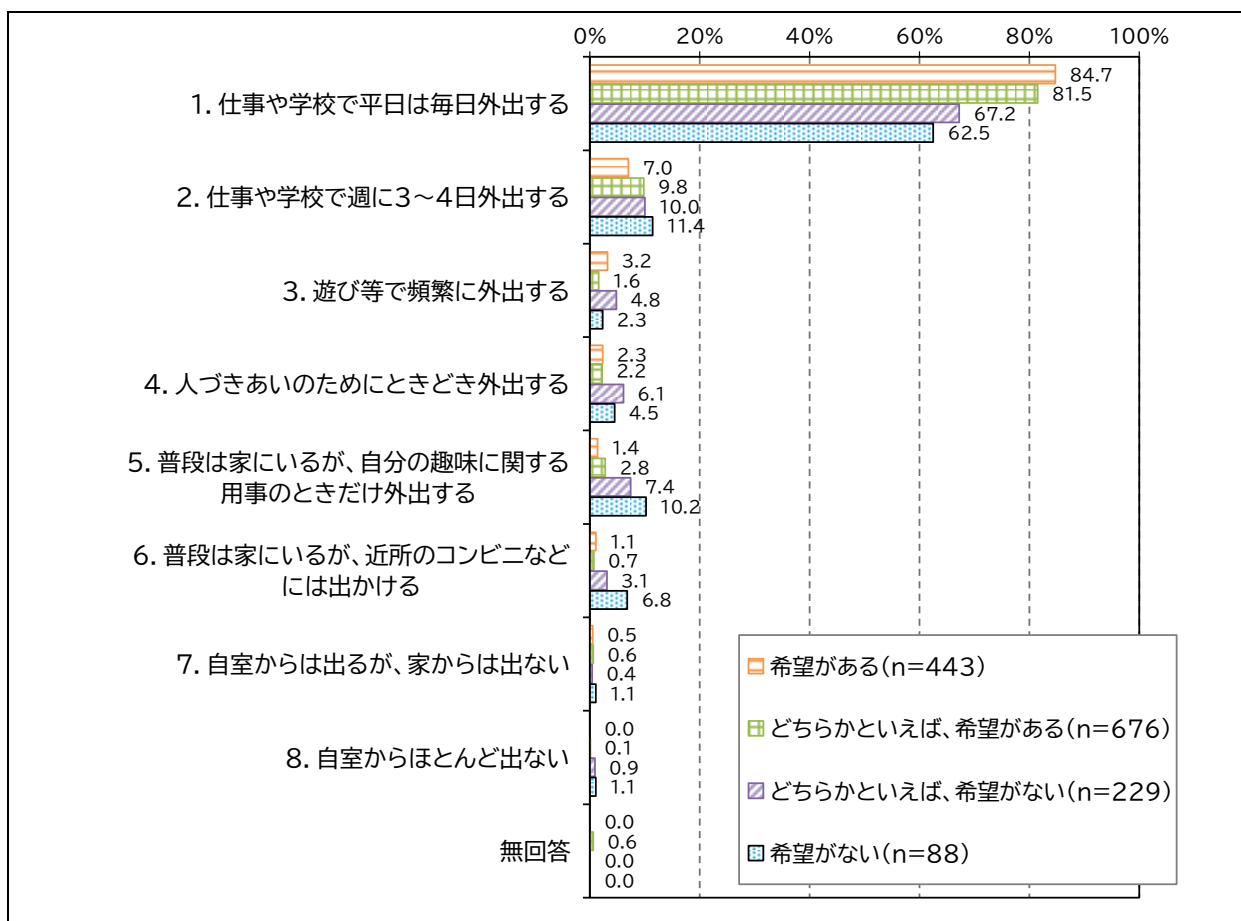
《男女別》 普段の外出頻度



普段の外出頻度を、男女別にみると男女ともに「仕事や学校で平日は毎日外出する」が最も多くなっています。

「自室からは出るが、家からは出ない」、「自室からほとんど出ない」を見ると「男性」が1.1%、「女性」が0.7%となっています。

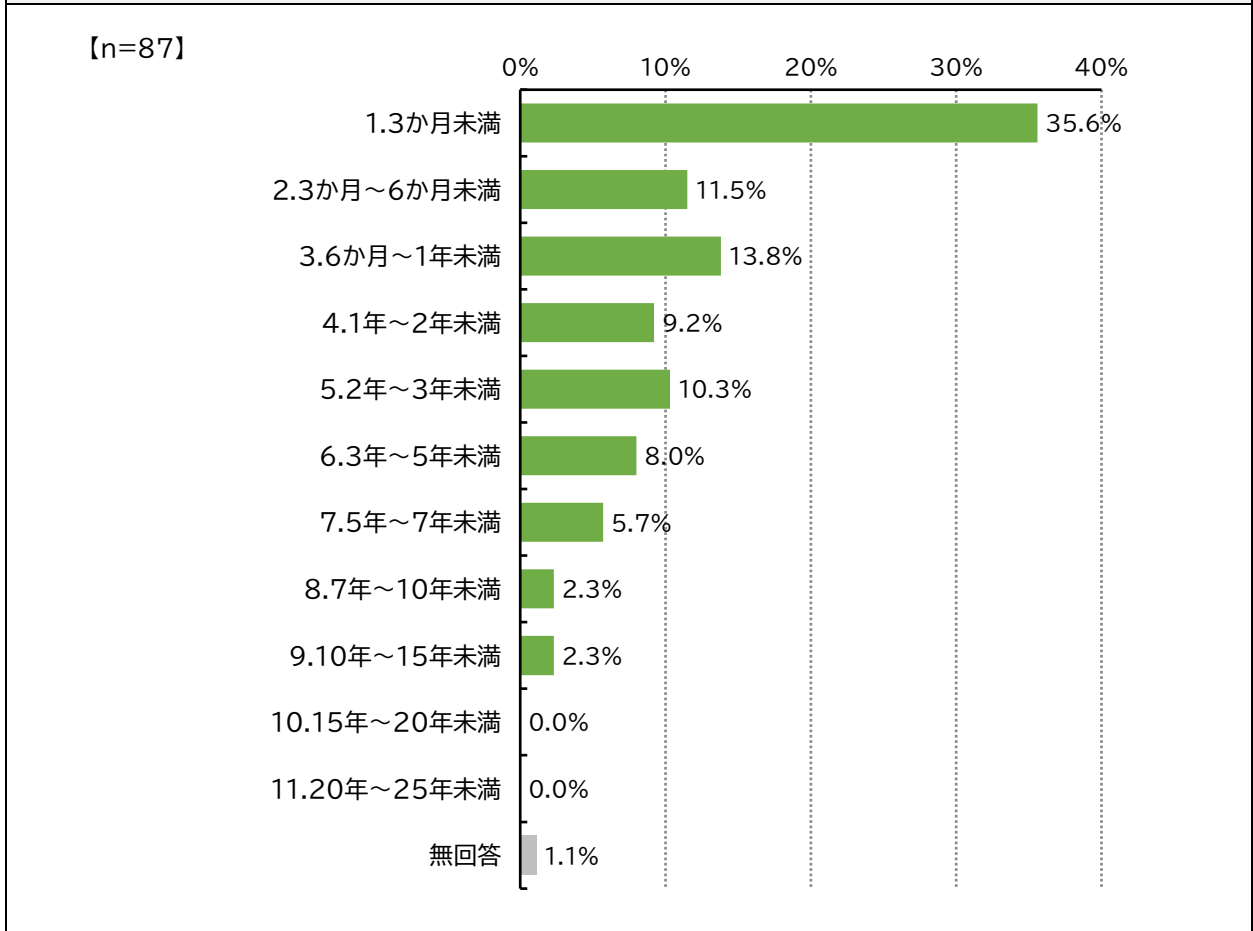
《将来の希望別》 普段の外出頻度



普段の外出頻度を、将来の希望別にみると「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」、「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」、「自室からは出るが、家からは出ない」、「自室からほとんど出ない」の割合をみると、「希望がある」は3.0%、「どちらかといえば、希望がある」は4.2%、「どちらかといえば、希望がない」は11.8%、「希望がない」は19.2%となっています。

(2) 現在の外出状況になってからの期間

問 27 【問 26 で「5.」～「8.」に○をつけた方にうかがいます】
 あなたの外出状況が現在の状態となって、どのくらい経ちますか。(1つに○)。

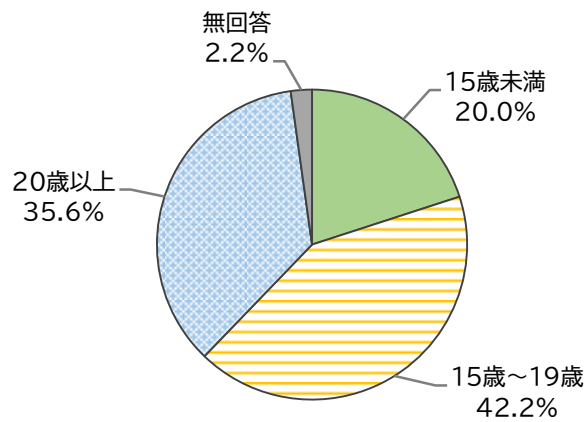


問 26 で「5.」～「8.」と回答した方（外出頻度の低い方）87 人に、現在の外出状況になってからの期間をたずねると、「3か月未満」が 35.6%と最も多く、次いで「6か月～1年未満」（13.8%）、「3か月～6か月未満」（11.5%）、「2年～3年未満」（10.3%）、「1年～2年未満」（9.2%）と続いています。

(3) 外出状況が現在の状態になったのは何歳の頃か

問 28 【問 27 で「3.」～「13.」に○をつけた方にうかがいます】
 あなたの外出状況が現在の状態になったのは、何歳の頃ですか。（数字を記入）

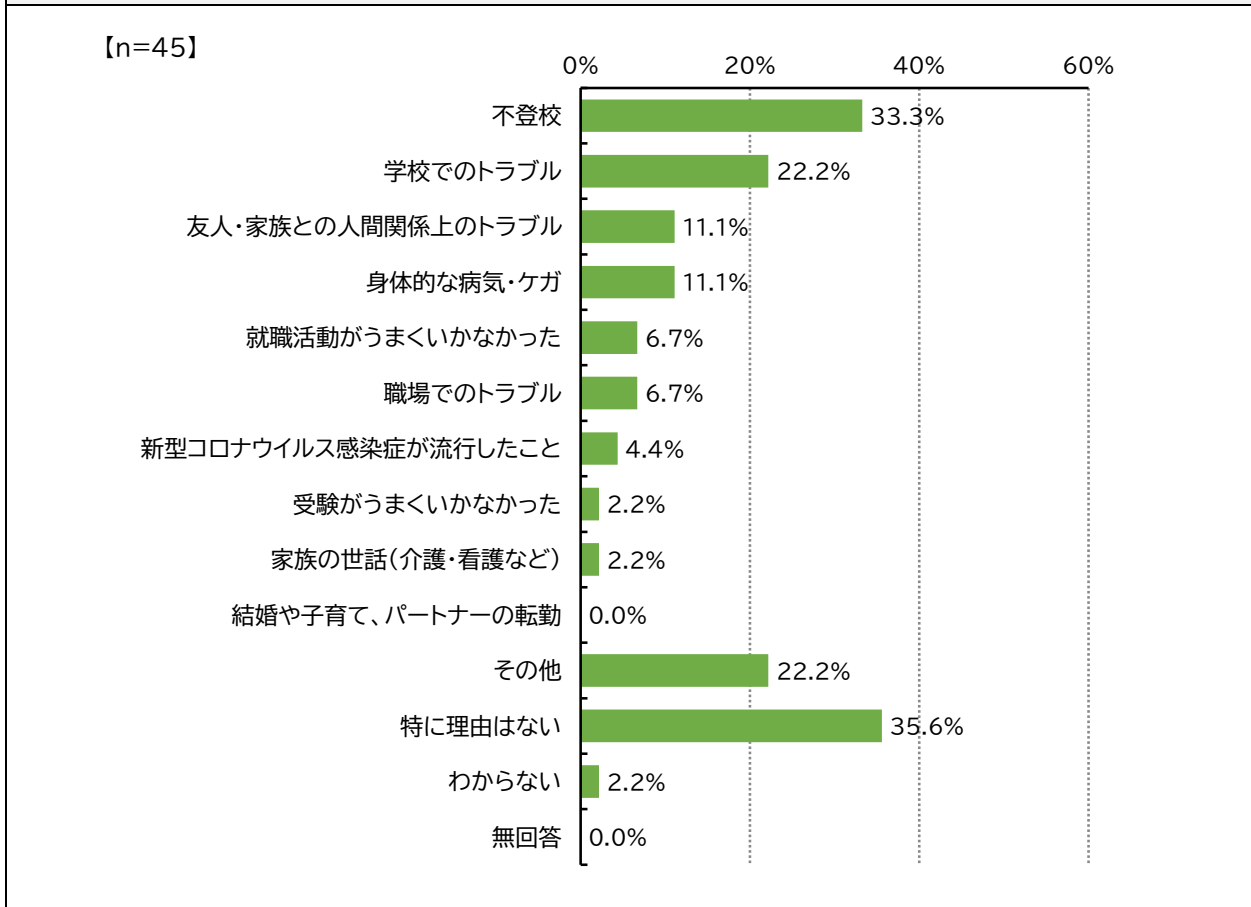
【n=45】



問 27 で「3.」～「13.」と答えた（外出頻度の低い方のうち、現在の外出状況となつてからの期間が6か月以上である方）45 人に、外出状況が現在の状態になった年齢をたずねると、「15歳～19歳」が42.2%、「20歳以上」が35.6%、「15歳未満」が20.0%となっています。

(4) 外出状況が現在の状態になった主な理由

問 29 あなたの外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)



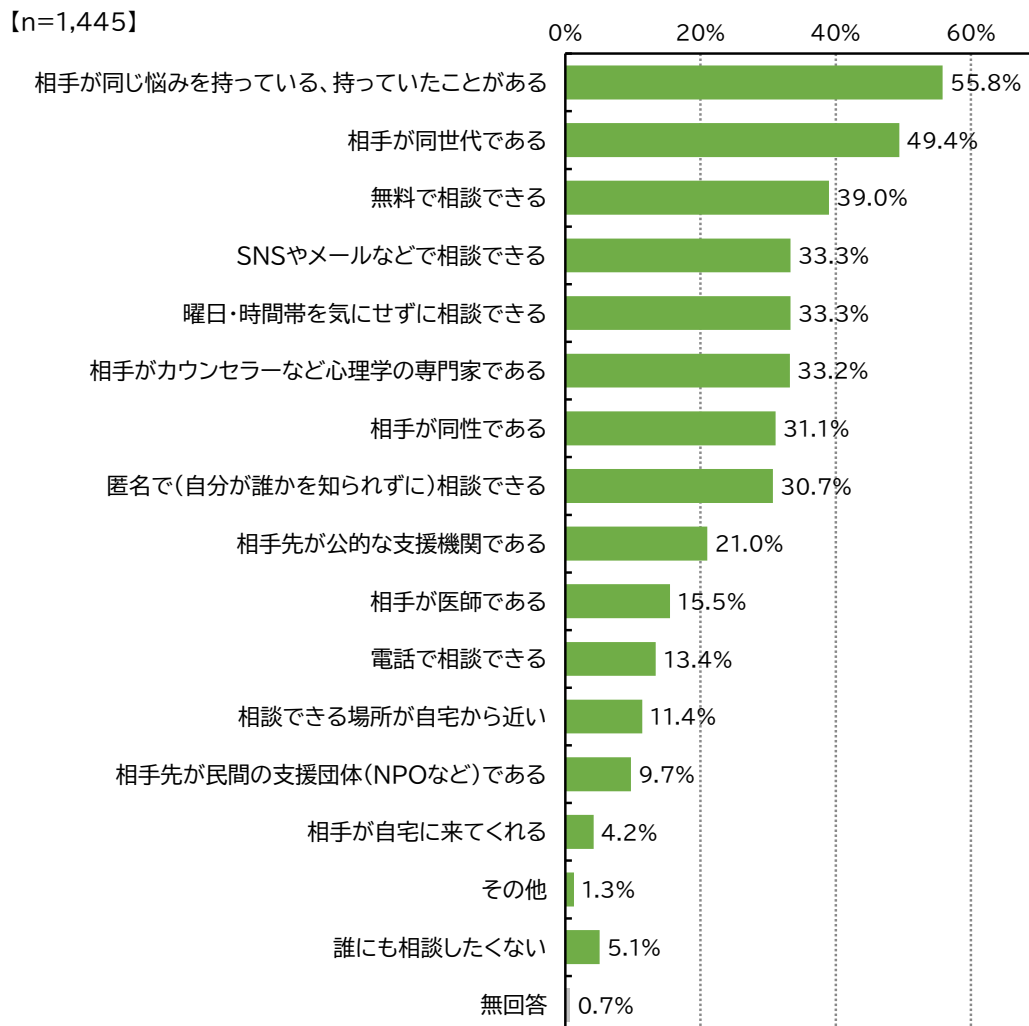
問 27 で「3.」～「13.」と答えた（外出頻度の低い方のうち、現在の外出状況となつてからの期間が6か月以上である方）45人に、外出状況が現在の状態になった主な理由をたずねると、「特になし」が35.6%と最も多く、次いで「不登校」（33.3%）、「学校でのトラブル」（22.2%）、「友人・家族との人間関係上のトラブル」、「身体的な病気・ケガ」（ともに11.1%）と続いています。

「その他」では、「自分や家族に障がいがある」や「精神疾患のため」などの回答がありました。

5 社会生活や日常生活での困難の状況

(1) 相談先に求めること

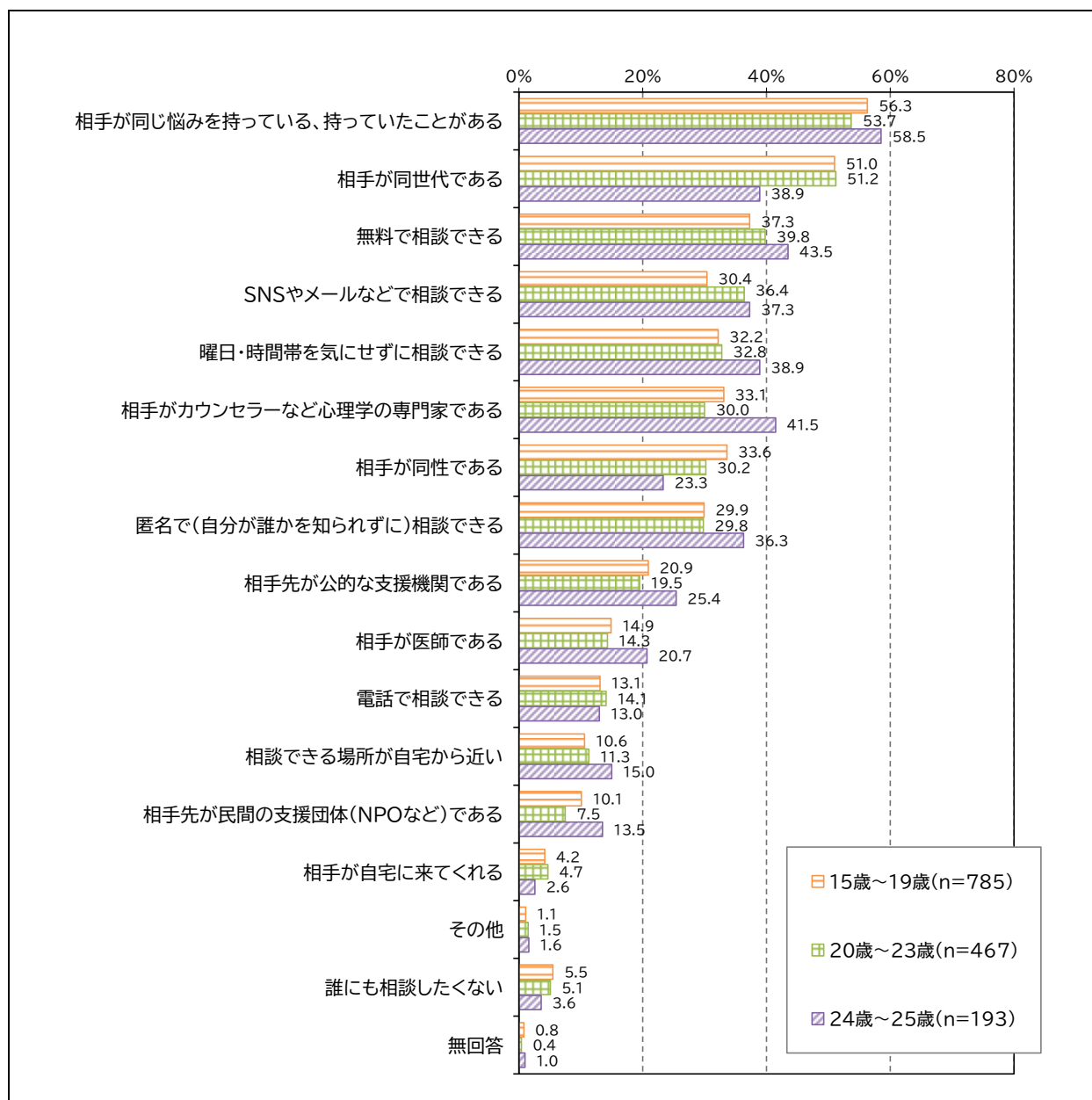
問 30 あなたが社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態となったときに、家族や知り合い以外に相談するとすれば、どのような人や場所なら相談したいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）



困難に直面した場合の相談先に求めることは、「相手が同じ悩みを持っている、持っていたことがある」が55.8%と最も多く、次いで「相手が同世代である」（49.4%）、「無料で相談できる」（39.0%）、「SNSやメールなどで相談できる」、「曜日・時間帯を気にせずに相談できる」（ともに33.3%）、「相手が同性である」（31.1%）と続いています。

なお、「誰にも相談したくない」は5.1%となっています。

《年齢別》相談先に求めること

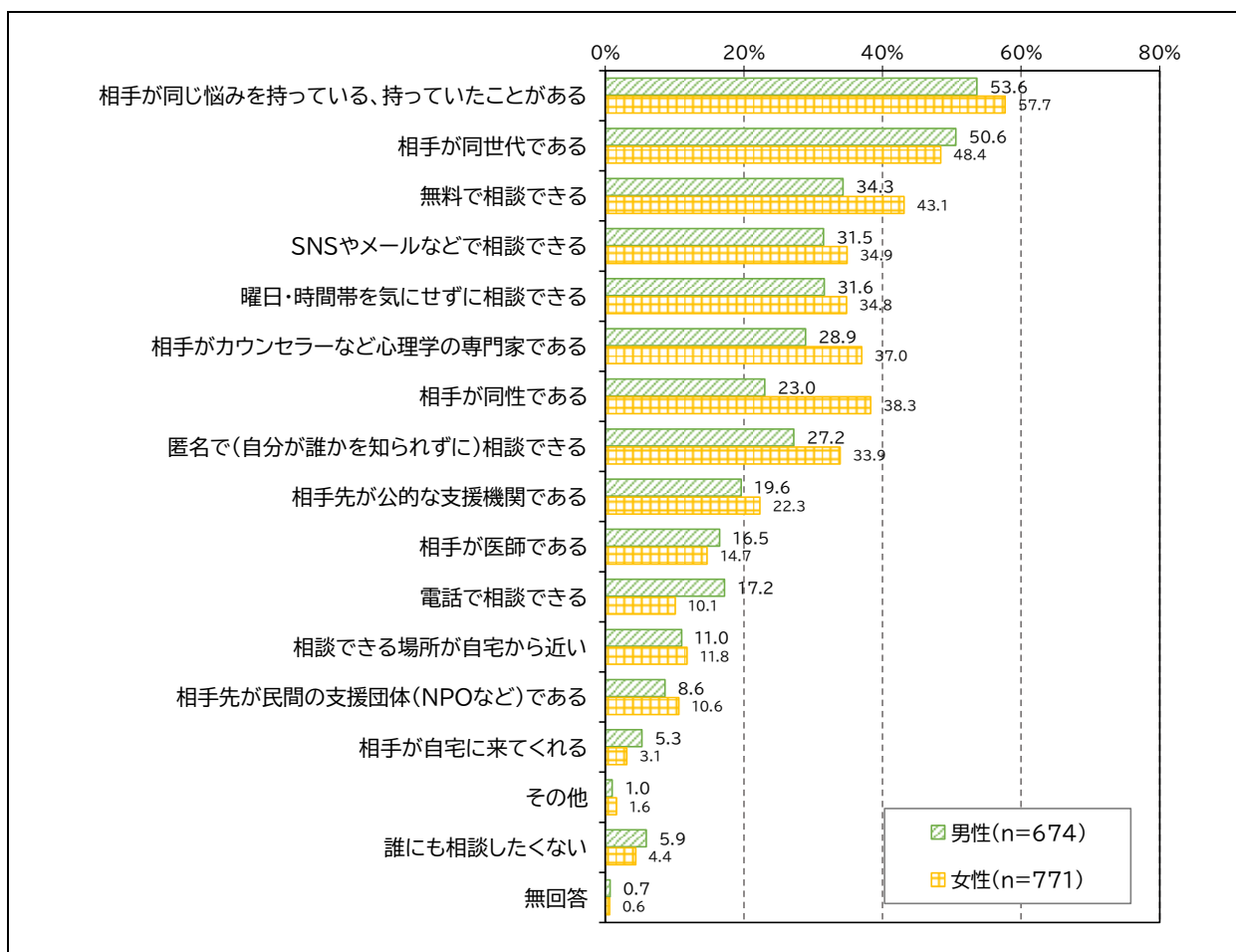


相談先に求めることを年齢別にみると、どの年齢層も「相手と同じ悩みを持っている、持っていたことがある」が最も多くなっています。

「15歳～19歳」、「20歳～23歳」は、「相手と同世代である」が2番目に多くなっていますが、「24歳～25歳」では、「無料で相談できる」が2番目に多くなっています。

「誰にも相談したくない」は、「15歳～19歳」が5.5%、「20歳～23歳」が5.1%、「24歳～25歳」が3.6%となっています。

《男女別》相談先に求めること

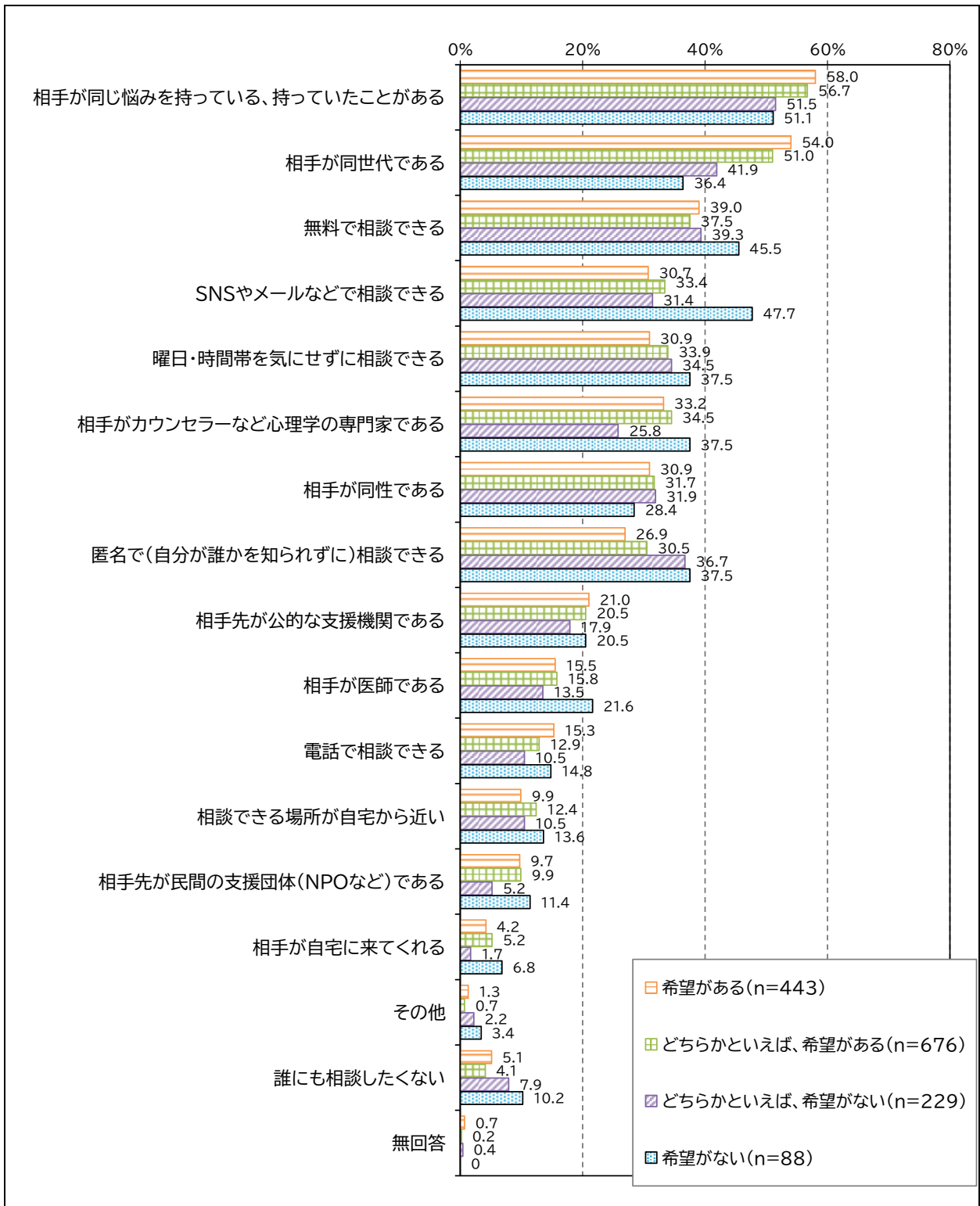


相談先に求めることを男女別にみると、男女ともに「相手が同じ悩みを持っている、持っていたことがある」が最も多くなっています。

また、「相手が同性である」は、男女での差が大きく、「男性」23.0%、「女性」が38.3%となっています。

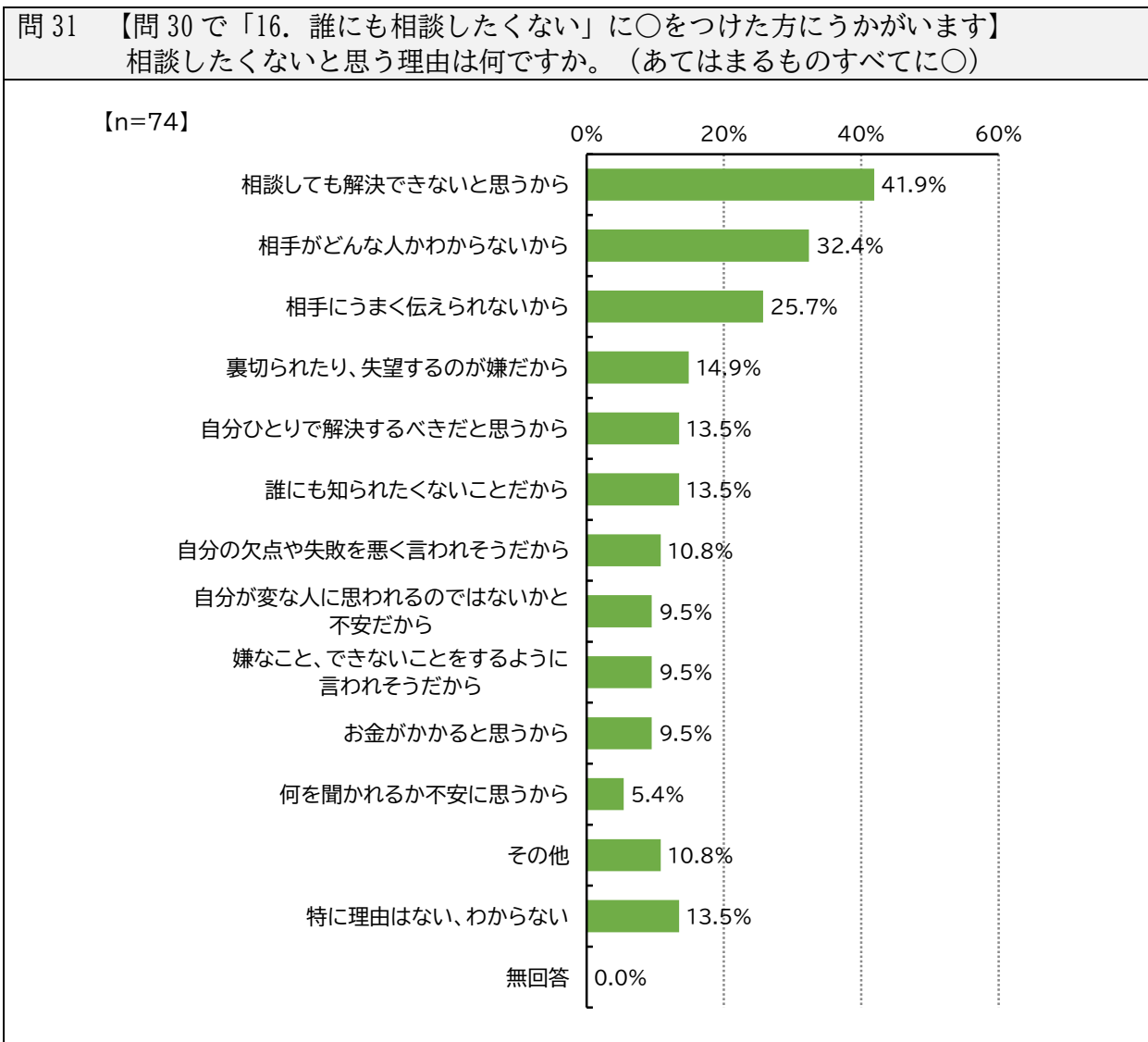
「誰にも相談したくない」は、「男性」が5.9%、「女性」が4.4%となっています。

《将来の希望別》相談先に求めること



相談先に求めることを将来の希望別にみると、「希望がない」と回答している人は、「相手と同じ悩みを持っている、持っていたことがある」が51.1%と最も多く、次いで「SNSやメールなどで相談できる」(47.7%)、「無料で相談できる」(45.5%)と続いています。

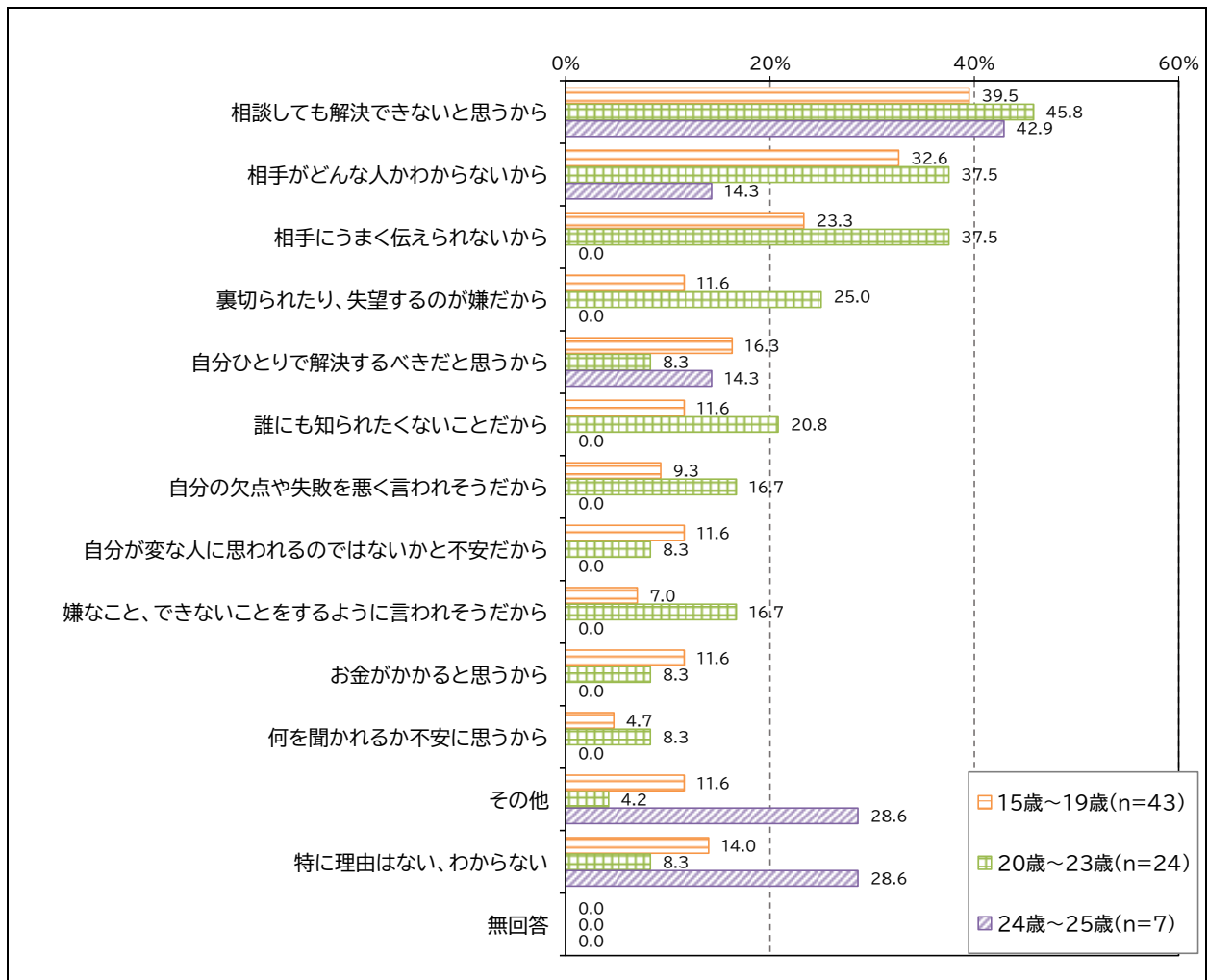
(2) 相談したくない理由



問 30 で「16. 誰にも相談したくない」と答えた 74 人に、相談したくないと思う理由をたずねると、「相談しても解決できないと思うから」が 41.9% と最も多く、次いで「相手がどんな人かわからないから」（32.4%）、「相手にうまく伝えられないから」（25.7%）、「裏切られたり、失望するのが嫌だから」（14.9%）、「自分ひとりで解決するべきだと思うから」、「誰にも知られたくないことだから」（ともに 13.5%）と続いています。

また、「その他」では、「家族以外信用できない」や「恥ずかしい」などの回答がありました。

《年齢別》相談したくない理由

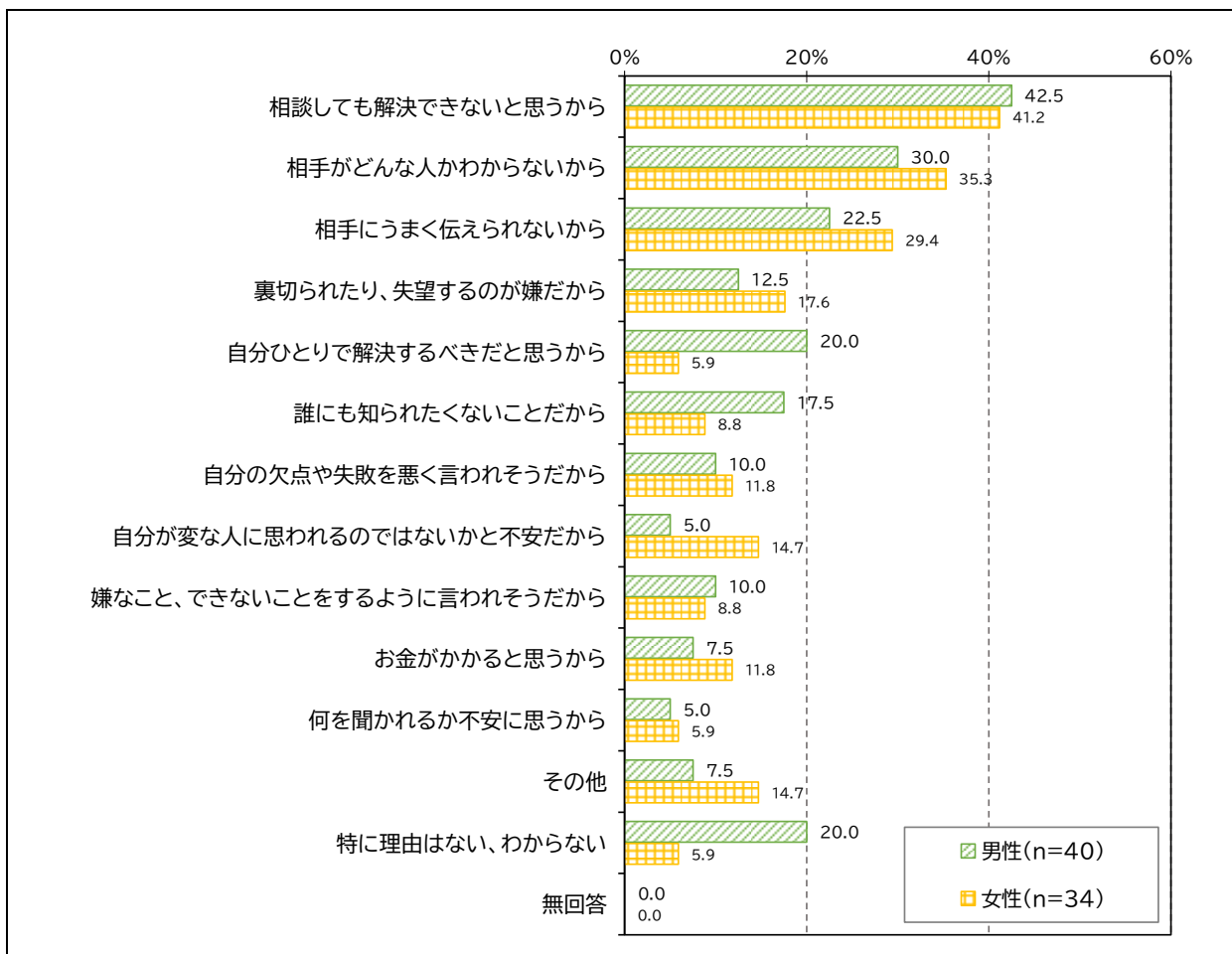


相談したくない理由を年齢別にみると、どの年齢層も「相談しても解決できないと思うから」が最も多くなっています。

「15歳～19歳」、「20歳～23歳」では、「相手がどんな人かわからないから」、「相手にうまく伝えられないから」などの回答も多くなっています。

「24歳～25歳」は、「特に理由はない、わからない」の回答割合が多くなっています。

《男女別》相談したくない理由

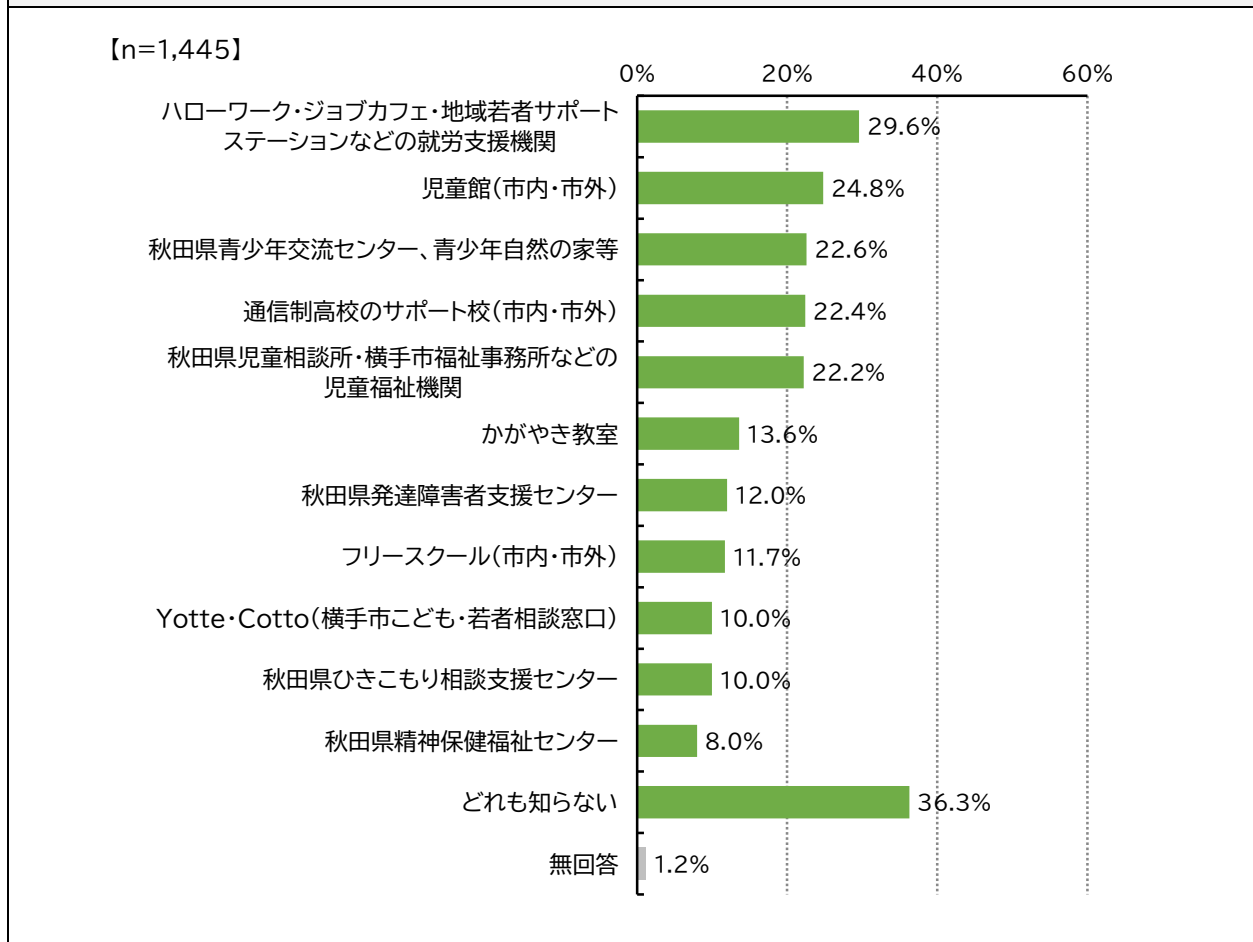


相談したくない理由を男女別にみると、男女ともに「相談しても解決できないと思うから」が最も多く、次いで「相手がどんな人かわからないから」、「相手にうまく伝えられないから」と続いています。

「女性」に比べ、「男性」の「自分ひとりで解決するべきだと思うから」の回答割合が多くなっています。

(3) 育成支援機関の認知度

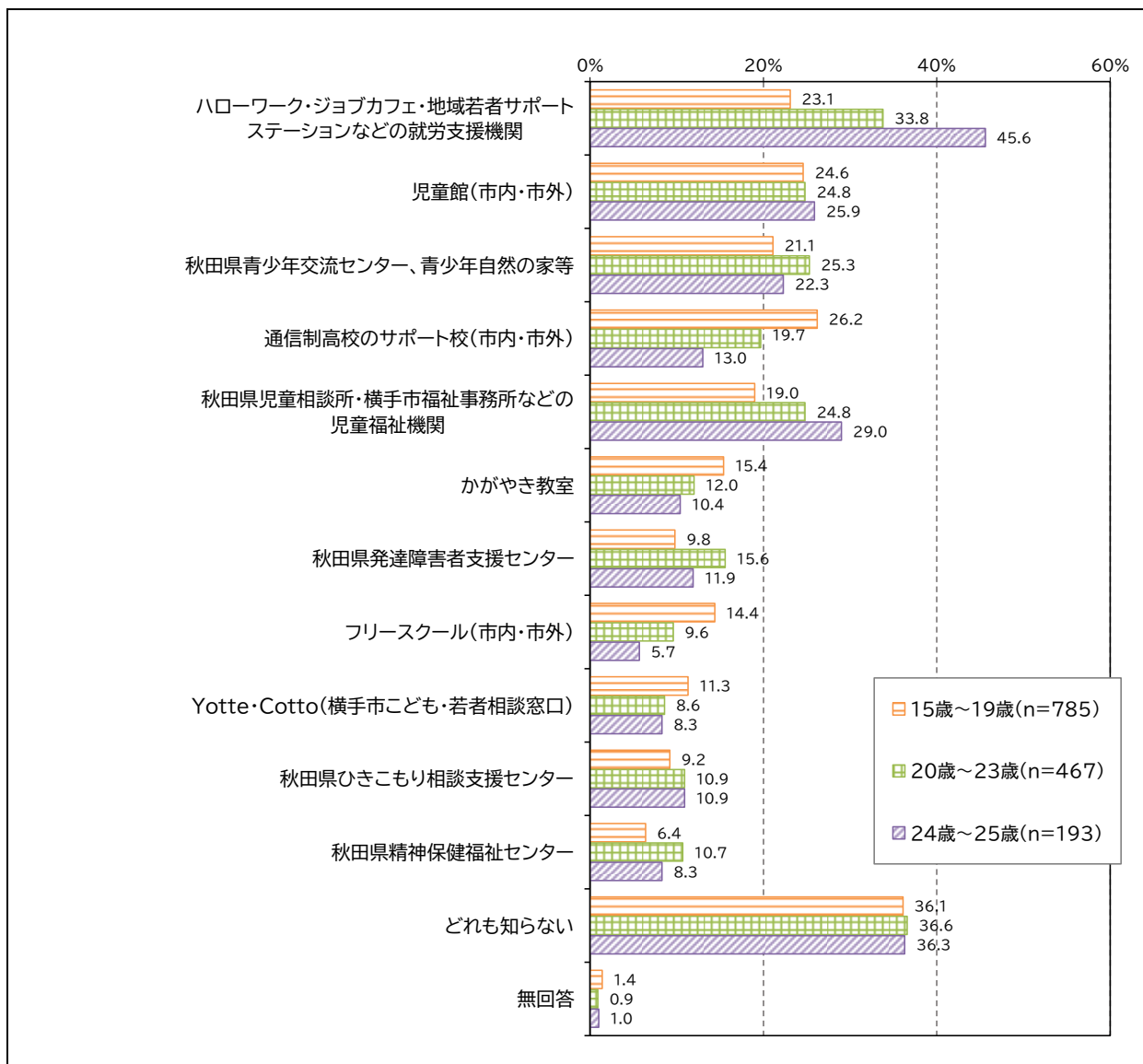
問 32 あなたは、こども・若者を対象とした育成支援機関等を知っていますか。知っている育成支援機関等をお答えください。(あてはまるものすべてに○)



こども・若者を対象とした育成支援機関等を知っているかは、「ハローワーク・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関」が29.6%と最も多く、次いで「児童館(市内・市外)」(24.8%)、「秋田県青少年交流センター、青少年自然の家等」(22.6%)、「通信制高校のサポート校(市内・市外)」(22.4%)、「秋田県児童相談所・横手市福祉事務所などの児童福祉機関」(22.2%)と続いています。

また、「どれも知らない」は36.3%となっています。

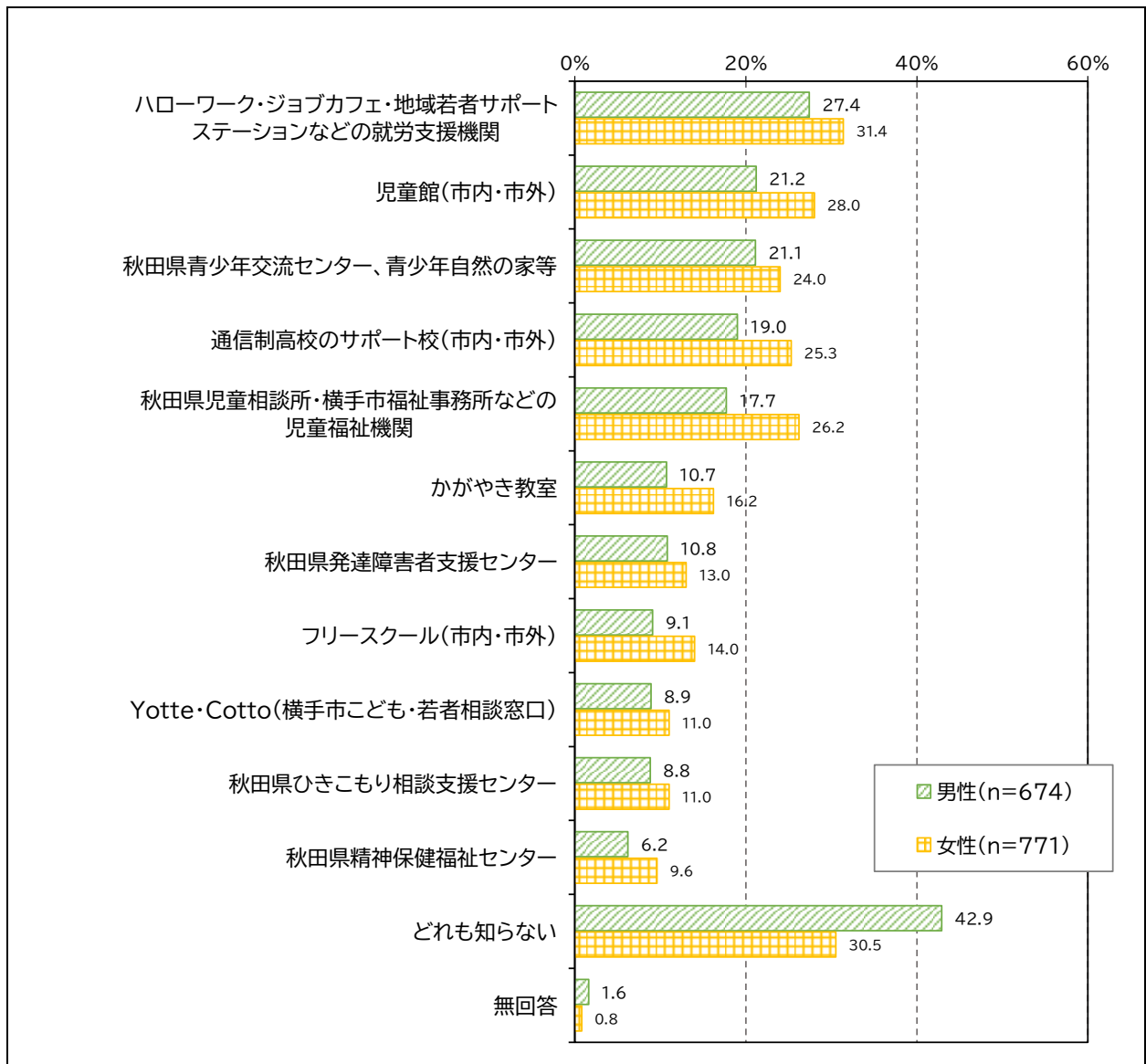
《年齢別》育成支援機関の認知度



育成支援機関の認知度を年齢別にみると、「15歳～19歳」は「通信高校のサポート校（市内、市外）」、「20歳～23歳」、「24歳～25歳」は「ハローワーク・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関」が最も多くなっています。

また、どの年齢層も「どれも知らない」の回答が3割以上となっています。

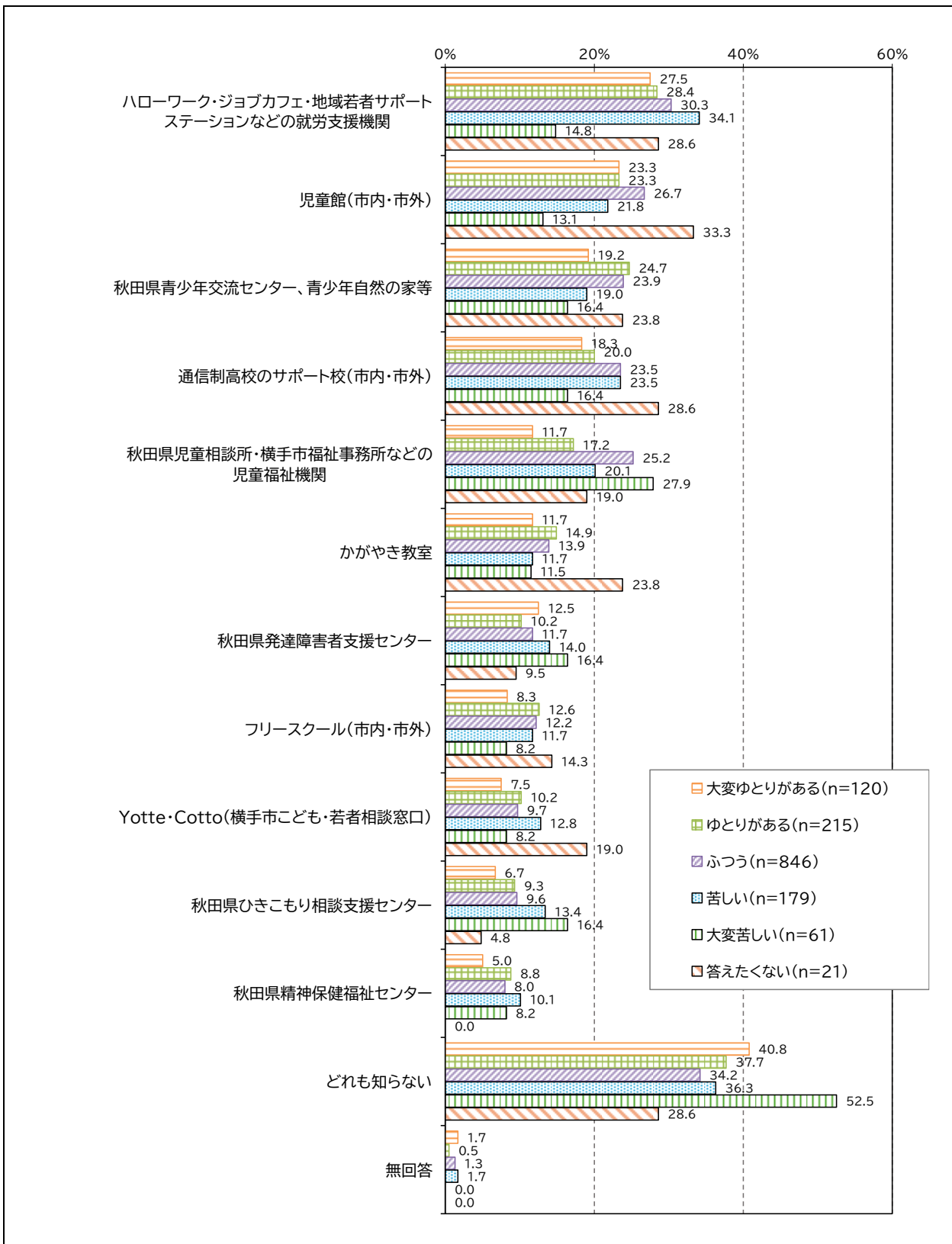
《男女別》 育成支援機関の認知度



育成支援機関の認知度を男女別にみると、男女ともに「ハローワーク・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関」が最も多くなっています。

「男性」に比べ「女性」の認知度が高い傾向となっており、「どれも知らない」は「男性が」42.9%、「女性」が30.5%となっています。

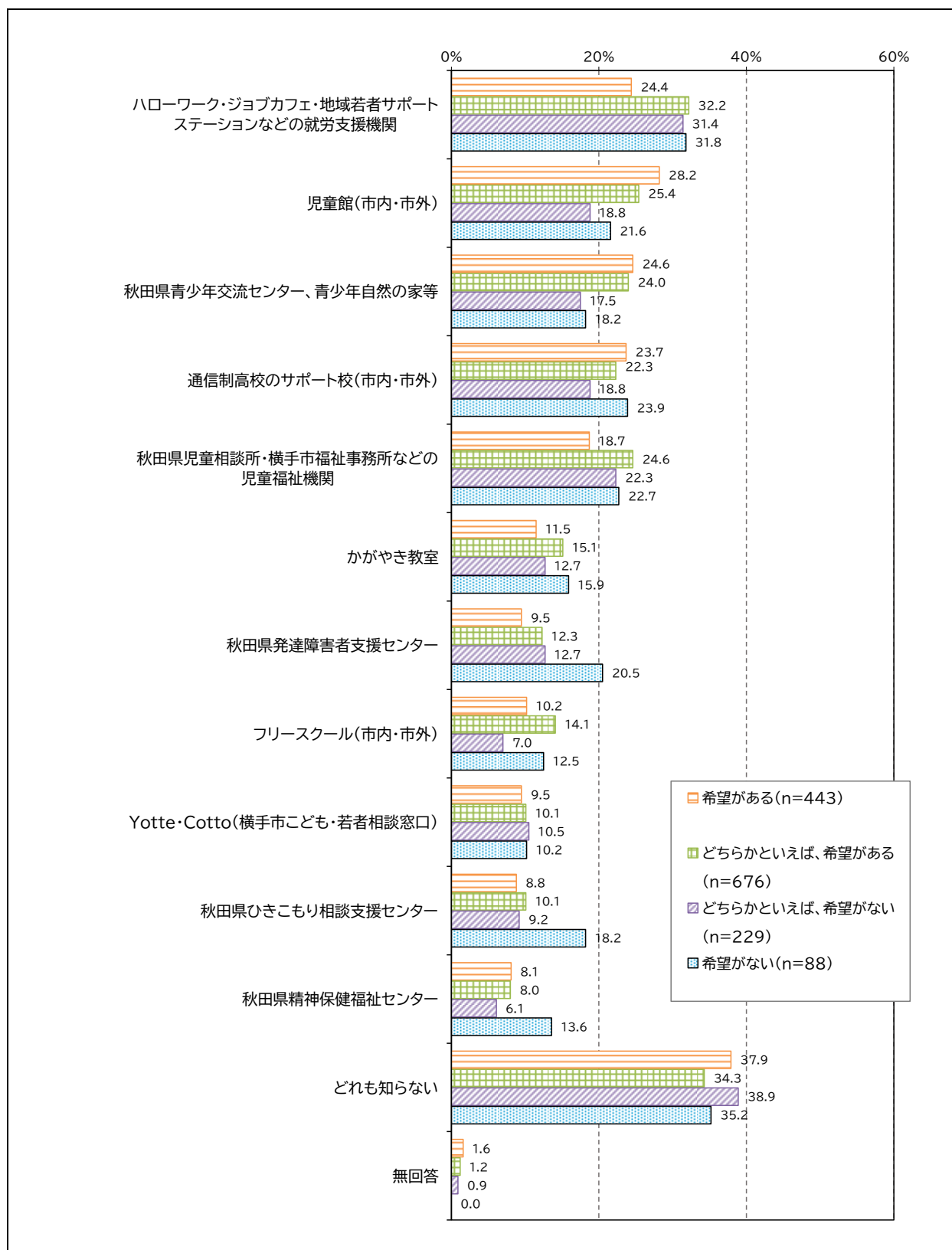
《生活状況別》育成支援機関の認知度



育成支援機関の認知度を生活状況別にみると、「大変苦しい」と回答している人は、「秋田県児童相談所・横手市福祉事務所などの児童福祉機関」が27.9%と最も多くなっています。

「どれも知らない」が52.5%と他の生活状況の人と比べ10%以上多くなっています。

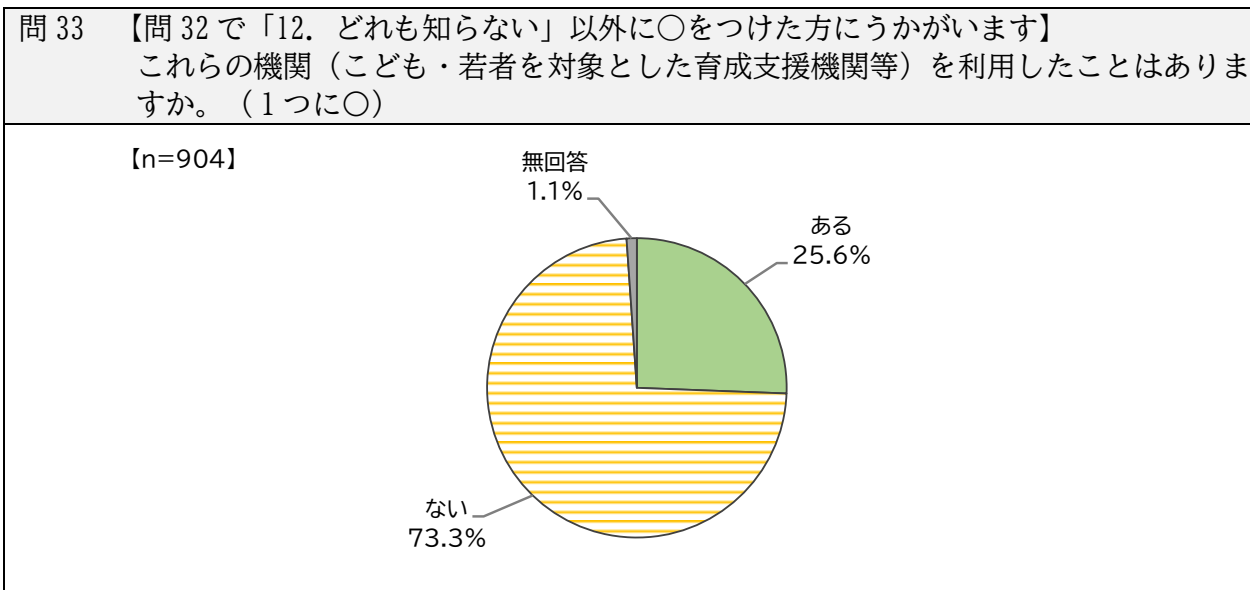
《将来の希望別》 育成支援機関の認知度



育成支援機関の認知度を将来の希望別にみると、「希望がない」と回答している人は、「ハローワーク・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関」が31.8%と最も多くなっています。

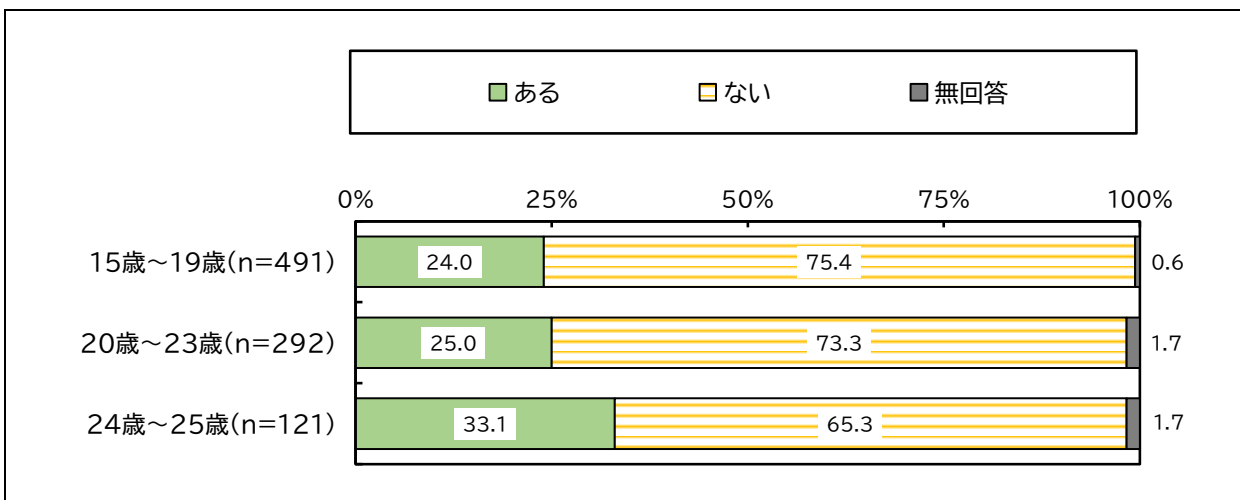
また、「秋田県発達障害者支援センター」や「秋田県ひきこもり相談支援センター」などの認知度が高い傾向となっています。

(4) 育成支援機関の利用について



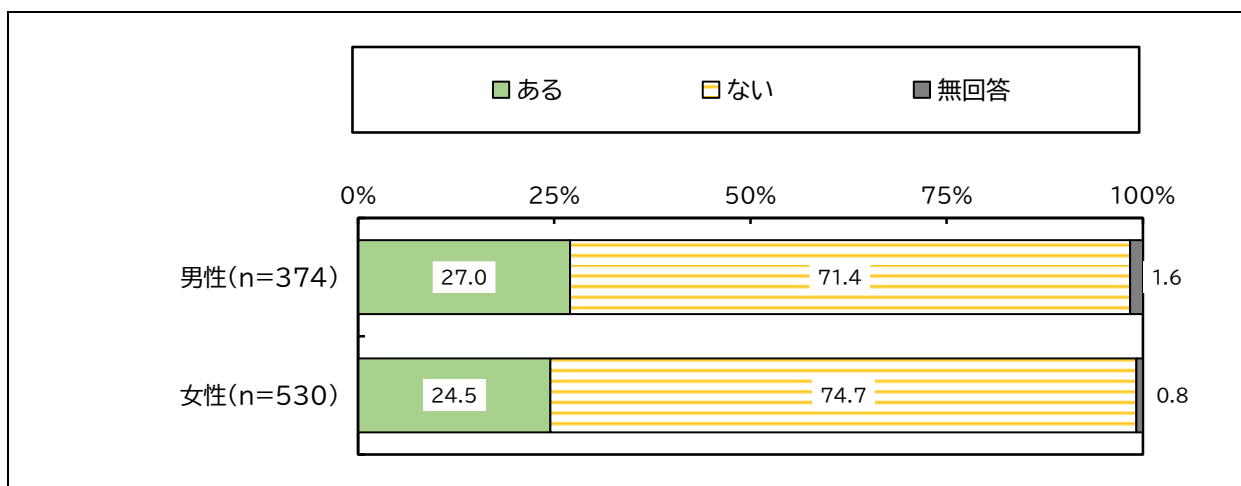
問 32 で「12. どれも知らない」以外を答えた 904 人に、育成支援機関の利用経験があるかをたずねると、「ある」が 25.6%、「ない」が 73.3%となっています。

《年齢別》 育成支援機関の利用経験



育成支援機関の利用経験を年齢別にみると、利用経験が「ある」は「15歳～19歳」が 24.0%、「20歳～23歳」が 25.0%、「24歳～25歳」が 33.1%となっています。

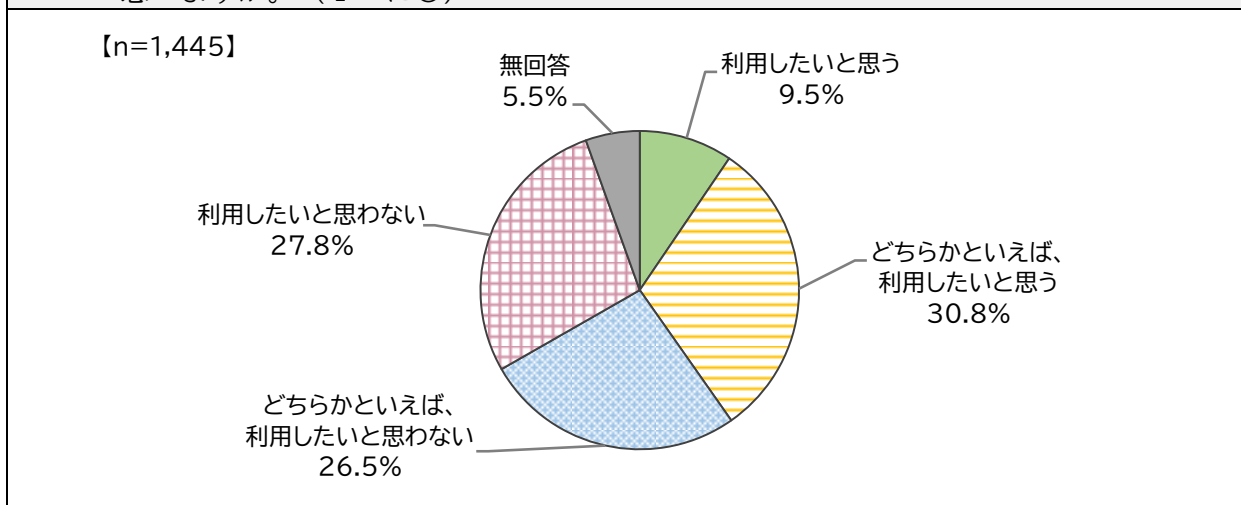
《男女別》 育成支援機関の利用経験



育成支援機関の利用経験を男女別にみると、利用経験が「ある」は「男性」が27.0%、「女性」が24.5%となっています。

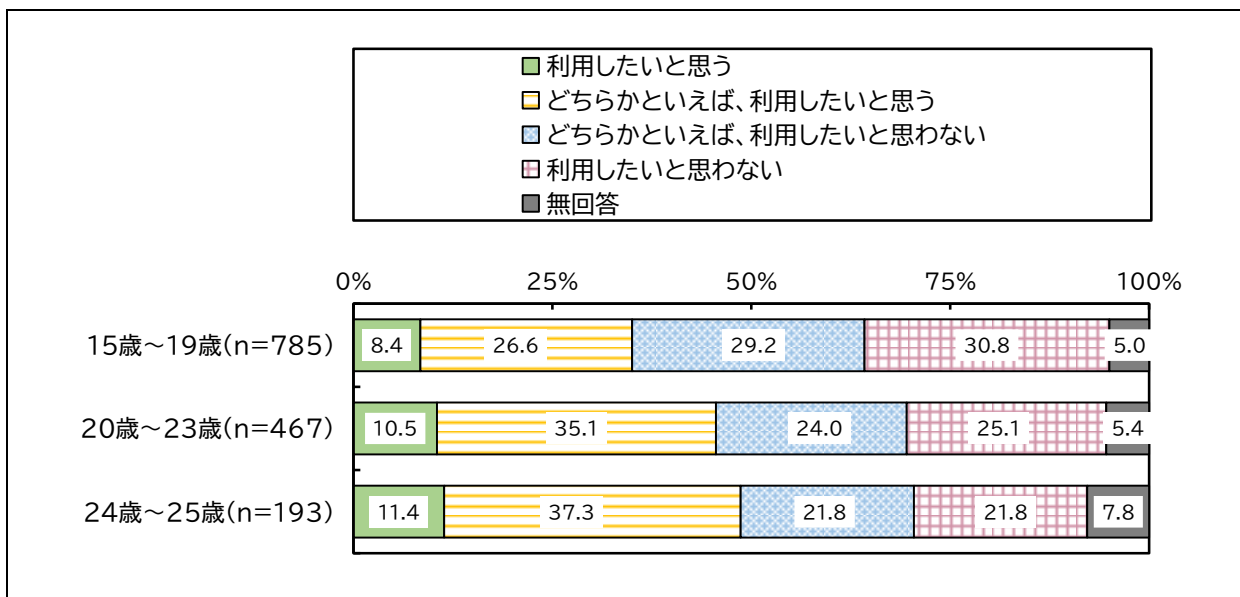
(5) 育成支援機関の利用希望

問 34 これらの機関（こども・若者を対象とした育成支援機関等）について利用したいと思いますか。（1つに○）



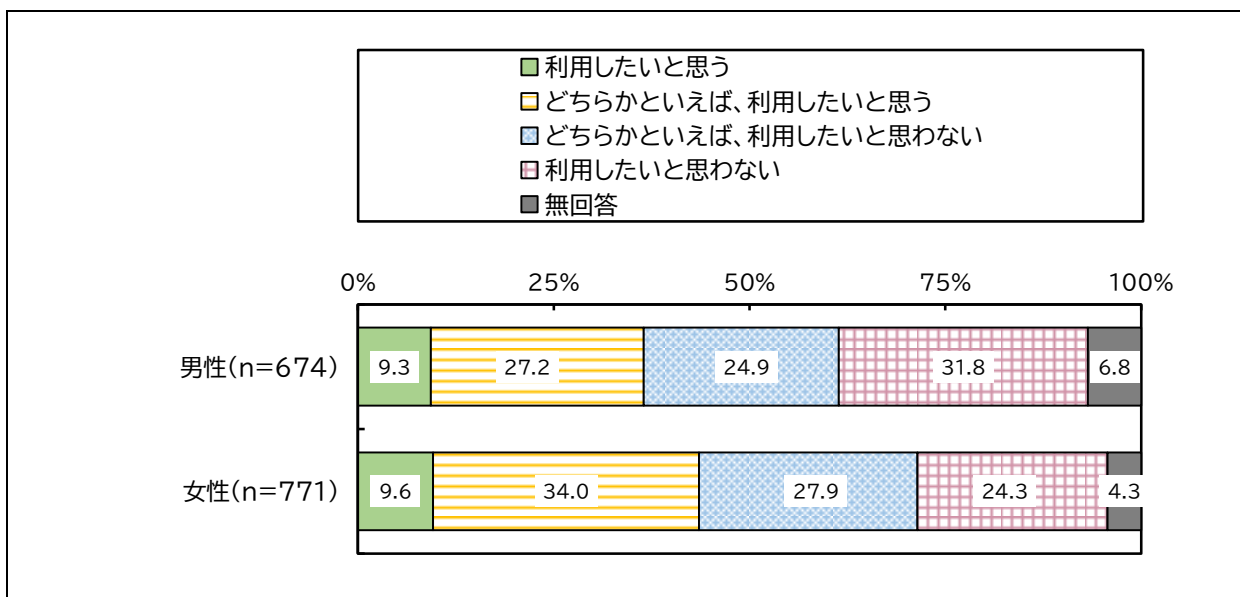
育成支援機関の利用希望は、『利用希望あり』（「利用したいと思う」と「どちらかといえば、利用したいと思う」の合計）が40.3%、『利用希望なし』（「利用したいと思わない」と「どちらかといえば、利用したいと思わない」の合計）は54.3%となっています。

《年齢別》 育成支援機関の利用希望



育成支援機関の利用希望を年齢別にみると、『利用希望あり』は「15歳～19歳」が35.0%、「20歳～23歳」が45.6%、「24歳～25歳」が48.7%となっています。

《男女別》 育成支援機関の利用希望



育成支援機関の利用希望を男女別にみると、『利用希望あり』は「男性」が36.5%、「女性」が43.6%となっています。

6 調査結果のまとめ

- 現在の生活状況、「無職（仕事を探している）」、「派遣社員」の5割以上が「苦しい」と回答
- 「無職」の理由は、「人間関係」「社会との関わり」に対する不安や「自分の合う仕事が見つからない」などが上位

アンケート回答者の64.9%が「学生」（高校～大学院）、35.1%が「学生以外」で、「学生以外」の2.1%が「無職」となっています。

家計を支えている人は、「父親」、「母親」が合計で80.8%、「自身」が10.6%などとなっています。

現在の生活状況について、全体では、『ゆとりがある』（「大変ゆとりがある」と「ゆとりがある」の合計）が23.2%、『苦しい』（「大変苦しい」と「苦しい」の合計）が16.6%となっており、「ゆとりがある」と感じている割合が多くなっていますが、「自身」が生計主の人は、『苦しい』が37.9%となっています。

また、「派遣社員」、「無職（仕事を探している）」は5割以上が『苦しい』と回答しています。

「無職者」の「働いていない理由」は、「人間関係・社会との関わりに不安がある」、「自分に合う仕事が見つからない」、「心の不調を抱えている」が上位となっています。

若者の生活支援、経済的負担の軽減など生活基盤を安定させるための支援が重要です。

就労支援や継続にむけた支援は、若者が自立するためにも、社会の活力を維持する上でも重要であることから、一人でも多くの若者が安定した就労につながるよう、相談窓口や様々な支援制度や内容の周知を図るとともに、支援の利用推進と支援体制の充実が求められます。

- 「仕事の内容・職種」、「賃金の条件よい」、「労働時間、休日などの条件がよい」が就労する際の重視ポイント
- 就労継続のために必要な支援・取組は、「求人情報の紹介」、「ワーク・ライフ・バランスの環境整備」、「ハラスメント防止の取組」が上位

就労する際に重要視することは、「仕事の内容・職種」、「賃金の条件がよい」、「労働時間、休日などの条件がよい」が5割以上となっており、年齢別、男女別に見ても上位の3項目となっています。

就労、就労の継続のため次の支援・取組が必要かでは、『思う』（「思う」と「どちらかといえば思う」の合計）の割合を見ると、「求人情報の紹介」、「ワーク・ライフ・バランスの環境整備」、「ハラスメント防止の取組」が9割を超えています。

求人情報、市内の魅力ある企業やそこで働く方々の情報発信を行い、就労、定着を図るため、安定した雇用環境の整備を進めるとともに、離職した際の早期に再就職し、その持てる能力を発揮できるよう支援を行うとともに、ハローワーク等による若者への就職支援の取組も求められます。

市内事業所に対して、残業時間の縮減や企業内の協力体制を整備するよう働きかけ、ワーク・ライフ・バランスに配慮した職場環境の推進、ハラスメント防止など広報紙やパンフレット等による啓発活動に努めていくことも重要です。

- 「高校生」の5割以上が「大学またはそれ以上」の進学を希望
- 授業の理解度、「わからないことが多い」は14.8%

現在、「高等学校」に就学している学生の授業の理解度は、「わからないことが多い」、「ほとんどわからない」の合計が14.8%となっており、授業がわからなくなったのは、「中学生のころ」からが約5割となっています。

将来の進学希望は、「大学またはそれ以上」が5割を超え、その理由として「希望する学校や職業があるから」が6割以上となっています。

基礎、基本を確実に身につけ、自ら学び、考え、主体的に判断してよりよく問題を解決する力の育成のため、小中学校時期からの家庭・地域・学校の連携による、確かな学力の向上と心身の教育の充実を図っていくことが重要です。

生活状況に関わらず、進学を希望するすべての生徒が、経済的理由から進学をあきらめることがないよう、家庭の経済状況にかかわらず、安心して希望する高等教育を受けることができる支援の充実が求められます。

- 約7割が「今の自分が好きだ」と回答
- 「孤独であると感じる」割合は2割以上

回答者の自己認識について、自分自身について肯定的な回答を見ると、「自分の親（保護者）から愛されていると思う」（95.2%）、「自分には自分らしきというものがあると思う」（89.2%）、「自分は、今、幸せだと感じる」（88.4%）、「今の自分が好きだ」（68.6%）などとなっています。

一方、否定的な回答は、「自分には人とのつきあいがないと感じることがある」（31.2%）、「自分は取り残されていると感じることがある」（29.4%）、「自分は役に立たないと強く感じる」（28.0%）、「自分は孤独であると感じることがある」（22.5%）などとなっています。

「自分は取り残されている」や「孤独である」と感じている人は2割以上となっています。

生活状況が『苦しい』と回答しているほど、否定的な回答が多く、肯定的な回答は少なくなる傾向となっています。

「学校・家庭・職場以外の居場所づくり」や「気軽に相談できる場所」など、自己肯定感の維持、孤立感の軽減、安心感の提供、悩みや困難への具体的な支援とともに経済的な支援も含め、教育・福祉・地域社会など多様な分野で、個々のニーズに応じた「居場所」「相談窓口」「制度・インフラの充実」が重要です。

- 居場所（ほっとできる場所、居心地の良い場所など）「インターネット空間」が7割以上
- インターネット上における人との関わりでは、「怖さを感じる」とある割合は約5割

9割以上が「自分の部屋」、「家（実家や親族の家を含む）」を、7割以上が「インターネット空間（SNS、YouTube やオンラインゲームなど）」を居場所（ほっとできる場所、居心地の良い場所など）と回答しています。

インターネット上における人やグループの関わりについては、「実名や顔をよく知らない相手に怖さを感じる」とある（46.6%）、「メッセージの返信などうっとうしくてやめた」（28.3%）との回答も多くありました。

インターネット利用の低年齢化が進む中、情報を適切に取捨選択して利用することは重要な課題です。SNS等を利用した、サイバー犯罪に巻き込まれないようにするためにも、若者がインターネットの危険性と有用性の認知やネットリテラシー（理解力）を高めていく教育の推進と啓発が重要です。

- 「将来に明るい希望がある」は 77.5%
- 20年後「結婚している」は 60.3%、「子どもを育てている」は約 55.7%

自分の将来について明るい希望を持っているかは、77.5%が『希望がある』と回答しています。一方で、21.9%が『希望がない』と回答しています。

就学中の人と比べ、就労中の人には『希望がない』と回答している割合が多い傾向があります。

20年後の自身について、『思う』（「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計）を見ると、「結婚している」が 60.3%、「子供を育てている」が 55.7%となっており、男女別に見ると、どちらも「女性」が「男性」を上回っています。

また、『あてはまらない』（「あてはまらない」と「どちらかといえば、あてはまらない」の合計）は、「結婚している」が 38.7%、「子供を育てている」が 43.4%となっています。

将来は「結婚している」「子どもを育てている」など家庭を持つことについて前向きな回答が多くなっていますが、『あてはまらない』との回答が3割以上あることから、若者を取り巻く意識や生活環境を検証し、子育てに希望を持てる社会づくりについて一層検討していくことが求められます。

- ひきこもり傾向のある人は 6.0%
- 「不登校」、「学校でのトラブル」が主な理由

「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」（3.5%）、「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」（1.6%）、「自室からは出るが、家からは出ない」（0.6%）、「自室からほとんど出ない」（0.3%）となっています。

また、将来の希望について、『希望がない』と回答している人ほど外出頻度が低い傾向となっています。

最も大きな理由としては、「不登校」（33.3%）、「学校でのトラブル」（22.2%）、「友人・家族との人間関係上のトラブル」、「身体的な病気・ケガ」（ともに 11.1%）となっています。

ひきこもり傾向となっている若者について、孤立を防ぎ、個々の夢の実現に向かえるように、求めに応じて伴走支援する仲間や相談先のあることが、地域に広く浸透することが重要です。

- 相談先に求めること、「同じ悩みを持っている、持っていたことがある」や「同世代である」が多くなっている
- 育成支援機関の認知度、「どれも知らない」が3割以上で最多

困難に直面した場合の相談先に求めることは、「相手と同じ悩みを持っている、持っていたことがある」(55.8%)、「相手と同世代である」(49.4%)、「無料で相談できる」(39.0%)、「SNS やメールなどで相談できる」、「曜日・時間帯を気にせずに相談できる」(ともに 33.3%) などとなっています。

育成支援機関の認知度については、ハローワーク・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関」(29.6%) が最も多くなっていますが、「どれも知らない」は 36.3% となっています。

生活状況が「大変苦しい」と回答している人の5割以上は、育成支援機関の認知度について「どれも知らない」と回答しています。

相談支援体制や支援機関については、その対象者や支援内容、利用方法などの情報が必要とする人に届き、適切な利用に結びつくよう、SNSのさらなる活用など、必要な情報が早く、正確に、わかりやすく届くよう周知方法の工夫と、それぞれの状況に寄り添う相談体制の充実が重要です。

III 資料編

回答用ID・パスワード

アンケート用紙

横手市 青少年実態調査

【ご記入にあたってのお願い～必ず読んでからご回答ください～】

1. ご回答される方は、**あて名のご本人様のほか、ご家族のどなたでもかまいません。**
2. ご回答は、アンケート用紙（本紙）、またはWEB（スマートフォンもしくはPC）の2種類からお選びいただけます。（詳しくは同封の「アンケートのご依頼」をご参照ください。）
3. アンケート用紙（本紙）で回答される場合は、
・ご回答は、黒の鉛筆又はボールペンをご使用になり、あてはまる番号に「O」をつけてください。
・ご回答後は、同封の返信用封筒に（切手不要）にてお早めに投函ください。
投函期限：令和8年1月9日（金）

問1 調査票、ご回答を頂いているのは、どなたですか。あて名の方との続柄でお答えください。（1つにO）

- | | | |
|--------------|----------|------------|
| 1. (あて名) 本人 | 2. 父母 | 3. 祖父母 |
| 4. 配偶者・パートナー | 5. きょうだい | 6. その他 () |

あて名のご本人様のことについて

* 記入者とあて名の方が異なる場合もあて名の方の立場で記入してください。

問2 あなたの年齢を教えてください。（数字を記入）

年齢： 歳

問3 現在、あなたが一緒に住んでいる人をすべて選んでください。（あてはまるものすべてにO）

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 父親 | 2. 母親 |
| 3. きょうだい | 4. 祖父母 |
| 5. 親戚 | 6. あなたの配偶者（パートナー） |
| 7. あなたのこども | 8. その他 () |
| 9. 同居している人はいない（一人暮らし） | |

問4 一緒に住んでいる家族は何人ですか。（数字を記入）

家族の人数： 人（あなたを含めた人数で記入してください）

問5 生計を支えている方は主にどなたですか。また、仕送りや生計を立てている方は、その仕送りを主にしてくれている人をお答えください。（1つにO）

- | | | |
|-------------------|---------|------------|
| 1. あなた自身 | 2. 父親 | 3. 母親 |
| 4. あなたの配偶者（パートナー） | 5. 兄弟姉妹 | 6. その他 () |
| 7. わからない、答えられない | | |

問6 あなたは、現在の生活状況をどのように感じていますか。（1つにO）

- | | | |
|-------------|-----------|-----------|
| 1. 大変ゆとりがある | 2. ゆとりがある | 3. ふつう |
| 4. 苦しい | 5. 大変苦しい | 6. 答えたくない |

問7 現在のあなたの就学または就労について教えてください。（1つにO）

- | | |
|---------------------|---------|
| 1. 高等学校 | ⇒問8～10へ |
| 2. 高等専門学校・専門学校・短期大学 | |
| 3. 大学・大学院 | |
| 4. パート・アルバイト | |
| 5. 派遣社員 | |
| 6. 正規の社員・職員・従業員 | |
| 7. 自営業 | |
| 8. 専業主婦・主夫 | |
| 9. 無職（仕事を探している） | |
| 10. 無職（仕事を探していない） | |
| 11. その他 () | |

【問7で「1. 高等学校」と答えた方のみ】

問8 学校の授業がわからないことがありますか。（1つにO）

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. いつもわかる | 2. だいたいわかる |
| 3. わからないことが多い | 4. ほとんどわからない |
- ⇒問9へ

問9 (問8で「3. わからないことが多い」「4. ほとんどわからない」にOをつけた方にうかがいます)

いつごろから、授業でわからないことがあるようになりましたか。（1つにO）

- | | | |
|----------------|----------------|----------------|
| 1. 小学生のころ | 2. 中学生のころ | 3. 高校1年生になってから |
| 4. 高校2年生になってから | 5. 高校3年生になってから | |

問10へ (P.3)

【問7で「1. 高等学校」と答えた方のみ】

問10 将来、どの段階の学校まで進学したいですか。(1つに○)

1. 高校まで	→問11へ
2. 高等専門学校・専門学校・短期大学まで	
3. 大学またはそれ以上	
4. まだわからない	

問11 (問10で「4. まだわからない」以外に○をつけた方に向かいます。)

問10の希望の進学先を選んだ理由は何か。(もともとあてはまるもの1つに○)

1. 希望する学校や職業があるから	2. 自分の成績から考えて
3. 親がそう言っているから	4. 兄・姉がそうしているから
5. まわりの友達や先輩がそうしているから	6. 家にお金がないと思うから
7. 早く働く必要があるから	8. もう勉強したくない、勉強が嫌いだから
9. 十分勉強したから	10. 早く働いて自立したいから
11. その他 ()	12. 特に理由はない

【全員におうかがいします】

問12 あなたの就業経験についてお答えください。(パート・アルバイトを含む) (1つに○)

1. 現在、就業している	
2. 現在、就業しているが、休職、休業中である	
3. 現在は就業していないが、過去の就業経験がある	
4. これまでに就業経験はない	→問13へ

問13 (問12で「3. 現在は就業していないが、過去の就業経験がある」、「4. これまでに就業経験はない」に○をつけた方に向かいます。)

現在、あなたが働いていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 人間関係・社会との関わりに不安がある	2. 自分に合う仕事が見つからない
3. 自分が希望する仕事がない	4. 基礎的なスキルがなく自信がない
5. 心の不調を抱えている	6. 将来の目的に向けて勉強・訓練している
7. 応募しても採用されない	8. 就業活動に失敗して以降、就業に踏み出せない
9. 働かなくても生活できる	10. 身体に不調を抱えている
11. 学校で禁止されている	12. 学業に専念したい
13. その他 ()	14. 特に理由はない

問14 あなたが就労する際に重視することは何ですか。(あてはまるもの3つに○)

1. 自分が成長、能力を伸ばすことができる	2. 仕事の内容・職種
3. 企業の規模・知名度	4. 職場の人間関係
5. 賃金の条件がよい	6. 労働時間、休日などの条件がよい
7. 家から近い	8. 転勤がない、転勤の地域が限定されている
9. 家庭の事情 (介護・子育て等)	10. その他 ()
11. 特になし	

問15 横手市で就労、就労の継続のための支援・取組が必要だと思いませんか。

(それぞれあてはまるもの1つに○)

	思う	どちらかといえば思う	どちらかといえば思わない	思わない
ア) 求人情報の紹介	1	2	3	4
イ) 就職や就労継続に関する悩みや不安の相談	1	2	3	4
ウ) 同じような立場の人と交流できる場の提供	1	2	3	4
エ) メンタルヘルスに関する講座	1	2	3	4
オ) 仕事を体験する機会の提供	1	2	3	4
カ) ワーク・ライフ・バランスの環境整備	1	2	3	4
キ) ハラスメント防止の取組	1	2	3	4
ク) ビジネスマナーの講座や面接練習の支援	1	2	3	4

問16 あなた自身について、次のことがどのくらいあてはまりますか。
(それぞれあてはまるもの1つに○)

	あてはまる	とら あてはまる	とら あてはまらない	とら あてはまらない
ア) 自分には自分らしさというものがあると思う	1	2	3	4
イ) 自分の欲しいものをかまんすることが苦手だ	1	2	3	4
ウ) 今の自分を愛えたいと思う	1	2	3	4
エ) 将来よりも今の生活を楽しまたい	1	2	3	4
オ) 努力すれば希望する職業につくことができる	1	2	3	4
カ) 自分の将来は運やチャンスによって決まると思う	1	2	3	4
キ) 人生で起こることは、結局は自分に原因があると思う	1	2	3	4
ク) 他人に迷惑がかららない限り、 どんな考えや行動をしようが、自分の自由だと思う	1	2	3	4
ケ) 今の自分が好きだ	1	2	3	4
コ) 自分らしさを強調するより、 他人と同じことをしていると安心だ	1	2	3	4
サ) 自分の親（保護者）から愛されていると思う	1	2	3	4
シ) うまくいくかわからないことにも機動的に取り組む	1	2	3	4
ス) 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる	1	2	3	4
セ) 自分は、今、幸せだと感じる	1	2	3	4
ソ) 自分は役に立たないと強く感じる	1	2	3	4
タ) 自分には人とのつきあいがいと感じることがある	1	2	3	4
チ) 自分は取り残されていると感じることがある	1	2	3	4
ツ) 自分は孤独であると感じることがある	1	2	3	4

問17 次の場所は、今のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、居心地の良い場所など）になっていますか。（それぞれあてはまるもの1つに○）

	そう思う	とら そう思う	とら そう思わない	とら そう思わない
ア) 自分の部屋	1	2	3	4
イ) 家（実家や親族の家を含む）	1	2	3	4
ウ) 学校（卒業した学校を含む）	1	2	3	4
エ) 職場（過去の職場を含む）	1	2	3	4
オ) 地域の公共施設（図書館や公民館や公園など）	1	2	3	4
カ) インターネット空間（SNS、YouTube やオンラインゲームなど）	1	2	3	4

問18 家族・親族とあなたのかかわりは、どのようなものですか。（それぞれあてはまるもの1つに○）

	そう思う	とら そう思う	とら そう思わない	とら そう思わない
ア) 会話やメール等をよくしている	1	2	3	4
イ) 何でも悩みを相談できる人がいる	1	2	3	4
ウ) 楽しく話せる時がある	1	2	3	4
エ) 困ったときは助けてくれる	1	2	3	4
オ) 他の人には言えない話を話せることがある	1	2	3	4
カ) いつもつながりを感じている	1	2	3	4

問19 家族・親族以外の人（学校で出会った友人、仕事関係の人、地域の人、ママ友など）と、あなたの現在のかかわりは、どのようなものですか。（それぞれあてはまるもの1つに○）

	そう思う	どちらかといえば思う	どちらかといえば思わない	そう思わない
ア) 会話やメール等をよくしている	1	2	3	4
イ) 何でも悩みを相談できる人がいる	1	2	3	4
ウ) 楽しく話せる時がある	1	2	3	4
エ) 困ったときは助けしてくれる	1	2	3	4
オ) 他の人には言えない本音を話せることがある	1	2	3	4
カ) いつもつながりを感じている	1	2	3	4

問20 インターネット上における人やグループ（実際には会ったことがなかったり、または、何回か会ったことはあっても、基本的にはインターネット中心の付き合い合いの人やグループ）と、あなたのかかわりは、どのようなものですか。（それぞれあてはまるもの1つに○）

	そう思う	どちらかといえば思う	どちらかといえば思わない	そう思わない
ア) 会話やメール等をよくしている	1	2	3	4
イ) 何でも悩みを相談できる人がいる	1	2	3	4
ウ) 楽しく話せる時がある	1	2	3	4
エ) 困ったときは助けしてくれる	1	2	3	4
オ) 他の人には言えない本音を話せることがある	1	2	3	4
カ) いつもつながりを感じている	1	2	3	4
キ) メッセージの返信などとうとうとやめたい	1	2	3	4
ク) 実名や顔をよく知らない相手で称さを感じることがある	1	2	3	4

問21 あなたは、他の人とかがかわる時、次のようなことがどのくらいあてはまりますか。（それぞれあてはまるもの1つに○）

	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない
ア) 誰とでもすぐ仲良くなれる	1	2	3	4
イ) 表情やしぐさで相手の思っていることがわかる	1	2	3	4
ウ) 親しい人に頼まれてもやりたくないことは断る	1	2	3	4
エ) その場にあった行動がとれる	1	2	3	4
オ) 気持ちを抑えようとしても、顔に出してしまう	1	2	3	4
カ) 頼まれると断れない	1	2	3	4
キ) 自分の思いと違っても我慢して相手に合わせる	1	2	3	4

問22 あなたは、「社会のために役立つことをしたい」と思っていますか。（1つに○）

1. そう思う	2. どちらかといえば、そう思う
3. どちらかといえば、そう思わない	4. そう思わない

問23 あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか。（1つに○）

1. 希望がある	2. どちらかといえば、希望がある
3. どちらかといえば、希望がない	4. 希望がない

問24 あなたは20年後、どのようなになっていると思いますか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

	もち 思う	と う か と い う も ち	と う か と い わ な い	と う か と い わ な い
ア) お金持ちになっている	1	2	3	4
イ) 自由にのんびり暮らしている	1	2	3	4
ウ) 世界で活躍している	1	2	3	4
エ) 多くの人の役に立っている	1	2	3	4
オ) 有名になっている	1	2	3	4
カ) 子供を育てている	1	2	3	4
キ) 親を大切にしている	1	2	3	4
ク) 幸せになっている	1	2	3	4
ケ) 結婚している	1	2	3	4
コ) 出世している	1	2	3	4
サ) 仲間と仲良く暮らしている	1	2	3	4

問25 最近6か月間に、家族以外の人と会話しましたか。(1つに○)

1. よく会話をした	2. ときどき会話をした
3. ほとんど会話をしなかった	4. まったく会話をしなかった

問26 あなたは普段どのくらい外出しますか。現在最もあてはまることについてお答えください。(1つに○)

1. 仕事や学校で平日は毎日外出する
 2. 仕事や学校で週に3～4日外出する
 3. 遊び等で頻繁に外出する
 4. 人づきあいのためにときどき外出する
 5. 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事するときだけ外出する
 6. 普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
 7. 自室からは出るが、家からは出ない
 8. 自室からほとんど出ない
- 問27へ

(問26で「5.」～「8.」に○をつけた方にうかがいます)

問27 あなたの外出状況が現在の状態となつて、どのくらい経ちますか。(1つに○)

- | | | |
|---------------|---------------|---------------|
| 1. 3か月未満 | 2. 3か月～6か月未満 | 5. 2年～3年未満 |
| 3. 6か月～1年未満 | 4. 1年～2年未満 | 8. 7年～10年未満 |
| 6. 3年～5年未満 | 7. 5年～7年未満 | 11. 20年～25年未満 |
| 9. 10年～15年未満 | 10. 15年～20年未満 | 12. 25年～30年未満 |
| 12. 25年～30年未満 | 13. 30年以上 | |

(問28～問29は、問27で「3.」～「13.」に○をつけた方にうかがいます)

問28 あなたの外出状況が現在の状態になったのは、何歳の頃ですか。(数字を記入)

具体的な年齢： 歳

問29 あなたの外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1. 不登校 | 2. 受給がうまくいかなかった |
| 3. 学校でのトラブル | 4. 就労活動がうまくいかなかった |
| 5. 職場でのトラブル | 6. 友人・家族との人間関係上のトラブル |
| 7. 身体的な病気・ケガ | 8. 新型コロナウイルス感染症が流行したこと |
| 9. 結婚や子育て、パートナーの転勤 | 10. 家族の世話(介護・看護など) |
| 11. その他(具体的に：) | 13. わからない |
| 12. 特に理由はな | |

【全員におうかがいします】

問 30 あなたが社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態となったときに、家族や知り合い以外に相談するとすれば、どのような人や場所なら相談したいと思えますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 相手と同じ悩みを持っている、持っていたことがある
2. 相手と同世代である
3. 相手と同姓である
4. 匿名で（自分が誰かを知らずじ）に相談できる
5. 電話で相談できる
6. SMS やメールなどで相談できる
7. 曜日・時間帯を気にせずに相談できる
8. 相談できる場所が自宅から近い
9. 相手が自宅に来てくれる
10. 無料で相談できる
11. 相手先が公的な支援機関である
12. 相手先が民間の支援団体（NPO など）である
13. 相手が医師である
14. 相手がカウンセラーなど心理学の専門家である
15. その他（具体的に：)

問 31 相談したくないと思ふ理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 相談しても解決できないと思うから
2. 自分ひとりで解決するべきだと思うから
3. 誰にも知られたくないことだから
4. 自分が変な人と思われるのではないかと不安だから
5. 自分の欠点や失敗を悪く言われそうだから
6. 相手がどんな人かわからないから
7. 何を聞かれるか不安に思うから
8. 嫌なこと、できないことをするように言われそうだから
9. 相手にうまく伝えられないから
10. 裏切られたり、失望するのが嫌だから
11. お金がかかると思うから
12. その他（具体的に：)
13. 特に理由はない、わからない

問 32 あなたは、子どもや若者を対象とした育成支援機関等を知っていますか。
知っている育成支援機関等をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. Yotte・Cotto (横浜市こども・若者相談窓口)
2. 秋田県精神保健福祉センター
3. 秋田県ひきこもり相談支援センター
4. 秋田県発達障害者支援センター
5. 秋田県児童相談所・横浜市福祉事務所などの児童福祉機関
6. かみやき教室
7. 秋田県青少年交流センター、青少年自然の家等
8. ハローワーク・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関
9. 児童館 (市内・市外)
10. フリースクール (市内・市外)
11. 通厩制高校のサポート校 (市内・市外)
12. どれも知らない

(問 32 で「1.」～「11.」に○をつけた方にかがいます)

問 33 これらの機関を利用したことはありますか。(1つに○)

1. ある
2. ない

問 34 これらの機関について利用したいと思えますか。(1つに○)

1. 利用したいと思う
2. とちうかといえば、利用したいと思う
3. とちうかといえば、利用したいと思わない
4. 利用したいと思わない

最後に、若者支援へのご意見や普段の生活での困りごとなどがありましたら、ご自由にご記入ください。

--	--

カウンセラーや保健師等から連絡を差し上げることができます。

相談を希望される場合は、以下に連絡先等をご記入ください。(任意)

氏名： _____

連絡先 (電話番号、メールアドレス等)： _____

住所： _____

質問はこれで終わりです。ご協力いただきありがとうございました。

～ 不安や悩み ひとりで抱えていませんか ～

さまざまな不安や困りごとを、誰にも相談できず、ひとりで抱えていませんか。あなたの身近にも気軽に相談できる窓口があります。まずは、相談しやすい窓口で話をしてみませんか。

よ っ て こ っ と Y o t t e ・ C o t t o (こども・若者相談窓口)

対 象 者：おおよそ20歳代まで

所 在 地：横手市駅前町1-21

横手市交流センターY²プラザ内

開所時間：月曜日～金曜日（祝祭日、年末年始除く）

午前9時～午後4時

電 話：0182-35-4056

メ ー ル：kodomo-wakamono@city.yokote.lg.jp

ふくしの窓口

対 象 者：どなたでも（ひきこもり、生活困窮などでお困りの方）

所 在 地：横手市中央町8-2

横手市役所本庁舎1階

開所時間：月曜日～金曜日（祝祭日、年末年始除く）

午前9時～午後5時

電 話：0182-32-6101

メ ー ル：fks-madoguchi@yokote-shakyo.jp

横手市役所

健康福祉部 まるごと福祉課 地域福祉係

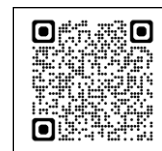
〒013-8601

秋田県横手市中央町8番2号（本庁舎4階）

電 話：0182-23-5881

ファクス：0182-32-9709

孤独・孤立に関する横手市の
ホームページはこちらから



〈横手市ひきこもり相談支援場所
一覧の掲載あります〉